

**令和6年度
県民歯科保健実態調査
報告書**

第2部 成人編

令和7年9月

目 次

| | | |
|-----|------------------------|----|
| I | 調査の概要 | 1 |
| 1 | 実施要領 | 1 |
| 2 | 診査基準・記入方法 | 2 |
| (1) | 歯の状況 | 2 |
| (2) | 喪失歯(△) | 3 |
| (3) | 欠損補綴 | 3 |
| (4) | 歯肉の状況 | 4 |
| (5) | 口腔清掃状態 | 5 |
| (6) | その他の所見 | 5 |
| 3 | 分析方法 | 5 |
| 4 | 個人情報の安全管理 | 5 |
| 5 | 調査票 | 6 |
| II | 調査結果及び分析 | 11 |
| A | 概要 | 11 |
| 1 | 被調査者 | 11 |
| B | 外来患者 | 13 |
| 1 | 口腔診査の結果 | 13 |
| (1) | 現在歯の状況 | 13 |
| (2) | 喪失歯とその補綴状況 | 18 |
| (3) | 歯周組織の状況 | 21 |
| (4) | 歯頸部の状況(くさび状欠損を有する者の割合) | 26 |
| 2 | 生活習慣、歯科保健等に関する調査の結果 | 27 |
| (1) | 健康への意識 | 27 |
| (2) | 咬合と咀嚼の状況 | 30 |
| (3) | 発音の状況 | 33 |
| (4) | 歯科医院の受診の状況 | 34 |
| (5) | 口腔保健に関する保健行動と意識 | 37 |
| 3 | オーラルフレイルのスクリーニングの結果 | 48 |
| C | 訪問患者 | 49 |
| 1 | 口腔診査の結果 | 49 |
| (1) | 現在歯の状況 | 49 |
| (2) | 喪失歯とその補綴状況 | 53 |
| (3) | 歯周組織の状況 | 56 |

| | |
|--|----|
| (4) 歯頸部の状況（くさび状欠損を有する者の割合） | 58 |
| 2 生活習慣、歯科保健等に関する調査の結果..... | 59 |
| (1) 健康への意識..... | 59 |
| (2) 咬合と咀嚼の状況..... | 61 |
| (3) 発音の状況..... | 64 |
| (4) 歯科医院の受診の状況..... | 65 |
| (5) 口腔保健に関する保健行動と意識..... | 68 |
| 3 オーラルフレイルのスクリーニングの結果..... | 79 |
| D 分析 | 80 |
| 1 全国（令和4年歯科疾患実態調査）と神奈川県との現在歯の状況比較..... | 80 |
| 2 オーラルフレイルのチェック項目（OF-5） | 83 |
| 3 歯及び口腔の健康づくり推進計画の指標について..... | 85 |
| III 統計表 | 86 |

I 調査の概要

1 実施要領

(1) 調査の目的

神奈川県における成人の歯科保健の実態を把握し、歯科保健対策の推進に必要な基礎資料を得ると共に、神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画等各種県計画の評価としての活用を図り、県民の健康増進の推進に役立てる。

(2) 調査実施及び分析機関

調査の実施、審査、集計、分析、報告書の作成までを外部委託し、公益社団法人神奈川県歯科医師会に委託して行った。また、分析及び報告書の作成は、歯科の知識を十分に有する東京歯科大学社会歯科学講座に再委託して行った。委託先では「県民歯科保健実態調査（成人）実施要領」、県民歯科保健実態調査（成人）業務仕様書にしたがって厳格な責任体制のもとに実施した。

(3) 調査対象

神奈川県歯科医師会会員の歯科診療所に来院した、調査日に20歳以上の県内在住の初診患者（再初診患者を含む）及び神奈川県歯科医師会会員の歯科診療所が行った歯科訪問診療の患者

(4) 調査方法

公益社団法人神奈川県歯科医師会から地域歯科医師会に会員数に応じた数の調査票を送付し、地域歯科医師会から神奈川県歯科医師会会員の歯科診療所に調査票を配布する。

会員の歯科診療所にて、来院した20歳以上の県内在住の初診患者（再初診患者を含む）、または当該歯科診療所が訪問診療を行った患者に口腔内診察、歯科保健行動等に関する問診の実施後、その結果を調査票に記入して地域歯科医師会に提出する。

地域歯科医師会は調査票を神奈川県歯科医師会に提出する。

(5) 調査数

約6,000人（外来：約5,000人、訪問：約1,000人）

(6) 調査期間

令和6年8月1日から令和7年1月31日まで

(7) 調査内容

ア 属性

住所地域、性別、年齢、要介護度

イ 口腔内状況（歯科医師による診察）

現在歯の状況、喪失歯とその補綴状況、歯周組織の状況等

ウ 歯科保健行動

フッ化物配合歯磨剤使用状況、歯みがき、歯科受診状況等

エ 生活習慣

運動、喫煙等

オ 歯科保健に関する知識

喫煙及び全身と歯周疾患との関係、歯科関連用語等

ウ 未処置歯

【歯冠部う蝕】(C1~C4)

歯冠部のう蝕については、明らかなる窩、脱灰・浸蝕されたエナメル質、軟化底、軟化壁が探知できる小窩裂溝、平滑面の病変をう蝕とし、C1~C4の4度分類法で記入する、COは記入しない。

- ① 同一歯の2か所以上でう蝕のある場合には、病状の進んでいる方を記入する。
- ② フッ化ジアミン銀が塗布されている歯はC1とする。
- ③ 2次う蝕は未処置歯とし、C1~C4を記入する。
- ④ 治療が完了していない歯は未処置歯とし、C1~C4を記入する。

【根面部う蝕】(C)

根面部のう蝕については、病変部に軟化あるいはざらついた感じがあればう蝕とし、「C」と記入。

<参考>根面う蝕について

- 根面う蝕とは、歯肉の退縮により露出した根面に発生し、高齢者に特徴的なう蝕。歯根は歯冠と異なり耐酸性の高いエナメル質に被覆されておらず、脱灰（歯の表面のリン酸カルシウムの結晶が溶出する現象）しやすい、とされている。
- 本調査では「根面部のう蝕については、病変部に軟化あるいはざらついた感じがあればう蝕」としており、これはWHO口腔診査法（第5版）及び国の歯科疾患実態調査に準じている。（ICDASの「活動性」に該当するが、厳密な診査は行っていない。）

エ 処置歯 (O)

処置歯とは、歯の一部または全部に永久充填（アンレー等も含む）、金属冠、継続歯（ジャケット冠も含む）を施されているものをいい、○印を記入する。

(2) 喪失歯 (△)

抜去または脱落により喪失した永久歯をいい、△印を記入。智歯は含まない。

- ① インプラントのある部分は喪失歯とする。インプラントを埋入しているか、口頭で確認する。
- ② 矯正等のために抜去した歯で、歯間空隙のない場合は、△を記入し、喪失歯とする。

(3) 欠損補綴

欠損部に装着されている補綴物について、範囲と種類を記入。

種類（FD総義歯、PD局部義歯、Brブリッジ）

- ① インプラントの場合は、埋入部位にImの記号を記入する。
- ② ヘミセクションの場合は、その実態を該当歯欄に記入する。
- ③ オーバーデンチャーの場合は、その実態を該当歯欄に記入する。

【記入例】

| | | | |
|---|--|----------------------------------|-------------------------------------|
| 【歯の状況】※CO及びシーラントは健全歯とする。サホライドはC1とする。 | | | |
| ・健全歯 /または— | ※健全歯以外は、連続する場合も横線（—）は使用しない。 | | |
| ・未処置歯（歯冠部う蝕） C1~C4 | ・未処置歯（根面部う蝕） C | ※両方ある場合は併記 例) C2C | |
| ・楔状欠損 WSD | ・処置歯 O | ・喪失歯 △ | |
| ・空隙のない喪失歯 △ | ・先天性欠如 先欠 | ・過剰歯 $\frac{1}{1}$ | ・癒合歯 $\overline{12}$ |
| 【欠損補綴の状況】 欠損補綴の範囲を \square で囲って記載する。（鉤歯は含まない） | | | |
| ・ブリッジによる欠損補綴 $\overline{567}$ O△O Br | ・義歯による欠損補綴 FD又は $\overline{567}$ △△△ P.D | ・インプラントによる欠損補綴 $\overline{6}$ Im | $\overline{567}$ O△△ Im Br |

(4) 歯肉の状況

- WHOプローブを用い、対象歯のCPI (Community Periodontal Index、地域歯周疾患指数) を測定する。

※各市町村で実施している「歯周疾患検診」と同じ基準

(CPIの対象歯)

| | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 17 | 16 | 11 | 26 | 27 |
| 47 | 46 | 31 | 36 | 37 |

ア 対象歯

- 前歯部の対象歯 (右上1又は左下1) が欠損している場合は、反対側同名歯 (左上1又は右下1) を検査対象とする。両側とも欠損している場合、「×」を記入。
- 臼歯部で対象歯が欠損している場合には、「×」を記入。

イ 検査方法

- 上顎は頬唇側面、下顎は舌側面について次の基準で検査し、Bの表に最高コード値を記入する。

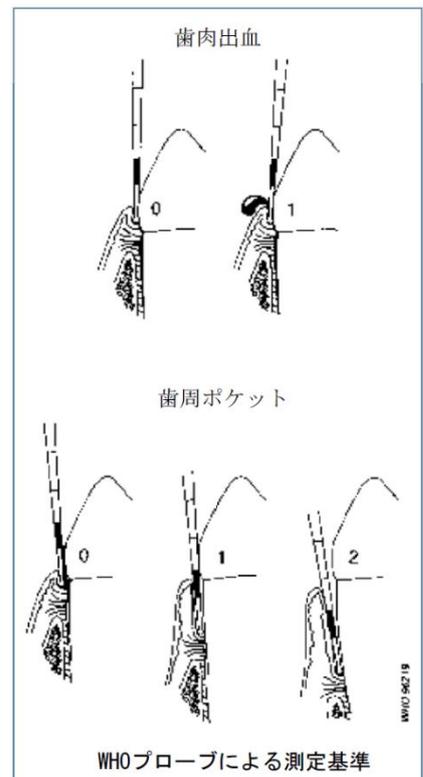
注) 歯周ポケットの深さmmではなく、コードを記載する。

- プロービングは、WHOプローブ先端の球を歯の表面に沿って滑らせる程度の軽い力 (20g) で操作し、遠心の接触点直下から、やさしく上下に動かしながら近心接触点直下まで移動させる。

(CPIの判定基準)

| | コード | 所見 | 判定基準 |
|--------------|-----|----------------|-------------------------------|
| BOP 歯肉出血 | 0 | 健全 | 以下の所見が認められない |
| | 1 | 出血あり | プロービング後10~30秒以内に出血が認められる |
| | 9 | 除外歯 | プロービングが出来ない歯 (根の露出が根尖に及ぶ等) |
| | X | 該当する歯なし | |
| PD 歯周ポケット | 0 | 健全 | 以下の所見がすべて認められない |
| | 1 | 4mm以上 6mm未満 | プローブの黒い部分に歯肉縁が位置する |
| | 2 | 6mm以上 | プローブの黒い部分が見えなくなる |
| | 9 | 除外歯 | プロービングが出来ない歯 (根の露出が根尖に及ぶ等) |
| | X | 該当する歯なし | |

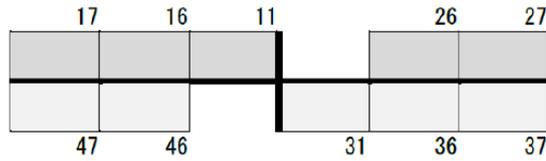
歯周ポケットの深さではなくコードを記載



(5) 口腔清掃状態

- 検査対象歯（臼歯部は舌側、その他部位は唇側）のプラーク付着量を測定。
- 該当する歯がない場合は空欄とする。

C 口腔清掃状態



| 臼歯部は舌側、その他部位は唇側を診査 | |
|--------------------|-----------------|
| コード | 診査基準 |
| 0 | プラークや他の付着物がない |
| 1 | プラークが歯面の1/3以下 |
| 2 | プラークが歯面の1/3～2/3 |
| 3 | プラークが歯面2/3以上 |

(6) その他の所見

歯石の付着がある場合は「あり」に○印を記入する。

D その他の所見

歯石の付着 なし ・ あり

3 分析方法

調査票を集計し入力されたデータについて分析を行った。分析に際しては、記載された市町村名が県外または未記入のもの、年齢が20歳未満または未記入のものは分析対象から除いた。質問の一部が未記入のものは分析対象に含めた。分析はMicrosoft Excel 及び株式会社社会情報サービス エクセル統計を用いて行った。

なお、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

4 個人情報の安全管理

個人情報を取り扱う際は、関係法令等の規定に従い、その取扱いにより個人の権利利益を侵害することのないように厳重に管理された。また、本統計調査の計画などについては、神奈川県統計報告調整審議会の了承（令和6年2月27日、統計第1765号）のもとに実施された。

けんみん し か ほけんじつたいちようき せいじん (し か ほけんこうどう せいかつしゅうかん し か ほけん かん ちしき)
 県民歯科保健実態調査(成人)【歯科保健行動・生活習慣・歯科保健に関する知識】

かいとう じゆう かいとうてっかい じゆう
※回答の自由、回答撤回の自由
 こんかい ねが たい かいとう
 今回のお願いに対して回答をするかどうかはあなたの自由であり、あなたの意思に基づいて行ってください。
 あなたがかいとうされなかつた場合、調査には使用しませんが、その場合においても、あなたのしんりようにはまったく
 えいきよう 影響はありません。また、いったんかいとうした後も、かいとう てっかい することも可能です。

● あなたのことについて ^{うかが}伺います。

かいとう
 回答は、_____の部分にご記入、またはあてはまる項目の番号に○をつけてください。

問1 げんざい けんこうじょうたい
 現在の健康状態はいかがですか。

- (1)よい (2)まあよい (3)ふつう
 (4)あまりよくない (5)よくない (6)わからない

↓ ↓
問1-1 この1年間に歯科以外で治療を受けた病気すべてに○をつけてください。

- (1)糖尿病 (2)心臓病 (3)肺炎 (4)脳血管障害(脳卒中等) (5)骨粗鬆症
 (6)その他(_____) (7)治療は受けていない

問2 けんこう 健康のために、からだを動かすなどの運動をしていますか。

- (1)いつもしている (2)ときどきしている (3)ほとんどしない

問3 たばこを習慣的に吸っていますか、または吸っていたことがありますか。

- (1)現在吸っている (2)過去に吸っていた (3)吸ったことがない

↓ ↓
問3-1 たばこの本数と期間はどれくらいですか 1日平均 _____本 × _____年間

問4 じぶん は 入れ歯で、左右の奥歯を噛みしめることができますか。

- (1)両方できる (2)片方だけできる (3)どちらもできない

問5 かんで食べる時の状態は次のどれにあてはまりますか。

- (1)何でも噛んで食べることができる (2)一部噛めない食べ物がある
 (3)噛めない食べ物が多い (4)噛んで食べることはできない

問6 ふだん かいわ ことば
 普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか。

- (1)ある (2)ない

問7 ぐち おお 明けたり閉じたりする時に、あごの関節に痛みを感じたり、開けにくかったり、
 おと 音がすることがありますか。

- (1)ある (2)ときどきある (3)ない

↓ ↓
問7-1 あてはまるものすべてに○をつけてください。

- (1)痛みがある (2)開けにくい (3)音がする

問 8 顎関節症の治療を受けたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- (1)ある (2)ない (3)わからない (不明)

↳ 問 8-1 どのような治療を受けましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- (1) スプリント・プレート等の装着 (2) リハビリテーション (ストレッチ等) (3) その他

問 9 本日、受診したきっかけはどのような理由ですか。(1つ選択)

- (1) 歯や歯ぐきが痛くて我慢ができなかったから
 (2) 家族に受診するように勧められたから
 (3) 口の中にむし歯など気になるところが見つかったから
 (4) 歯科検診を受けてみようと思ったから
 (5) 定期的に検診や歯のクリーニングを受けているから
 (6) その他 ()

問 10 この1年間に、歯科検診を受けましたか。(本日の受診を除く)

- (1) はい (2) いいえ

↓
 問 10-1 受けた歯科検診について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- (1) 個別歯科検診 (2) 集団歯科検診 (3) 個別口腔がん検診 (4) 集団口腔がん検診

※個別：歯科医院等で行うものです。 集団：職場や市町村等で行うものです。

問 11 この1年間に、歯科医院で受けたことのある項目のすべてに○をつけてください。

- (1) 歯科検診 (2) 歯みがき指導 (3) フッ化物(フッ素) 歯面塗布 (4) 歯石除去
 (5) むし歯の治療 (6) 歯周病の治療 (7) 抜歯等外科処置 (8) 入れ歯作製・調整
 (9) 歯科矯正 (10) その他 () (11) 受診していない

問 12 普段、歯科検診や歯科治療を受けることのためにためらいがありますか。

- (1) とてもある (2) ある (3) あまりない (4) まったくない

↓ ↓
 問 12-1 その理由すべてに○をつけてください。

- (1) 痛みなどの恐怖 (2) 経済的な負担 (3) 時間的な負担 (4) その他 ()

問 13 歯をみがく頻度はどれくらいですか。

- (1) 毎日みがく (2) ときどきみがく (3) みがかない

↳ 問 13-1 1日あたりの回数 (1) 1回 (2) 2回 (3) 3回以上

問 14 歯間ブラシやデンタルフロス(糸付きようじ)等を使っていますか。

- (1) ほぼ毎日使う (2) ときどき使う (3) 使わない

問 15 歯や歯ぐきの健康について普段から意識(注意)していることすべてに○をつけてください。

- (1) 歯科検診や歯科健康診査を受けるようにしている
- (2) 歯石をとってもらおうようにしている
- (3) かかりつけ歯科医、かかりつけの歯科医院を決めている
- (4) 食事の後、歯をみがいたり、口をすすいだりしている
- (5) 1本ずついねいに、歯の根もとまでみがくようにしている
- (6) フッ化物入りの歯みがき剤を使用している
- (7) 甘いものを、食べたり飲んだりしないようにしている
- (8) バランスのとれた食事をこころがけている
- (9) よく噛んで食べるようにしている
- (10) 歯や歯ぐきの健康を特に意識して喫煙をしないようにしている
- (11) 特に意識(注意)していない

問 16 歯周病と関係があると思うものすべてに○をつけてください。

- (1) 糖尿病 (2) 心臓病 (3) 未熟児(低出生体重児)など妊娠への影響
- (4) 肺炎 (5) 脳血管障害(脳卒中等)

問 17 (ア)～(セ)の言葉について、「(1)意味もわかる (2)言葉は知っている (3)知らない」から、ひとつ選んで○をつけてください。

| 言葉 | (1) 意味もわかる | (2) 言葉は知っている | (3) 知らない |
|-----------------|------------|--------------|----------|
| (ア) 歯垢 | (1) | (2) | (3) |
| (イ) 歯石 | (1) | (2) | (3) |
| (ウ) 根面むし歯(根面う蝕) | (1) | (2) | (3) |
| (エ) 歯肉炎 | (1) | (2) | (3) |
| (オ) 歯周ポケット | (1) | (2) | (3) |
| (カ) 初期むし歯 | (1) | (2) | (3) |
| (キ) 再石灰化 | (1) | (2) | (3) |
| (ク) キシリトール | (1) | (2) | (3) |
| (ケ) フッ化物洗口 | (1) | (2) | (3) |
| (コ) 8020運動 | (1) | (2) | (3) |
| (サ) 健康日本 21 | (1) | (2) | (3) |
| (シ) 未病 | (1) | (2) | (3) |
| (ス) 健口体操 | (1) | (2) | (3) |
| (セ) オーラルフレイル | (1) | (2) | (3) |

問 18 オーラルフレイルとは、滑舌の低下、食べこぼし、わずかのむせ、噛めない食品の増加など“ささいな口腔機能の低下”のことをいいます。
 「オーラルフレイルのスクリーニング問診票」は、オーラルフレイルのリスク判定をいつでも、どこでも、簡単にできる問診票です。
 以下の項目に当てはまるものがあるかどうか、チェックしてみてください。
 点数の合計が3点以上となった方は、専門的な対応が必要です。(かかりつけの)歯科医院にご相談ください。

オーラルフレイルのスクリーニング問診票

| 質問項目 | はい | いいえ |
|----------------------------------|------|-----|
| (1) 半年前と比べて、堅いものが食べにくくなった | +2 | 0 |
| (2) お茶や汁物でむせることがある | +2 | 0 |
| (3) 入れ歯を使用している | +2 | 0 |
| (4) 口の乾きが気になる | +1 | 0 |
| (5) 半年前と比べて、外出が少なくなった | +1 | 0 |
| (6) さきいか・たくあんくらいの堅さの食べ物を噛むことができる | 0 | +1 |
| (7) 1日に2回以上、歯を磨く | 0 | +1 |
| (8) 1年に1回以上、歯科医院を受診している | 0 | +1 |
| 合計の点数* | /11点 | |

※ (1) ~ (8) の回答した欄の数字を合計してください。

| 合計の点数が | オーラルフレイルの危険性 |
|--------|--------------|
| 0 ~ 2点 | 低い |
| 3点 | あり |
| 4点以上 | 高い |

本調査や歯科に関することでご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

II 調査結果及び分析

A 概要

1 被調査者

令和6年度の県民歯科保健実態調査（成人）（以下、R06調査）の回収数は4,900人、有効回答数は、4,541人であり、予定の被調査者数6,000人に対し81.7%の回収率、75.7%の有効回答率であった。なお、過去4回の調査における有効回答数は、令和2年度と同調査では5,845人、平成28年度と同調査では4,475人、平成23年度と同調査では3,497人、平成18年度の神奈川県成人歯科保健実態調査（以下、H18調査）では4,830人であった。

外来患者・訪問患者別にみると、外来患者では回収数は4,257人、有効回答数は3,974人で、予定の被調査者数5,000人に対し85.1%の回収率、79.5%の有効回答率であった。訪問患者では、回収数は643人、有効回答数は567人で、予定の被調査者数1,000人に対し64.3%の回収率、56.7%の有効回答率であった。

表II-A-1-1 被調査者数（外来患者・訪問患者計）（性・年齢階級別）

（単位：人）

| 年齢 | 男性 | 女性 | 不明 | 総数 |
|-----------|----------------------|----------------------|-----------------|-----------------------|
| 20～24歳 | 64 (33.9%) | 125 (66.1%) | 0 (0.0%) | 189 (100.0%) |
| 25～29歳 | 73 (39.2%) | 112 (60.2%) | 1 (0.5%) | 186 (100.0%) |
| 30～34歳 | 58 (33.1%) | 117 (66.9%) | 0 (0.0%) | 175 (100.0%) |
| 35～39歳 | 74 (35.9%) | 132 (64.1%) | 0 (0.0%) | 206 (100.0%) |
| 40～44歳 | 91 (38.2%) | 147 (61.8%) | 0 (0.0%) | 238 (100.0%) |
| 45～49歳 | 110 (39.9%) | 166 (60.1%) | 0 (0.0%) | 276 (100.0%) |
| 50～54歳 | 154 (37.6%) | 256 (62.4%) | 0 (0.0%) | 410 (100.0%) |
| 55～59歳 | 138 (36.9%) | 236 (63.1%) | 0 (0.0%) | 374 (100.0%) |
| 60～64歳 | 128 (36.0%) | 228 (64.0%) | 0 (0.0%) | 356 (100.0%) |
| 65～69歳 | 138 (40.9%) | 198 (58.8%) | 1 (0.3%) | 337 (100.0%) |
| 70～74歳 | 175 (40.8%) | 254 (59.2%) | 0 (0.0%) | 429 (100.0%) |
| 75～79歳 | 232 (43.1%) | 305 (56.7%) | 1 (0.2%) | 538 (100.0%) |
| 80～84歳 | 156 (39.2%) | 241 (60.6%) | 1 (0.3%) | 398 (100.0%) |
| 85歳以上 | 136 (31.7%) | 292 (68.1%) | 1 (0.2%) | 429 (100.0%) |
| 全体 | 1,727 (38.0%) | 2,809 (61.9%) | 5 (0.1%) | 4,541 (100.0%) |

表II-A-1-2 被調査者数（外来患者）（性・年齢階級別）

（単位：人）

| 年齢 | 男性 | 女性 | 不明 | 総数 |
|-----------|----------------------|----------------------|-----------------|-----------------------|
| 20～24歳 | 62 (34.4%) | 118 (65.6%) | 0 (0.0%) | 180 (100.0%) |
| 25～29歳 | 69 (38.5%) | 109 (60.9%) | 1 (0.6%) | 179 (100.0%) |
| 30～34歳 | 54 (32.5%) | 112 (67.5%) | 0 (0.0%) | 166 (100.0%) |
| 35～39歳 | 71 (35.1%) | 131 (64.9%) | 0 (0.0%) | 202 (100.0%) |
| 40～44歳 | 90 (38.8%) | 142 (61.2%) | 0 (0.0%) | 232 (100.0%) |
| 45～49歳 | 103 (39.6%) | 157 (60.4%) | 0 (0.0%) | 260 (100.0%) |
| 50～54歳 | 146 (36.9%) | 250 (63.1%) | 0 (0.0%) | 396 (100.0%) |
| 55～59歳 | 136 (37.4%) | 228 (62.6%) | 0 (0.0%) | 364 (100.0%) |
| 60～64歳 | 123 (36.0%) | 219 (64.0%) | 0 (0.0%) | 342 (100.0%) |
| 65～69歳 | 127 (39.8%) | 191 (59.9%) | 1 (0.3%) | 319 (100.0%) |
| 70～74歳 | 155 (38.7%) | 246 (61.3%) | 0 (0.0%) | 401 (100.0%) |
| 75～79歳 | 199 (42.3%) | 270 (57.4%) | 1 (0.2%) | 470 (100.0%) |
| 80～84歳 | 114 (39.3%) | 175 (60.3%) | 1 (0.3%) | 290 (100.0%) |
| 85歳以上 | 66 (38.2%) | 107 (61.8%) | 0 (0.0%) | 173 (100.0%) |
| 全体 | 1,515 (38.1%) | 2,455 (61.8%) | 4 (0.1%) | 3,974 (100.0%) |

表II-A-1-3 被調査者数（訪問患者）（性・年齢階級別）

（単位：人）

| 年齢 | 男性 | 女性 | 不明 | 総数 |
|-----------|--------------------|--------------------|-----------------|---------------------|
| 20～24歳 | 2 (22.2%) | 7 (77.8%) | 0 (0.0%) | 9 (100.0%) |
| 25～29歳 | 4 (57.1%) | 3 (42.9%) | 0 (0.0%) | 7 (100.0%) |
| 30～34歳 | 4 (44.4%) | 5 (55.6%) | 0 (0.0%) | 9 (100.0%) |
| 35～39歳 | 3 (75.0%) | 1 (25.0%) | 0 (0.0%) | 4 (100.0%) |
| 40～44歳 | 1 (16.7%) | 5 (83.3%) | 0 (0.0%) | 6 (100.0%) |
| 45～49歳 | 7 (43.8%) | 9 (56.3%) | 0 (0.0%) | 16 (100.0%) |
| 50～54歳 | 8 (57.1%) | 6 (42.9%) | 0 (0.0%) | 14 (100.0%) |
| 55～59歳 | 2 (20.0%) | 8 (80.0%) | 0 (0.0%) | 10 (100.0%) |
| 60～64歳 | 5 (35.7%) | 9 (64.3%) | 0 (0.0%) | 14 (100.0%) |
| 65～69歳 | 11 (61.1%) | 7 (38.9%) | 0 (0.0%) | 18 (100.0%) |
| 70～74歳 | 20 (71.4%) | 8 (28.6%) | 0 (0.0%) | 28 (100.0%) |
| 75～79歳 | 33 (48.5%) | 35 (51.5%) | 0 (0.0%) | 68 (100.0%) |
| 80～84歳 | 42 (38.9%) | 66 (61.1%) | 0 (0.0%) | 108 (100.0%) |
| 85歳以上 | 70 (27.3%) | 185 (72.3%) | 1 (0.4%) | 256 (100.0%) |
| 全体 | 212 (37.4%) | 354 (62.4%) | 1 (0.2%) | 567 (100.0%) |

B 外来患者

1 口腔診査の結果

(1) 現在歯の状況

ア 1人平均現在歯数

外来患者全体での1人平均現在歯数は24.8本であり、年齢階級では20～24歳の28.3本から緩やかに減少、50～54歳で27.1本となつてから急速に減少し、80～84歳では20本以下(19.4本)であった。現在歯数の内訳は、全体平均では健全歯数12.9本、処置歯数11.2本、未処置歯数0.6本であった。

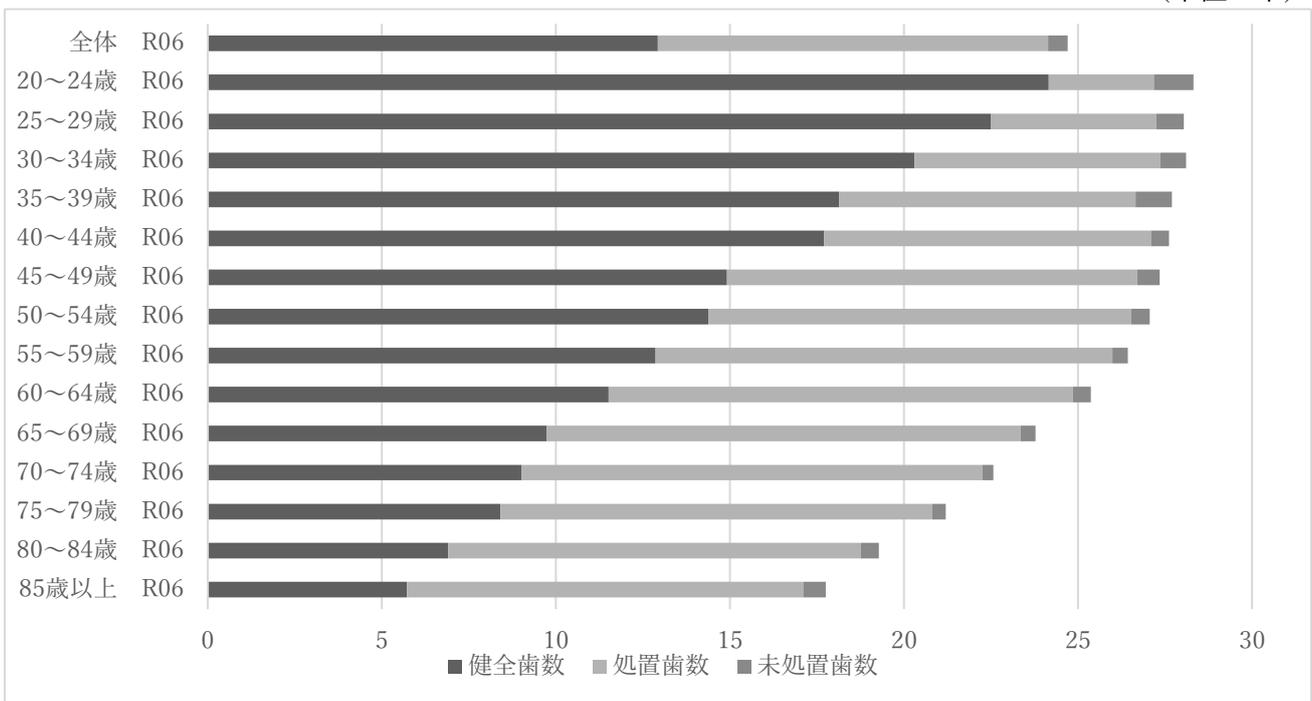
表II-B-1-(1)-ア 年齢階級別による1人平均現在歯数(外来患者)

(単位:本)

| | 健全歯数 | 処置歯数 | 未処置歯数 | 現在歯数 | | 健全歯数 | 処置歯数 | 未処置歯数 | 現在歯数 |
|--------|------|------|-------|------|--------|------|------|-------|------|
| 20～24歳 | 24.2 | 3.0 | 1.1 | 28.3 | 55～59歳 | 12.9 | 13.1 | 0.4 | 26.5 |
| 25～29歳 | 22.5 | 4.7 | 0.8 | 28.0 | 60～64歳 | 11.5 | 13.3 | 0.5 | 25.5 |
| 30～34歳 | 20.3 | 7.1 | 0.7 | 28.2 | 65～69歳 | 9.7 | 13.6 | 0.4 | 23.8 |
| 35～39歳 | 18.1 | 8.5 | 1.0 | 27.7 | 70～74歳 | 9.0 | 13.2 | 0.3 | 22.6 |
| 40～44歳 | 17.7 | 9.4 | 0.5 | 27.8 | 75～79歳 | 8.4 | 12.4 | 0.4 | 21.2 |
| 45～49歳 | 14.9 | 11.8 | 0.6 | 27.3 | 80～84歳 | 6.9 | 11.9 | 0.5 | 19.4 |
| 50～54歳 | 14.4 | 12.1 | 0.5 | 27.1 | 85歳以上 | 5.7 | 11.4 | 0.6 | 17.8 |
| | | | | | 全体 | 12.9 | 11.2 | 0.6 | 24.8 |

図II-B-1-(1)-ア 年齢階級別による1人平均現在歯数(外来患者)

(単位:本)



イ う蝕有病者とその処置状況

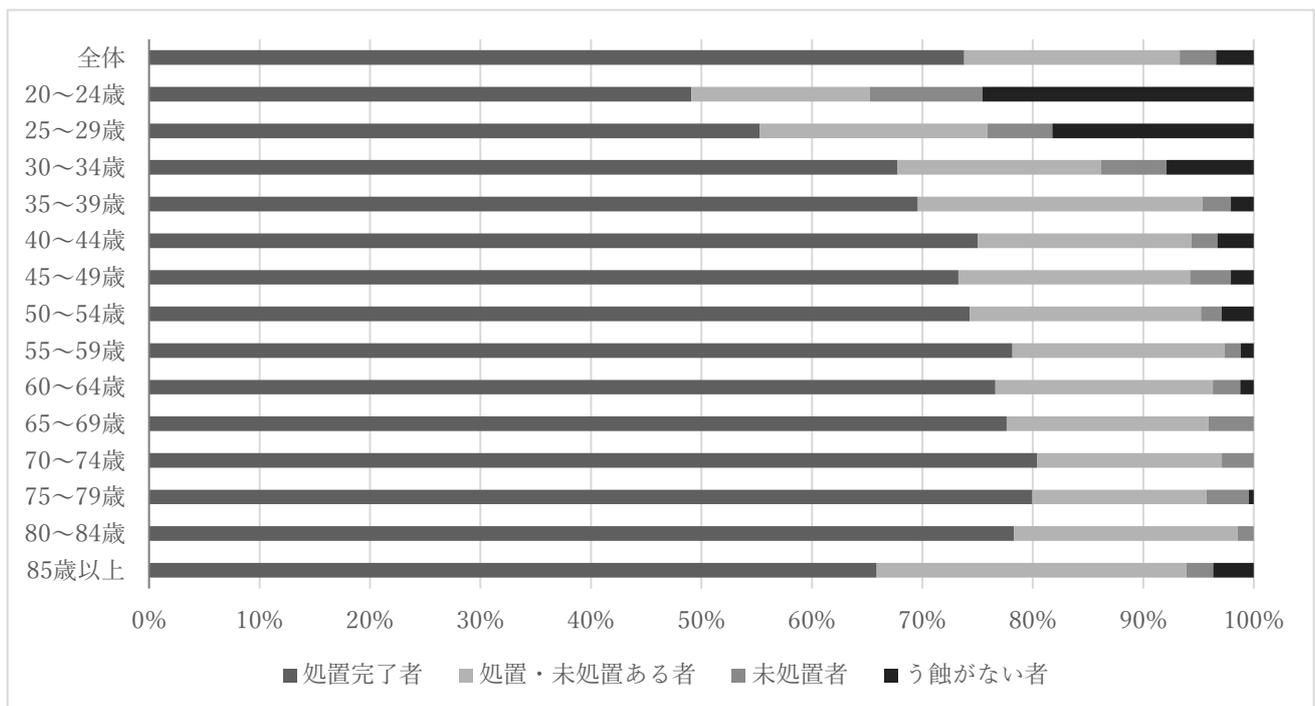
外来患者全体でのう蝕有病者（処置完了者及び処置・未処置のある者、未処置者）は96.6%で、処置完了者は全体では73.8%、処置・未処置のある者は19.5%、未処置者は3.3%であった。

表 II-B-1-(1)-イ 年齢階級別によるう蝕の処置状況（外来患者）

（単位：人）

| | 処置完了者 | 処置・未処置のある者 | 未処置者 | う蝕がない者 | 総数 |
|--------|---------------|-------------|------------|------------|----------------|
| 20～24歳 | 82 (49.1%) | 27 (16.2%) | 17 (10.2%) | 41 (24.6%) | 167 (100.0%) |
| 25～29歳 | 94 (55.3%) | 35 (20.6%) | 10 (5.9%) | 31 (18.2%) | 170 (100.0%) |
| 30～34歳 | 103 (67.8%) | 28 (18.4%) | 9 (5.9%) | 12 (7.9%) | 152 (100.0%) |
| 35～39歳 | 135 (69.6%) | 50 (25.8%) | 5 (2.6%) | 4 (2.1%) | 194 (100.0%) |
| 40～44歳 | 159 (75.0%) | 41 (19.3%) | 5 (2.4%) | 7 (3.3%) | 212 (100.0%) |
| 45～49歳 | 178 (73.3%) | 51 (21.0%) | 9 (3.7%) | 5 (2.1%) | 243 (100.0%) |
| 50～54歳 | 280 (74.3%) | 79 (21.0%) | 7 (1.9%) | 11 (2.9%) | 377 (100.0%) |
| 55～59歳 | 265 (78.2%) | 65 (19.2%) | 5 (1.5%) | 4 (1.2%) | 339 (100.0%) |
| 60～64歳 | 249 (76.6%) | 64 (19.7%) | 8 (2.5%) | 4 (1.2%) | 325 (100.0%) |
| 65～69歳 | 229 (77.6%) | 54 (18.3%) | 12 (4.1%) | 0 (0.0%) | 295 (100.0%) |
| 70～74歳 | 307 (80.4%) | 64 (16.8%) | 11 (2.9%) | 0 (0.0%) | 382 (100.0%) |
| 75～79歳 | 355 (80.0%) | 70 (15.8%) | 17 (3.8%) | 2 (0.5%) | 444 (100.0%) |
| 80～84歳 | 213 (78.3%) | 55 (20.2%) | 4 (1.5%) | 0 (0.0%) | 272 (100.0%) |
| 85歳以上 | 108 (65.9%) | 46 (28.0%) | 4 (2.4%) | 6 (3.7%) | 164 (100.0%) |
| 全体 | 2,757 (73.8%) | 729 (19.5%) | 123 (3.3%) | 127 (3.4%) | 3,736 (100.0%) |

図 II-B-1-(1)-イ 年齢階級別によるう蝕の処置状況（外来患者）



ウ う蝕有病歯率

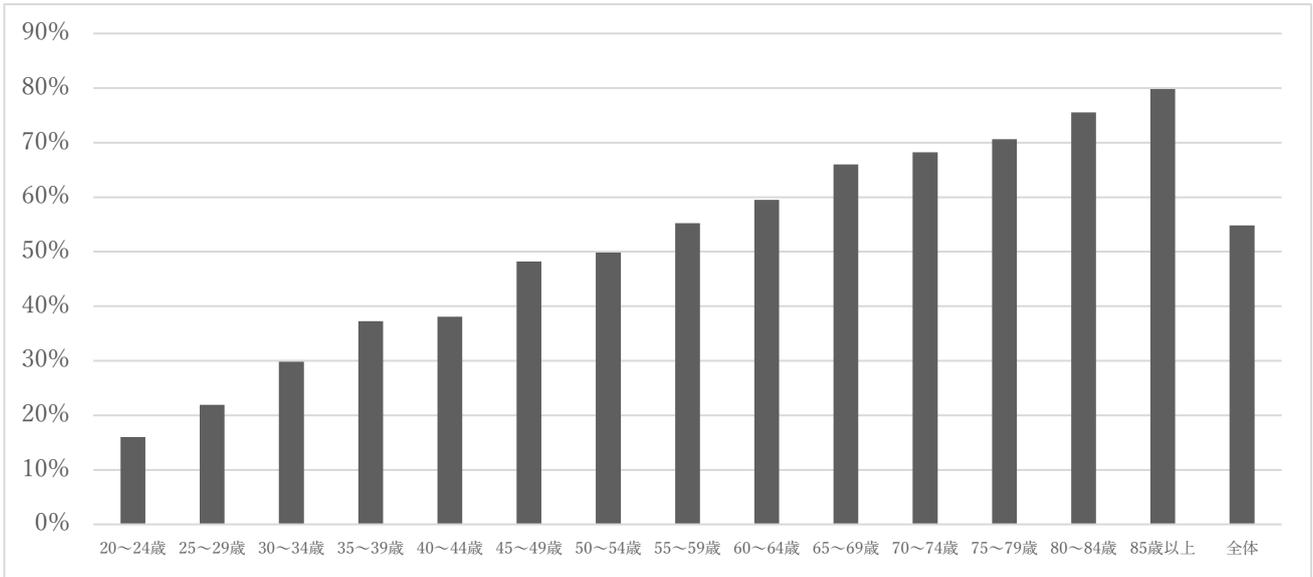
外来患者のう蝕有病歯率は全体で54.8%であった。20～24歳の16.0%から年齢階級が上がるに従い増加し、85歳以上で79.8%と最も割合が高かった。

表II-B-1-(1)-ウ 年齢階級別によるう蝕有病歯率（外来患者）

(単位：本)

| | 健全歯数 | 処置歯数 | 未処置歯数 | 喪失歯数 | う蝕有病歯率 |
|--------|--------------|--------------|------------|--------------|--------|
| 20～24歳 | 24.2 (84.0%) | 3.0 (10.5%) | 1.2 (4.0%) | 0.4 (1.5%) | 16.0% |
| 25～29歳 | 22.5 (78.0%) | 4.7 (16.4%) | 0.8 (2.7%) | 0.8 (2.8%) | 21.9% |
| 30～34歳 | 20.3 (69.8%) | 7.1 (24.3%) | 0.7 (2.5%) | 0.9 (3.0%) | 29.8% |
| 35～39歳 | 18.1 (62.6%) | 8.5 (29.4%) | 1.0 (3.5%) | 1.2 (4.3%) | 37.2% |
| 40～44歳 | 17.7 (61.2%) | 9.4 (32.4%) | 0.5 (1.8%) | 1.1 (3.9%) | 38.1% |
| 45～49歳 | 14.9 (51.8%) | 11.8 (40.9%) | 0.6 (2.2%) | 1.5 (5.1%) | 48.2% |
| 50～54歳 | 14.4 (50.0%) | 12.1 (42.1%) | 0.5 (1.8%) | 1.7 (5.9%) | 49.9% |
| 55～59歳 | 12.9 (44.5%) | 13.1 (45.4%) | 0.4 (1.5%) | 2.4 (8.3%) | 55.2% |
| 60～64歳 | 11.5 (40.1%) | 13.3 (46.5%) | 0.5 (1.8%) | 3.2 (11.3%) | 59.5% |
| 65～69歳 | 9.7 (33.9%) | 13.6 (47.4%) | 0.4 (1.5%) | 4.9 (17.1%) | 66.0% |
| 70～74歳 | 9.0 (31.5%) | 13.2 (46.3%) | 0.3 (1.0%) | 6.0 (20.9%) | 68.2% |
| 75～79歳 | 8.4 (29.3%) | 12.4 (43.2%) | 0.4 (1.3%) | 7.5 (26.1%) | 70.6% |
| 80～84歳 | 6.9 (24.0%) | 11.9 (41.3%) | 0.5 (1.8%) | 9.3 (32.4%) | 75.6% |
| 85歳以上 | 5.7 (20.0%) | 11.4 (39.7%) | 0.6 (2.3%) | 10.8 (37.8%) | 79.8% |
| 全体 | 12.9 (44.9%) | 11.2 (39.0%) | 0.6 (1.9%) | 4.0 (14.0%) | 54.8% |

図II-B-1-(1)-ウ 年齢階級別によるう蝕有病歯率（外来患者）



エ 1人平均未処置歯数

外来患者全体での1人平均未処置歯数は0.6本と1本を下回り、その内訳はC1が0.2本、C2が0.3本、C3が0.1本、C4が0.1本であった。

20～24歳と35～39歳でのC1、C2、C3、C4の合計は1本以上と多いが、40歳以上では0.3～0.7本程度で推移していた。

表II-B-1-(1)-エ 年齢階級別による1人平均未処置歯数（外来患者）

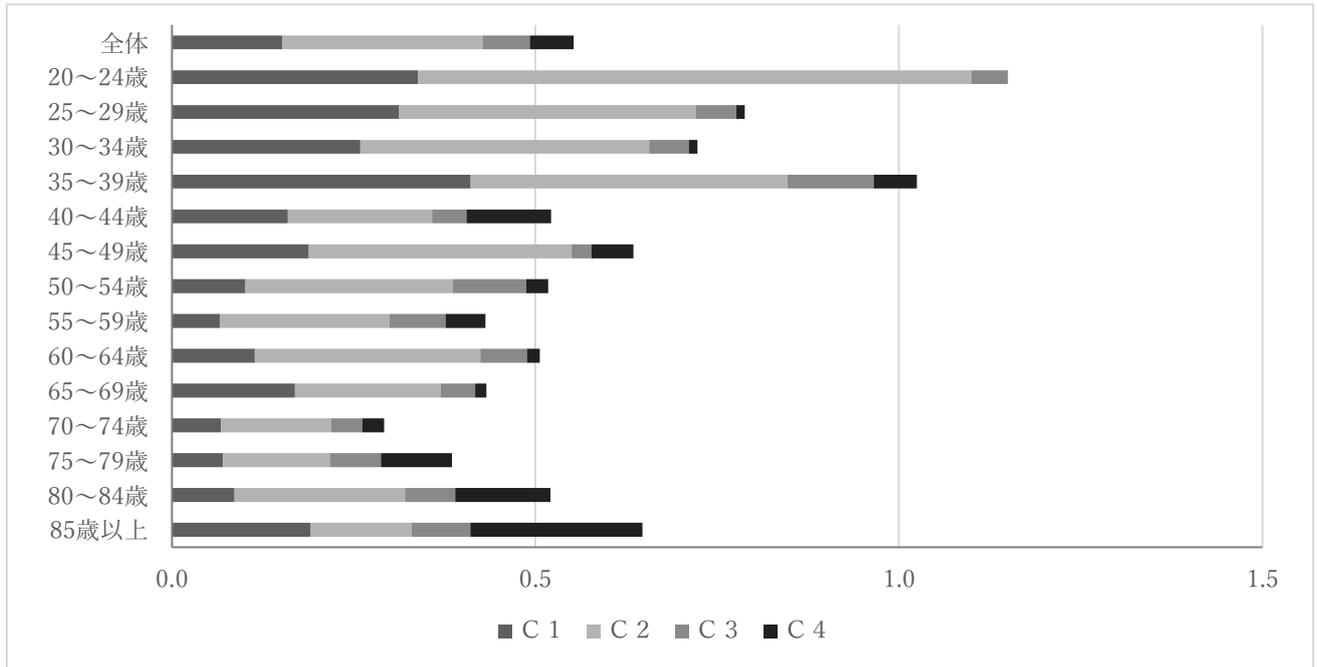
(単位：本)

| | C1 | C2 | C3 | C4 | 未処置歯数 | 年齢 | C1 | C2 | C3 | C4 | 未処置歯数 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-------|--------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 20～24歳 | 0.3 | 0.8 | 0.1 | 0.0 | 1.2 | 55～59歳 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | 0.4 |
| 25～29歳 | 0.3 | 0.4 | 0.1 | 0.0 | 0.8 | 60～64歳 | 0.1 | 0.3 | 0.1 | 0.0 | 0.5 |
| 30～34歳 | 0.3 | 0.4 | 0.1 | 0.0 | 0.7 | 65～69歳 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.4 |
| 35～39歳 | 0.4 | 0.4 | 0.1 | 0.1 | 1.0 | 70～74歳 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.3 |
| 40～44歳 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | 0.1 | 0.5 | 75～79歳 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.4 |
| 45～49歳 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 80～84歳 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | 0.5 |
| 50～54歳 | 0.1 | 0.3 | 0.1 | 0.0 | 0.5 | 85歳以上 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 0.6 |
| | | | | | | 全体 | 0.2 | 0.3 | 0.1 | 0.1 | 0.6 |

* 小数第2位以下四捨五入のため、C1～C4の合計と未処置歯数は一致しない。

図II-B-1-(1)-エ 年齢階級別による1人平均未処置歯数（外来患者）

(単位：本)



(2) 喪失歯とその補綴状況

ア 喪失歯を有する者の割合及び1人平均喪失歯数

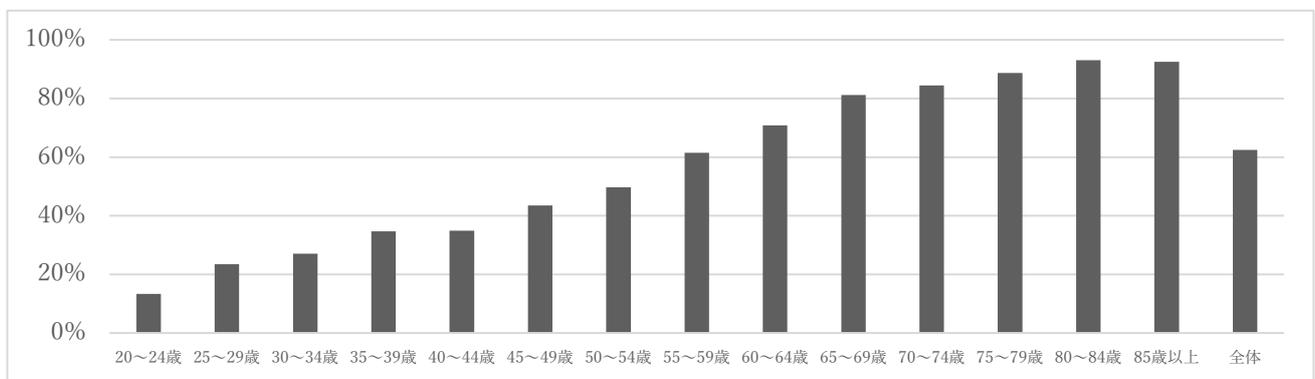
外来患者の喪失歯を有する者の割合は全体で62.5%であり、年齢階級別では20～24歳で13.3%と最も低く、年齢階級が上がるに従い増加し、85歳以上で92.5%であった。

1人平均喪失歯数は全体では4.0本であり、20～24歳の0.4本から年齢階級が上がるに従い増加し、55歳以降で急激に増加して、85歳以上で10.8本であった。

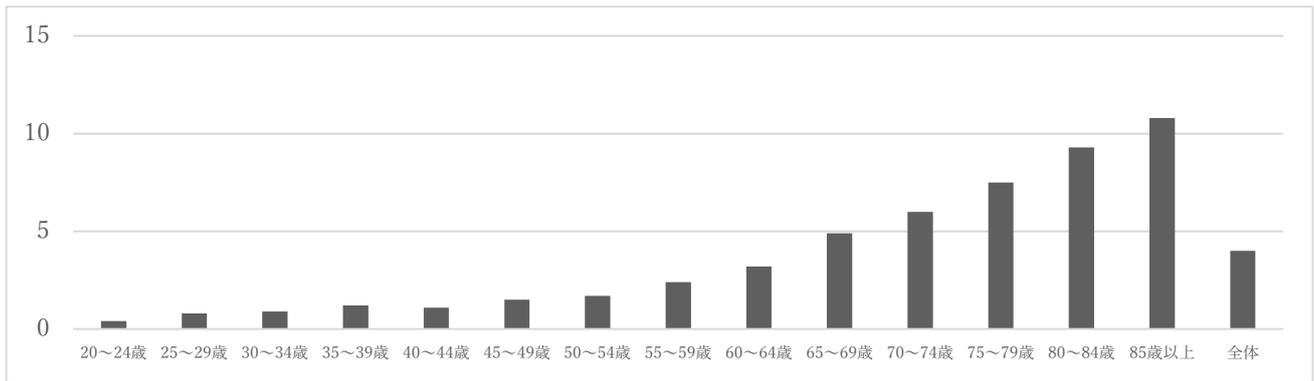
表II-B-1-(2)-ア 年齢階級別による喪失歯を有する者の割合（外来患者）

| | 喪失歯を有する者（人） | 喪失歯のない者（人） | 総数（人） | 1人平均喪失歯数（本） |
|--------|---------------|---------------|----------------|-------------|
| 20～24歳 | 24 (13.3%) | 156 (86.7%) | 180 (100.0%) | 0.4 |
| 25～29歳 | 42 (23.5%) | 137 (76.5%) | 179 (100.0%) | 0.8 |
| 30～34歳 | 45 (27.1%) | 121 (72.9%) | 166 (100.0%) | 0.9 |
| 35～39歳 | 70 (34.7%) | 132 (65.3%) | 202 (100.0%) | 1.2 |
| 40～44歳 | 81 (34.9%) | 151 (65.1%) | 232 (100.0%) | 1.1 |
| 45～49歳 | 113 (43.5%) | 147 (56.5%) | 260 (100.0%) | 1.5 |
| 50～54歳 | 197 (49.7%) | 199 (50.3%) | 396 (100.0%) | 1.7 |
| 55～59歳 | 224 (61.5%) | 140 (38.5%) | 364 (100.0%) | 2.4 |
| 60～64歳 | 242 (70.8%) | 100 (29.2%) | 342 (100.0%) | 3.2 |
| 65～69歳 | 259 (81.2%) | 60 (18.8%) | 319 (100.0%) | 4.9 |
| 70～74歳 | 339 (84.5%) | 62 (15.5%) | 401 (100.0%) | 6.0 |
| 75～79歳 | 417 (88.7%) | 53 (11.3%) | 470 (100.0%) | 7.5 |
| 80～84歳 | 270 (93.1%) | 20 (6.9%) | 290 (100.0%) | 9.3 |
| 85歳以上 | 160 (92.5%) | 13 (7.5%) | 173 (100.0%) | 10.8 |
| 全体 | 2,483 (62.5%) | 1,491 (37.5%) | 3,974 (100.0%) | 4.0 |

図II-B-1-(2)-ア-1 年齢階級別による喪失歯を有する者の割合（外来患者）



図II-B-1-(2)-ア-2 年齢階級別による一人平均喪失歯数（外来患者）



イ 20本以上の歯を有する者の割合

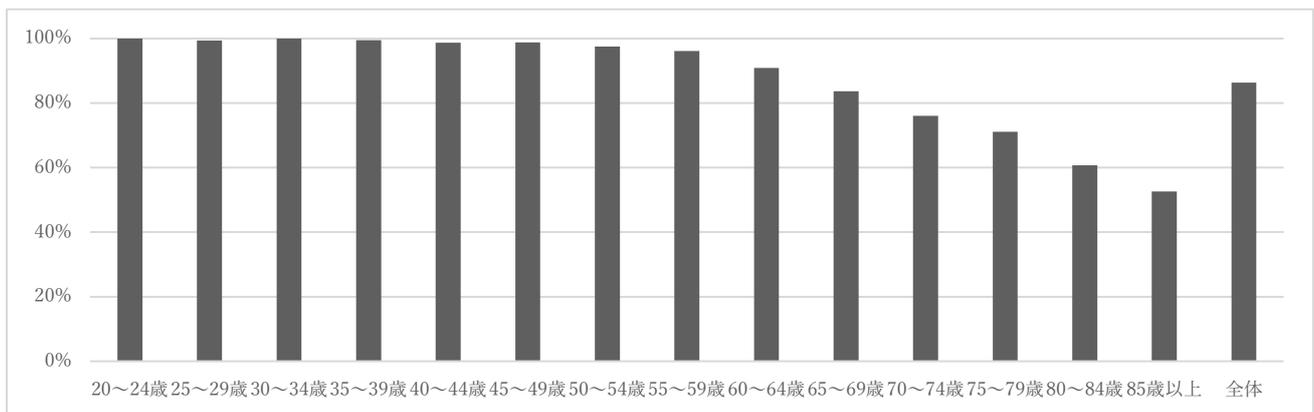
外来患者で20本以上の歯を有する者の割合は20～39歳で99%を超えていたが、45～49歳の98.8%から年齢階級が上がるに従い減少し、85歳以上で52.6%であった。

8020達成率（75～84歳の平均）は67.1%であった。

表II-B-1-(2)-イ 年齢階級別による20本以上の歯を有する者の割合（外来患者）

| | 20本以上の歯を有する者の割合 | | 20本以上の歯を有する者の割合 |
|--------|-----------------|------------|-----------------|
| 20～24歳 | 100.0% | 60～64歳 | 90.9% |
| 25～29歳 | 99.4% | 65～69歳 | 83.7% |
| 30～34歳 | 100.0% | 70～74歳 | 76.1% |
| 35～39歳 | 99.5% | 75～79歳 | 71.1% |
| 40～44歳 | 98.7% | 80～84歳 | 60.7% |
| 45～49歳 | 98.8% | 85歳以上 | 52.6% |
| 50～54歳 | 97.5% | 75～84歳（再掲） | 67.1% |
| 55～59歳 | 96.2% | 全体 | 86.3% |

図II-B-1-(2)-イ 年齢階級別による20本以上の歯を有する者の割合（外来患者）



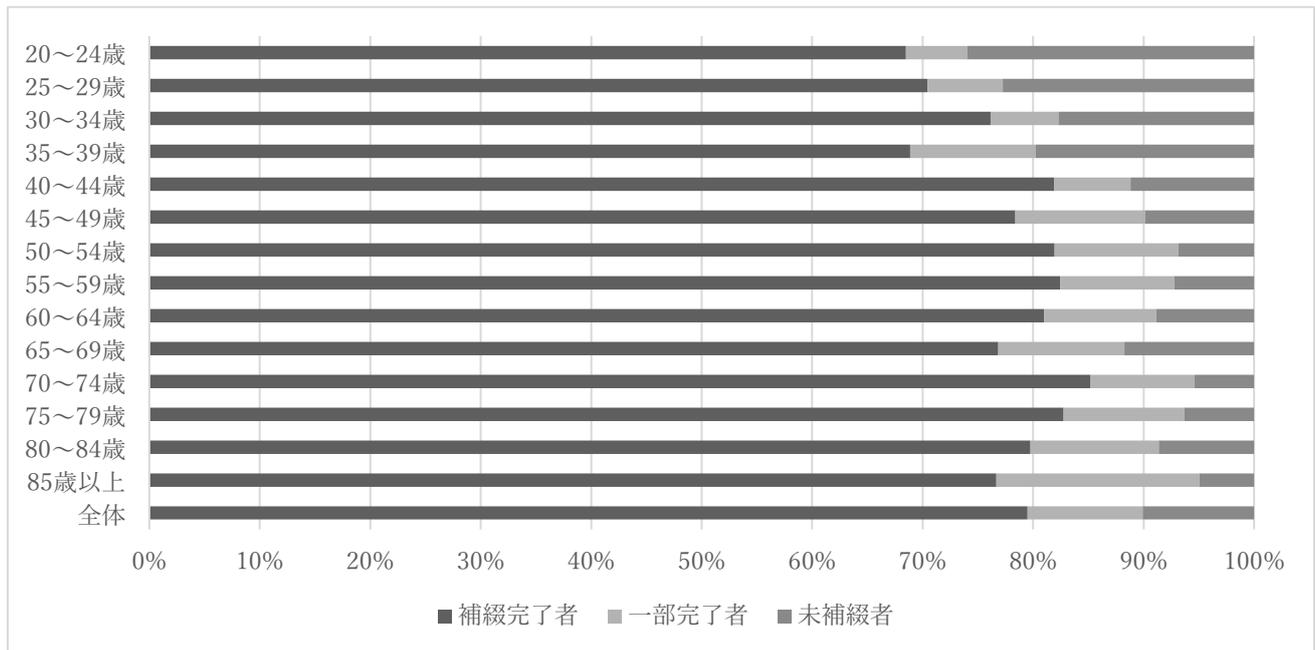
ウ 欠損補綴の状況

外来患者で喪失歯を有する者のうち補綴完了者の割合は、40～44歳以上では約80%であったが、35～39歳以下では80%を下回っていた。未補綴者は20～24歳で26.0%と最も多く、40～44歳から80～84歳まで約10%であった。

表II-B-1-(2)-ウ 年齢階級別による欠損補綴の状況（外来患者）

| | 補綴完了者 | 一部完了者 | 未補綴者 | 年齢 | 補綴完了者 | 一部完了者 | 未補綴者 |
|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 20～24歳 | 68.5% | 5.5% | 26.0% | 55～59歳 | 82.4% | 10.3% | 7.2% |
| 25～29歳 | 70.5% | 6.8% | 22.7% | 60～64歳 | 81.0% | 10.2% | 8.9% |
| 30～34歳 | 76.2% | 6.2% | 17.7% | 65～69歳 | 76.8% | 11.4% | 11.7% |
| 35～39歳 | 68.9% | 11.4% | 19.8% | 70～74歳 | 85.2% | 9.4% | 5.4% |
| 40～44歳 | 81.9% | 6.9% | 11.2% | 75～79歳 | 82.8% | 11.0% | 6.3% |
| 45～49歳 | 78.4% | 11.7% | 9.9% | 80～84歳 | 79.8% | 11.6% | 8.6% |
| 50～54歳 | 81.9% | 11.2% | 6.9% | 85歳以上 | 76.7% | 18.4% | 4.9% |
| | | | | 全体 | 79.5% | 10.4% | 10.1% |

図II-B-1-(2)-ウ 年齢階級別による欠損補綴の状況（外来患者）



(3) 歯周組織の状況

ア 歯肉及び歯周ポケットの状況

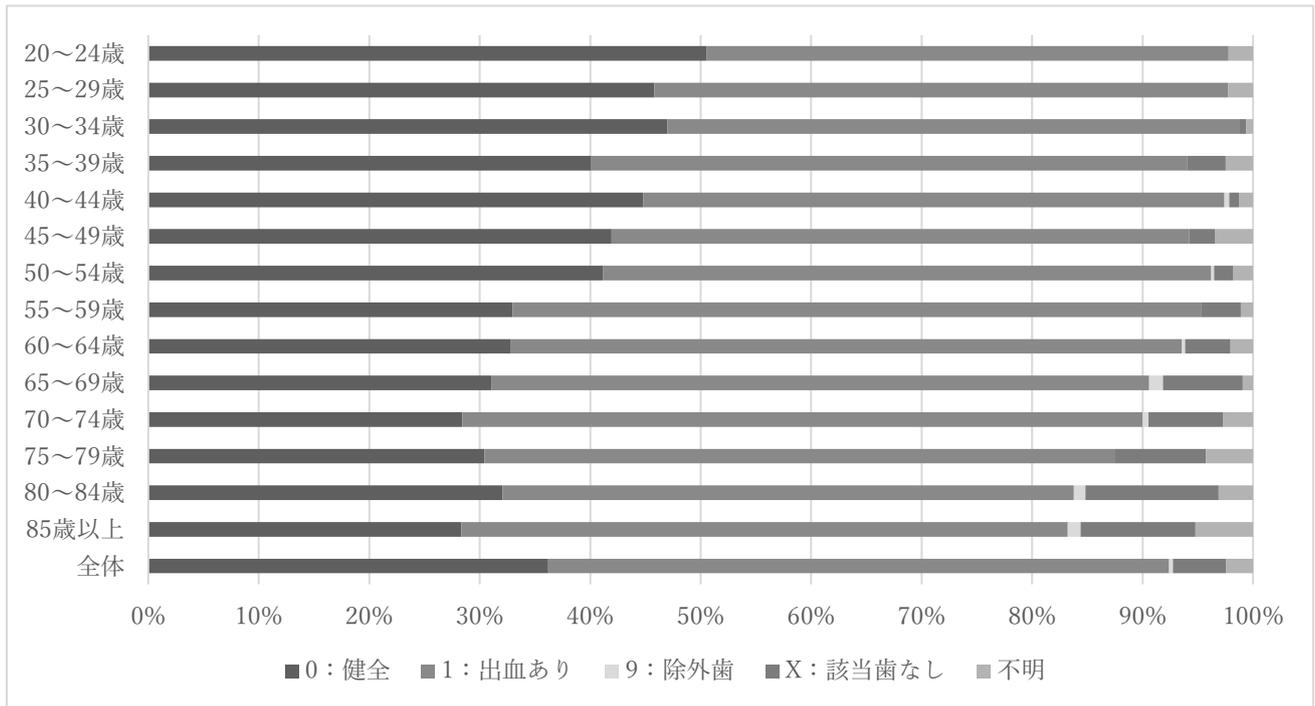
外来患者の20～24歳における「歯肉出血あり（BOPコード1）」の者の割合は47.2%で、25～29歳以降は50%以上となり、55～59歳が最も高く62.4%であった。また、「4mm以上6mm未満の歯周ポケット（PDコード1）」と「6mm以上の歯周ポケット（PDコード2）」の者を合わせると、全体で56.6%であった。年齢別にみると、20～24歳でもすでに30.6%であり、55～59歳で60%を超え、70～74歳と75～79歳がともに66.5%で最も高く、80歳以上ではやや減少した。PDコード1の者の割合は30～34歳では39.8%となり、50～54歳では46.7%であった。PDコード2の者の割合は年齢が上がるにつれて増加していき、65～69歳が22.6%で最も高く、75歳以上で約17%であった。

表II-B-1-(3)-ア-1 年齢階級別による歯肉の状況（外来患者）

(単位：人)

| | 0：健全 | 1：出血あり | 9：除外歯 | X：該当歯なし | 不明 |
|--------|---------------|---------------|-----------|------------|-----------|
| 20～24歳 | 91 (50.6%) | 85 (47.2%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 4 (2.2%) |
| 25～29歳 | 82 (45.8%) | 93 (52.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 4 (2.2%) |
| 30～34歳 | 78 (47.0%) | 86 (51.8%) | 0 (0.0%) | 1 (0.6%) | 1 (0.6%) |
| 35～39歳 | 81 (40.1%) | 109 (54.0%) | 0 (0.0%) | 7 (3.5%) | 5 (2.5%) |
| 40～44歳 | 104 (44.8%) | 122 (52.6%) | 1 (0.4%) | 2 (0.9%) | 3 (1.3%) |
| 45～49歳 | 109 (41.9%) | 136 (52.3%) | 0 (0.0%) | 6 (2.3%) | 9 (3.5%) |
| 50～54歳 | 163 (41.2%) | 218 (55.1%) | 1 (0.3%) | 7 (1.8%) | 7 (1.8%) |
| 55～59歳 | 120 (33.0%) | 227 (62.4%) | 0 (0.0%) | 13 (3.6%) | 4 (1.1%) |
| 60～64歳 | 112 (32.7%) | 208 (60.8%) | 1 (0.3%) | 14 (4.1%) | 7 (2.0%) |
| 65～69歳 | 99 (31.0%) | 190 (59.6%) | 4 (1.3%) | 23 (7.2%) | 3 (0.9%) |
| 70～74歳 | 114 (28.4%) | 247 (61.6%) | 2 (0.5%) | 27 (6.7%) | 11 (2.7%) |
| 75～79歳 | 143 (30.4%) | 268 (57.0%) | 0 (0.0%) | 39 (8.3%) | 20 (4.3%) |
| 80～84歳 | 93 (32.1%) | 150 (51.7%) | 3 (1.0%) | 35 (12.1%) | 9 (3.1%) |
| 85歳以上 | 49 (28.3%) | 95 (54.9%) | 2 (1.2%) | 18 (10.4%) | 9 (5.2%) |
| 全体 | 1,438 (36.2%) | 2,234 (56.2%) | 14 (0.4%) | 192 (4.8%) | 96 (2.4%) |

図II-B-1-(3)-ア-1 年齢階級別による歯肉の状況（外来患者）

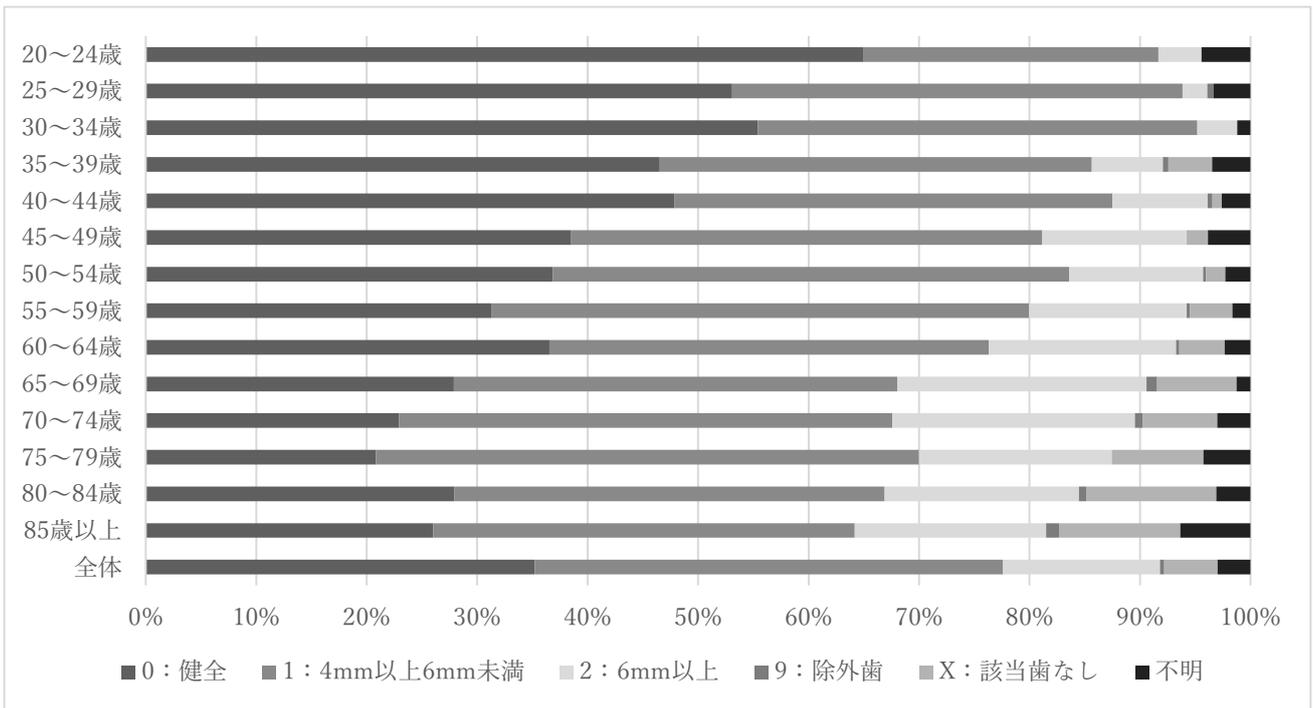


表II-B-1-(3)-ア-2 年齢階級別による歯周ポケットの状況（外来患者）

（単位：人）

| | 0: 健全 | 1: 4 mm以上 6 mm未満 | 2: 6 mm以上 | 9: 除外歯 | X: 該当歯なし | 不明 |
|--------|---------------|---------------------|-------------|-----------|------------|------------|
| 20～24歳 | 117 (65.0%) | 48 (26.7%) | 7 (3.9%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 8 (4.4%) |
| 25～29歳 | 95 (53.1%) | 73 (40.8%) | 4 (2.2%) | 1 (0.6%) | 0 (0.0%) | 6 (3.4%) |
| 30～34歳 | 92 (55.4%) | 66 (39.8%) | 6 (3.6%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 2 (1.2%) |
| 35～39歳 | 94 (46.5%) | 79 (39.1%) | 13 (6.4%) | 1 (0.5%) | 8 (4.0%) | 7 (3.5%) |
| 40～44歳 | 111 (47.8%) | 92 (39.7%) | 20 (8.6%) | 1 (0.4%) | 2 (0.9%) | 6 (2.6%) |
| 45～49歳 | 100 (38.5%) | 111 (42.7%) | 34 (13.1%) | 0 (0.0%) | 5 (1.9%) | 10 (3.8%) |
| 50～54歳 | 146 (36.9%) | 185 (46.7%) | 48 (12.1%) | 1 (0.3%) | 7 (1.8%) | 9 (2.3%) |
| 55～59歳 | 114 (31.3%) | 177 (48.6%) | 52 (14.3%) | 1 (0.3%) | 14 (3.8%) | 6 (1.6%) |
| 60～64歳 | 125 (36.5%) | 136 (39.8%) | 58 (17.0%) | 1 (0.3%) | 14 (4.1%) | 8 (2.3%) |
| 65～69歳 | 89 (27.9%) | 128 (40.1%) | 72 (22.6%) | 3 (0.9%) | 23 (7.2%) | 4 (1.3%) |
| 70～74歳 | 92 (22.9%) | 179 (44.6%) | 88 (21.9%) | 3 (0.7%) | 27 (6.7%) | 12 (3.0%) |
| 75～79歳 | 98 (20.9%) | 231 (49.1%) | 82 (17.4%) | 0 (0.0%) | 39 (8.3%) | 20 (4.3%) |
| 80～84歳 | 81 (27.9%) | 113 (39.0%) | 51 (17.6%) | 2 (0.7%) | 34 (11.7%) | 9 (3.1%) |
| 85歳以上 | 45 (26.0%) | 66 (38.2%) | 30 (17.3%) | 2 (1.2%) | 19 (11.0%) | 11 (6.4%) |
| 全体 | 1,399 (35.2%) | 1,684 (42.4%) | 565 (14.2%) | 16 (0.4%) | 192 (4.8%) | 118 (3.0%) |

図II-B-1-(3)-ア-2 年齢階級別による歯周ポケットの状況（外来患者）



イ 歯石の付着状況

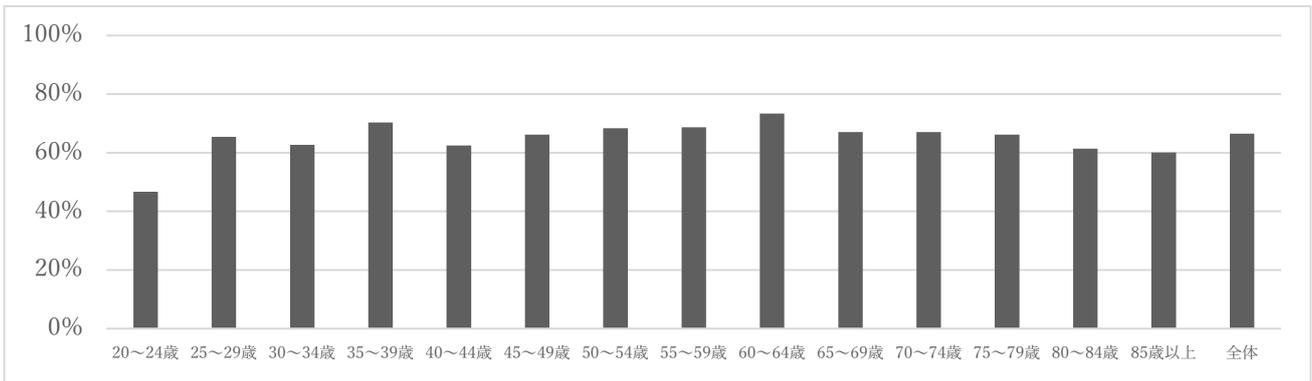
外来患者の歯石の付着については、20~24歳で46.7%であったものの、25~29歳で65.4%と増加し、以降は横ばいであった。

表II-B-1-(3)-イ 年齢階級別による歯石の付着がある者の割合（外来患者）

(単位：人)

| | 歯石の付着がある者 | | 歯石の付着がある者 |
|--------|-------------|--------|---------------|
| 20~24歳 | 84 (46.7%) | 55~59歳 | 250 (68.7%) |
| 25~29歳 | 117 (65.4%) | 60~64歳 | 251 (73.4%) |
| 30~34歳 | 104 (62.7%) | 65~69歳 | 214 (67.1%) |
| 35~39歳 | 142 (70.3%) | 70~74歳 | 269 (67.1%) |
| 40~44歳 | 145 (62.5%) | 75~79歳 | 311 (66.2%) |
| 45~49歳 | 172 (66.2%) | 80~84歳 | 178 (61.4%) |
| 50~54歳 | 271 (68.4%) | 85歳以上 | 104 (60.1%) |
| | | 全体 | 2,612 (66.5%) |

図II-B-1-(3)-イ 年齢階級別による歯石の付着がある者の割合（外来患者）



ウ 口腔清掃状態

口腔清掃状態は、年齢が上がるにつれてプラークや他の付着物がない（コード0）の歯数が減少していた。特にプラークが歯面の1/3～2/3（コード2）の歯数は75～79歳が0.6本と最も高く、プラークが歯面の2/3以上（コード3）の歯数は85歳以上が0.3本で最も高かった。

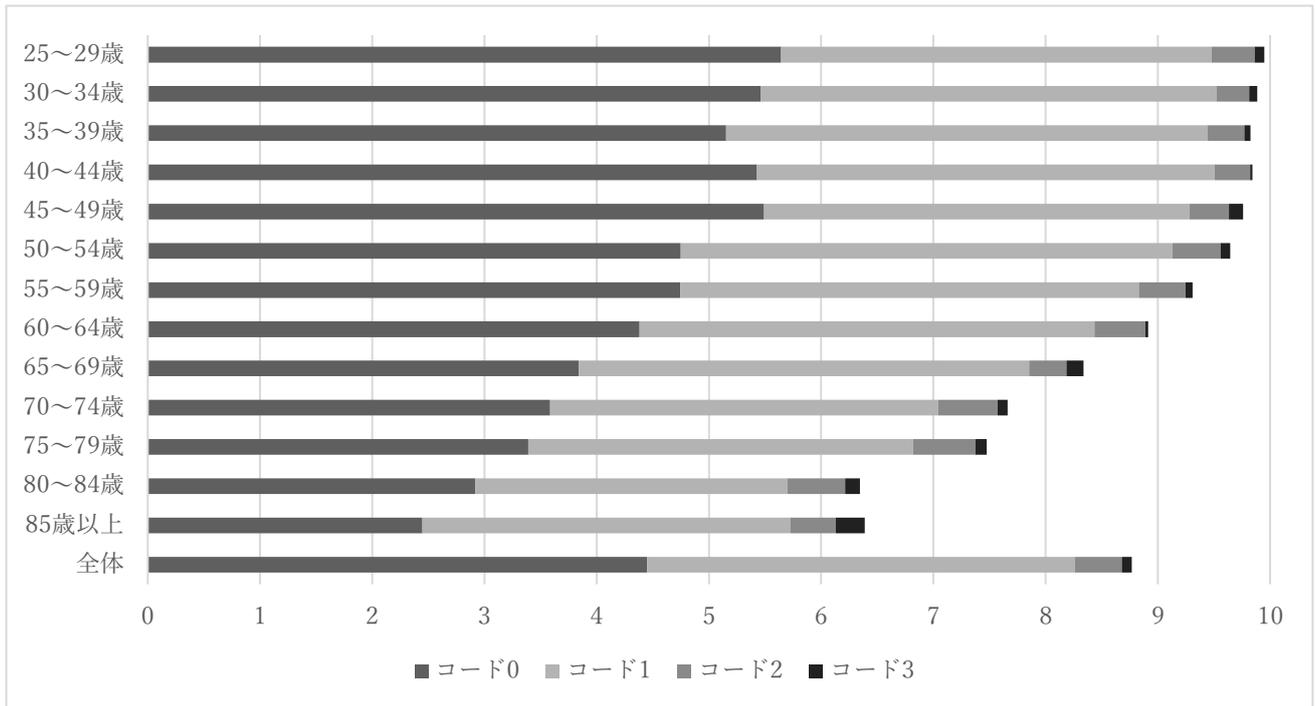
表II-B-1-(3)-ウ 年齢階級別による口腔清掃状態(コード別1人平均本数)（外来患者）

(単位：本)

| | 0：プラークや他の付着物がない | 1：プラークが歯面の1/3以下 | 2：プラークが歯面の1/3～2/3 | 3：プラークが歯面2/3以上 |
|--------|-----------------|-----------------|-------------------|----------------|
| 20～24歳 | 6.1 | 3.4 | 0.4 | 0.0 |
| 25～29歳 | 5.6 | 3.8 | 0.4 | 0.1 |
| 30～34歳 | 5.5 | 4.1 | 0.3 | 0.1 |
| 35～39歳 | 5.2 | 4.3 | 0.3 | 0.1 |
| 40～44歳 | 5.4 | 4.1 | 0.3 | 0.0 |
| 45～49歳 | 5.5 | 3.8 | 0.4 | 0.1 |
| 50～54歳 | 4.7 | 4.4 | 0.4 | 0.1 |
| 55～59歳 | 4.7 | 4.1 | 0.4 | 0.1 |
| 60～64歳 | 4.4 | 4.1 | 0.5 | 0.0 |
| 65～69歳 | 3.8 | 4.0 | 0.3 | 0.2 |
| 70～74歳 | 3.6 | 3.5 | 0.5 | 0.1 |
| 75～79歳 | 3.4 | 3.4 | 0.6 | 0.1 |
| 80～84歳 | 2.9 | 2.8 | 0.5 | 0.1 |
| 85歳以上 | 2.4 | 3.3 | 0.4 | 0.3 |
| 全体 | 4.5 | 3.8 | 0.4 | 0.1 |

図II-B-1-(3)-ウ 年齢階級別による口腔清掃状態(1人平均本数) (外来患者)

(単位：本)



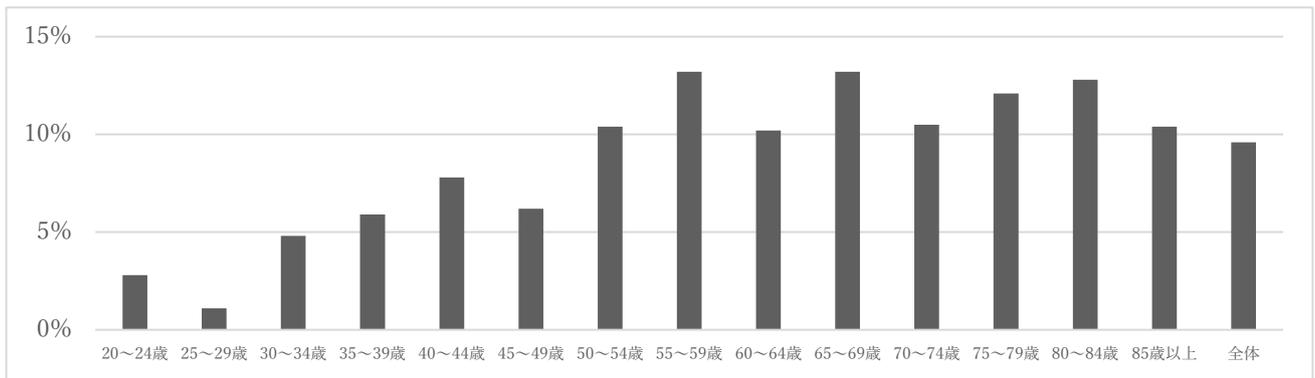
(4) 歯頸部の状況（くさび状欠損を有する者の割合）

外来患者のくさび状欠損を有する者の割合は全体で9.6%であった。くさび状欠損の発生機序は完全には解明されていないが、歯周病による歯肉退縮で生じる歯根面の露出の関与が指摘されており、30歳未満では3%未満と少なかった。一方で、50歳以上では10%以上と増加していた。

表II-B-1-(4) 年齢階級別によるくさび状欠損を有する者の割合（外来患者）

| | くさび状欠損を有する者の割合 | | くさび状欠損を有する者の割合 |
|--------|----------------|--------|----------------|
| 20～24歳 | 2.8% | 55～59歳 | 13.2% |
| 25～29歳 | 1.1% | 60～64歳 | 10.2% |
| 30～34歳 | 4.8% | 65～69歳 | 13.2% |
| 35～39歳 | 5.9% | 70～74歳 | 10.5% |
| 40～44歳 | 7.8% | 75～79歳 | 12.1% |
| 45～49歳 | 6.2% | 80～84歳 | 12.8% |
| 50～54歳 | 10.4% | 85歳以上 | 10.4% |
| | | 全体 | 9.6% |

図II-B-1-(4)-1 年齢階級別によるくさび状欠損を有する者の割合（外来患者）



2 生活習慣、歯科保健等に関する調査の結果

(1) 健康への意識

ア 主観的健康観（問1 現在の健康状態はいかがですか。）

「よい」、「まあよい」と回答した者の割合は、39.7%であった。年代が上がるに従い「よい」、「まあよい」と回答した者の割合は減少していた。

表II-B-2-(1)-ア 年代別による主観的健康観（外来患者）

(単位：人)

| | よい | まあよい | ふつう | あまりよくない | よくない | わからない | 未回答 |
|-------|---------------|-------------|-------------|------------|---------------|----------|-----------|
| 20歳代 | 161 (45.0%) | 44 (12.3%) | 39 (10.9%) | 2 (0.6%) | 111 (31.0%) | 1 (0.3%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 146 (39.7%) | 57 (15.5%) | 37 (10.1%) | 7 (1.9%) | 117 (31.8%) | 1 (0.3%) | 3 (0.8%) |
| 40歳代 | 146 (29.7%) | 88 (17.9%) | 60 (12.2%) | 21 (4.3%) | 175 (35.6%) | 1 (0.2%) | 1 (0.2%) |
| 50歳代 | 213 (28.0%) | 111 (14.6%) | 92 (12.1%) | 37 (4.9%) | 304 (40.0%) | 0 (0.0%) | 3 (0.4%) |
| 60歳代 | 151 (22.9%) | 83 (12.6%) | 94 (14.2%) | 43 (6.5%) | 282 (42.7%) | 1 (0.2%) | 6 (0.9%) |
| 70歳代 | 146 (16.8%) | 99 (11.4%) | 106 (12.2%) | 60 (6.9%) | 457 (52.5%) | 1 (0.1%) | 1 (0.1%) |
| 80歳以上 | 77 (16.7%) | 54 (11.7%) | 63 (13.6%) | 44 (9.5%) | 218 (47.2%) | 1 (0.2%) | 5 (1.1%) |
| 全体 | 1,040 (26.2%) | 536 (13.5%) | 491 (12.4%) | 214 (5.4%) | 1,664 (41.9%) | 6 (0.2%) | 19 (0.5%) |

(ア) 1年間に歯科以外で受診した病気(問1-1 この1年間に歯科以外で治療を受けた病気すべてに○をつけてください。)

問1で「あまりよくない」、「よくない」と回答した者のみを対象として集計した。

糖尿病は50歳代から増え70歳代が最も高く16.6%であった。心臓病は50歳代から増え80歳以上が最も高く16.3%であった。骨粗鬆症は60歳代から増えていた。治療を受けていないと答えた者は、年代が上がるに従い減少した。

表II-B-2-(1)-ア-(ア) 年代別による1年間に歯科以外で受診した病気(外来患者)

(単位:人)

| | 糖尿病 | 心臓病 | 肺炎 | 脳血管障害 (脳卒中等) | 骨粗鬆症 | その他 | 治療は受けて いない | 未回答 |
|-------|-------------|------------|-----------|-----------------|------------|-------------|---------------|-----------|
| 20歳代 | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (0.9%) | 1 (0.9%) | 0 (0.0%) | 14 (12.4%) | 97 (85.8%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 4 (3.2%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (0.8%) | 0 (0.0%) | 25 (20.2%) | 92 (74.2%) | 2 (1.6%) |
| 40歳代 | 6 (3.1%) | 2 (1.0%) | 3 (1.5%) | 0 (0.0%) | 2 (1.0%) | 50 (25.5%) | 133 (67.9%) | 5 (2.6%) |
| 50歳代 | 30 (8.8%) | 9 (2.6%) | 2 (0.6%) | 2 (0.6%) | 1 (0.3%) | 135 (39.6%) | 172 (50.4%) | 1 (0.3%) |
| 60歳代 | 41 (12.6%) | 12 (3.7%) | 1 (0.3%) | 6 (1.8%) | 24 (7.4%) | 146 (44.8%) | 124 (38.0%) | 2 (0.6%) |
| 70歳代 | 86 (16.6%) | 38 (7.4%) | 4 (0.8%) | 14 (2.7%) | 57 (11.0%) | 258 (49.9%) | 141 (27.3%) | 4 (0.8%) |
| 80歳以上 | 34 (12.9%) | 43 (16.3%) | 5 (1.9%) | 9 (3.4%) | 52 (19.8%) | 119 (45.2%) | 65 (24.7%) | 4 (1.5%) |
| 全体 | 201 (10.7%) | 104 (5.5%) | 16 (0.9%) | 33 (1.8%) | 136 (7.2%) | 747 (39.7%) | 824 (43.8%) | 18 (1.0%) |

* 「あまりよくない」「よくない」と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

イ 健康のための運動の頻度(問2 健康のために、からだを動かすなどの運動をしていますか。)

からだを動かすなどの運動を「いつもしている」、「ときどきしている」と回答した者の割合は、70歳代で82.9%と最も高かった。

表II-B-2-(1)-イ 年代別による健康のための運動の頻度(外来患者)

(単位:人)

| | いつもしている | ときどきしている | ほとんどしない | 未回答 |
|-------|-------------|---------------|---------------|-----------|
| 20歳代 | 73 (20.4%) | 192 (53.6%) | 93 (26.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 72 (19.6%) | 186 (50.5%) | 109 (29.6%) | 1 (0.3%) |
| 40歳代 | 82 (16.7%) | 244 (49.6%) | 164 (33.3%) | 2 (0.4%) |
| 50歳代 | 136 (17.9%) | 381 (50.1%) | 236 (31.1%) | 7 (0.9%) |
| 60歳代 | 163 (24.7%) | 310 (47.0%) | 181 (27.4%) | 6 (0.9%) |
| 70歳代 | 287 (33.0%) | 434 (49.9%) | 143 (16.4%) | 6 (0.7%) |
| 80歳以上 | 174 (37.7%) | 185 (40.0%) | 98 (21.2%) | 5 (1.1%) |
| 全体 | 987 (24.9%) | 1,932 (48.7%) | 1,024 (25.8%) | 27 (0.7%) |

ウ 喫煙の習慣（問3 たばこを習慣的に吸っていますか、または吸っていたことはありますか。）

「現在吸っている」、「過去に吸っていた」と回答した者の割合は34.5%であった。20歳代では13.7%で年代が上がるに従い増加し、60歳代の42.9%が最も高かった。「現在吸っている」と回答した者は10.2%で40歳代の14.8%が最も高かった。

表II-B-2-(1)-ウ 年代別による喫煙の習慣（外来患者）

(単位：人)

| | 現在吸っている | 過去に吸っていた | 吸ったことがない | 未回答 |
|-------|-------------|-------------|---------------|-----------|
| 20歳代 | 28 (7.8%) | 21 (5.9%) | 309 (86.3%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 45 (12.2%) | 50 (13.6%) | 272 (73.9%) | 1 (0.3%) |
| 40歳代 | 73 (14.8%) | 109 (22.2%) | 307 (62.4%) | 3 (0.6%) |
| 50歳代 | 104 (13.7%) | 191 (25.1%) | 461 (60.7%) | 4 (0.5%) |
| 60歳代 | 89 (13.5%) | 194 (29.4%) | 368 (55.8%) | 9 (1.4%) |
| 70歳代 | 51 (5.9%) | 270 (31.0%) | 546 (62.8%) | 3 (0.3%) |
| 80歳以上 | 13 (2.8%) | 131 (28.4%) | 314 (68.0%) | 4 (0.9%) |
| 全体 | 403 (10.2%) | 966 (24.3%) | 2,577 (64.9%) | 24 (0.6%) |

(ア) 喫煙者における喫煙指数（外来患者）（問3-1 たばこの本数と期間はどれくらいですか。）

問3で「現在吸っている」、「過去に吸っていた」と回答した者のみを対象として集計した。1日平均本数については、70歳代が最も高く、喫煙年数については、年代が上がるに従い増加していた。

喫煙指数については、70歳代が最も高かった。

表II-B-2-(1)-ウ-(ア) 年代別による1日平均本数・喫煙年数・喫煙指数（外来患者）

| | 1日平均本数(本) | 喫煙年数(年) | 喫煙指数*(本・年) |
|-------|-----------|---------|------------|
| 20歳代 | 10.5 | 6.2 | 69.1 |
| 30歳代 | 11.3 | 10.4 | 132.4 |
| 40歳代 | 14.8 | 15.4 | 219.0 |
| 50歳代 | 15.4 | 21.5 | 339.3 |
| 60歳代 | 15.2 | 24.5 | 374.1 |
| 70歳代 | 18.5 | 26.8 | 506.9 |
| 80歳以上 | 17.7 | 27.6 | 419.4 |
| 全体 | 15.7 | 22.1 | 350.6 |

* 「現在吸っている」「過去に吸っていた」と回答した者の回答のみ計上。

** 喫煙指数 = 1日平均本数 × 喫煙年数

(2) 咬合と咀嚼の状況

ア 奥歯の咬合（問4 自分の歯や入れ歯で、左右の奥歯を噛みしめることができますか。）

「両方できる」と回答した者の割合は、88.0%であった。20歳代の95.8%から70歳代の86.2%まで緩やかに減少し、80歳以上で大きく減少して、78.4%であった。

「どちらもできない」と回答した者の割合は、70歳代では3.3%で、80歳以上では6.7%と大きく増加していた。

表II-B-2-(2)-ア 年代別による奥歯の咬合（外来患者）

(単位：人)

| | 両方できる | 片方だけできる | どちらもできない | 未回答 |
|-------|---------------|------------|------------|-----------|
| 20歳代 | 343 (95.8%) | 5 (1.4%) | 8 (2.2%) | 2 (0.6%) |
| 30歳代 | 338 (91.8%) | 20 (5.4%) | 6 (1.6%) | 4 (1.1%) |
| 40歳代 | 453 (92.1%) | 20 (4.1%) | 15 (3.0%) | 4 (0.8%) |
| 50歳代 | 682 (89.7%) | 60 (7.9%) | 14 (1.8%) | 4 (0.5%) |
| 60歳代 | 566 (85.8%) | 67 (10.2%) | 20 (3.0%) | 7 (1.1%) |
| 70歳代 | 750 (86.2%) | 82 (9.4%) | 29 (3.3%) | 9 (1.0%) |
| 80歳以上 | 362 (78.4%) | 55 (11.9%) | 31 (6.7%) | 14 (3.0%) |
| 全体 | 3,494 (88.0%) | 309 (7.8%) | 123 (3.1%) | 44 (1.1%) |

イ 食べるときの咬合の状態（問5 噛んで食べる時の状態は次のどれに当てはまりますか。）

「何でも噛んで食べることができる」者の割合は、80.8%であった。50歳代までは緩やかな減少し、60歳代から大きく減少した。80歳以上では60.4%であった。

表II-B-2-(2)-イ 年代別による食べる時の咬合の状態（外来患者）

(単位：人)

| | 何でも噛んで食べることができる | 一部噛めない食べ物がある | 噛めない食べ物が多い | 噛んで食べることはできない | 未回答 |
|-------|-----------------|--------------|------------|---------------|-----------|
| 20歳代 | 347 (96.9%) | 8 (2.2%) | 2 (0.6%) | 0 (0.0%) | 1 (0.3%) |
| 30歳代 | 342 (92.9%) | 23 (6.3%) | 1 (0.3%) | 0 (0.0%) | 2 (0.5%) |
| 40歳代 | 447 (90.9%) | 37 (7.5%) | 3 (0.6%) | 2 (0.4%) | 3 (0.6%) |
| 50歳代 | 664 (87.4%) | 90 (11.8%) | 4 (0.5%) | 0 (0.0%) | 2 (0.3%) |
| 60歳代 | 507 (76.8%) | 133 (20.2%) | 13 (2.0%) | 0 (0.0%) | 7 (1.1%) |
| 70歳代 | 622 (71.5%) | 218 (25.1%) | 19 (2.2%) | 6 (0.7%) | 5 (0.6%) |
| 80歳以上 | 279 (60.4%) | 161 (34.8%) | 15 (3.2%) | 4 (0.9%) | 3 (0.6%) |
| 全体 | 3,208 (80.8%) | 670 (16.9%) | 57 (1.4%) | 12 (0.3%) | 23 (0.6%) |

ウ 開口、閉口時の顎関節の異常の頻度（問7 口を大きく開けたり閉じたりする時に、あごの関節に痛みを感じたり、開けにくかったり、音がすることがあります。）

「ある」、「ときどきある」と回答した者の割合は、20.7%であった。30歳代が最も多く、以降は年代が上がるに従い減少した。

表II-B-2-(2)-ウ 年代別による開口、閉口時の顎関節の異常の頻度（外来患者）

(単位：人)

| | ある | ときどきある | ない | 未回答 |
|-------|------------|-------------|---------------|-----------|
| 20歳代 | 40 (11.1%) | 76 (21.2%) | 243 (67.7%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 35 (9.5%) | 93 (25.3%) | 238 (64.7%) | 2 (0.5%) |
| 40歳代 | 33 (6.7%) | 115 (23.4%) | 339 (68.9%) | 5 (1.0%) |
| 50歳代 | 51 (6.7%) | 138 (18.2%) | 565 (74.3%) | 6 (0.8%) |
| 60歳代 | 18 (2.7%) | 89 (13.5%) | 547 (82.8%) | 7 (1.1%) |
| 70歳代 | 26 (3.0%) | 73 (8.4%) | 767 (88.1%) | 5 (0.6%) |
| 80歳以上 | 13 (2.8%) | 25 (5.4%) | 416 (89.8%) | 9 (1.9%) |
| 全体 | 216 (5.4%) | 609 (15.3%) | 3,115 (78.4%) | 34 (0.9%) |

(ア) 開口、閉口時の顎関節の異常の症状（問7-1 あてはまるものすべてに○をつけてください。）

問7で「ある」、「ときどきある」と回答した者のうち、「音がする」と回答した者の割合が最も多く、68.7%であった。

「開けにくい」と回答した者の割合は、21.2%であり、「痛みがある」と回答した者の割合は、6.9%であった。

表II-B-2-(2)-ウ-(ア) 年代別による開口、閉口時の顎関節の異常の症状（複数回答）（外来患者）
（単位：人）

| | 痛みがある | 開けにくい | 音がする |
|-------|------------|-------------|-------------|
| 20歳代 | 4 (3.4%) | 18 (15.5%) | 94 (81.0%) |
| 30歳代 | 7 (5.5%) | 28 (21.9%) | 90 (70.3%) |
| 40歳代 | 10 (6.8%) | 29 (19.6%) | 104 (70.3%) |
| 50歳代 | 6 (3.2%) | 32 (16.9%) | 147 (77.8%) |
| 60歳代 | 12 (11.2%) | 34 (31.8%) | 58 (54.2%) |
| 70歳代 | 12 (12.1%) | 25 (25.3%) | 55 (55.6%) |
| 80歳以上 | 6 (15.8%) | 9 (23.7%) | 19 (50.0%) |
| 全体 | 57 (6.9%) | 175 (21.2%) | 567 (68.7%) |

* 「ときどきある」「ある」と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

エ 顎関節症の治療経験（問8 顎関節症の治療を受けたことがありますか。）

顎関節症の治療を受けたことが「ある」と回答した者の割合は、6.1%であった。

表II-B-2-(2)-エ 年代別による顎関節症の治療経験（外来患者）

（単位：人）

| | ある | ない | わからない（不明） | 未回答 |
|-------|------------|---------------|------------|-----------|
| 20歳代 | 25 (7.0%) | 315 (87.7%) | 19 (5.3%) | (0.0%) |
| 30歳代 | 28 (7.6%) | 317 (86.1%) | 18 (4.9%) | 5 (1.4%) |
| 40歳代 | 40 (8.1%) | 420 (85.4%) | 20 (4.1%) | 12 (2.4%) |
| 50歳代 | 68 (8.9%) | 660 (86.8%) | 21 (2.8%) | 11 (1.4%) |
| 60歳代 | 38 (5.7%) | 592 (89.6%) | 19 (2.9%) | 12 (1.8%) |
| 70歳代 | 27 (3.1%) | 779 (89.4%) | 39 (4.5%) | 26 (3.0%) |
| 80歳以上 | 18 (3.9%) | 388 (83.8%) | 39 (8.4%) | 18 (3.9%) |
| 全体 | 244 (6.1%) | 3,471 (87.3%) | 175 (4.4%) | 84 (2.1%) |

(ア) 顎関節症の治療（問8-1 どのような治療を受けましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。）

問8で顎関節症の治療を受けたことが「ある」と回答した者のみを対象として集計した。「スプリント・プレート等の装着」との回答が「リハビリテーション（ストレッチ等）」より多く、それぞれ58.2%、25.8%であった。

30歳代から70歳以上で「スプリント・プレート等の装着」の方が多かったが、80歳以上では「リハビリテーション（ストレッチ等）」が多かった。

表II-B-2-(2)-エ-(ア) 年代別による顎関節の治療（複数回答）（外来患者）

（単位：人）

| | スプリント・プレート等の装着 | リハビリテーション（ストレッチ等） | その他 |
|-------|----------------|-------------------|------------|
| 20歳代 | 12 (48.0%) | 12 (48.0%) | 5 (20.0%) |
| 30歳代 | 19 (67.9%) | 4 (14.3%) | 6 (21.4%) |
| 40歳代 | 29 (72.5%) | 10 (25.0%) | 6 (15.0%) |
| 50歳代 | 47 (69.1%) | 13 (19.1%) | 10 (14.7%) |
| 60歳代 | 20 (52.6%) | 9 (23.7%) | 8 (21.1%) |
| 70歳代 | 10 (37.0%) | 7 (25.9%) | 7 (25.9%) |
| 80歳以上 | 5 (27.8%) | 8 (44.4%) | 3 (16.7%) |
| 全体 | 142 (58.2%) | 63 (25.8%) | 45 (18.4%) |

* 「ある」と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

(3) 発音の状況

ア 発音の状況（問6 普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか。）

言葉をはっきりと発音できないことが「ある」と回答した者の割合は、11.0%であった。50歳代までは緩やかに増加し、60歳代から大きく増加した。

表II-B-2-(3) 年代別による発音の状況（外来患者）

（単位：人）

| | ない | ある | 未回答 |
|-------|---------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 334 (93.0%) | 25 (7.0%) | (0.0%) |
| 30歳代 | 339 (92.1%) | 27 (7.3%) | 2 (0.5%) |
| 40歳代 | 454 (92.3%) | 37 (7.5%) | 1 (0.2%) |
| 50歳代 | 697 (91.7%) | 60 (7.9%) | 3 (0.4%) |
| 60歳代 | 587 (88.8%) | 70 (10.6%) | 4 (0.6%) |
| 70歳代 | 746 (85.6%) | 118 (13.5%) | 7 (0.8%) |
| 80歳以上 | 354 (76.5%) | 102 (22.0%) | 7 (1.5%) |
| 全体 | 3,511 (88.3%) | 439 (11.0%) | 24 (0.6%) |

(4) 歯科医院の受診の状況

ア 当日の歯科医院への受診理由（問9 本日、受診したきっかけはどのような理由ですか。）

「定期的に検診や歯のクリーニングを受けているから」が最も多く、57.5%と半数を超えていた。

次いで「口の中にむし歯など気になるところが見つかったから」が11.9%、「歯科検診を受けてみようと思ったから」が10.4%であった。

表II-B-2-(4)-ア 年代別による当日の歯科医院への受診理由（外来患者）

(単位：人)

| | 歯や歯ぐきが痛くて我慢できなかったから | 家族に受診するよう勧められたから | 口の中にむし歯など気になるところが見つかったから | 歯科検診を受けてみようと思ったから | 定期的に検診や歯のクリーニングを受けているから | その他 | 未回答 |
|-------|---------------------|------------------|--------------------------|-------------------|-------------------------|------------|-----------|
| 20歳代 | 21 (5.8%) | 12 (3.3%) | 62 (17.3%) | 57 (15.9%) | 178 (49.6%) | 21 (5.8%) | 8 (2.2%) |
| 30歳代 | 25 (6.8%) | 13 (3.5%) | 62 (16.8%) | 48 (13.0%) | 181 (49.2%) | 32 (8.7%) | 7 (1.9%) |
| 40歳代 | 34 (6.9%) | 8 (1.6%) | 75 (15.2%) | 74 (15.0%) | 249 (50.6%) | 43 (8.7%) | 9 (1.8%) |
| 50歳代 | 52 (6.8%) | 17 (2.2%) | 97 (12.8%) | 86 (11.3%) | 425 (55.9%) | 71 (9.3%) | 12 (1.6%) |
| 60歳代 | 45 (6.8%) | 7 (1.1%) | 67 (10.1%) | 65 (9.8%) | 408 (61.7%) | 58 (8.8%) | 11 (1.7%) |
| 70歳代 | 55 (6.3%) | 17 (2.0%) | 75 (8.6%) | 61 (7.0%) | 556 (63.8%) | 81 (9.3%) | 26 (3.0%) |
| 80歳以上 | 40 (8.6%) | 18 (3.9%) | 34 (7.3%) | 24 (5.2%) | 289 (62.4%) | 44 (9.5%) | 14 (3.0%) |
| 全体 | 272 (6.8%) | 92 (2.3%) | 472 (11.9%) | 415 (10.4%) | 2,286 (57.5%) | 350 (8.8%) | 87 (2.2%) |

イ この1年間の歯科検診受診状況（問10 この1年間に、歯科検診を受けましたか。（本日の受診を除く））

「はい」と回答した者の割合は、64.4%であった。30歳代が最も低く55.2%で、その後年代が上がるに従い増加した。

表II-B-2-(4)-イ 年代別によるこの1年間の歯科検診受診状況（外来患者）

(単位：人)

| | はい | いいえ | 未回答 |
|-------|---------------|---------------|-----------|
| 20歳代 | 225 (62.7%) | 134 (37.3%) | (0.0%) |
| 30歳代 | 203 (55.2%) | 158 (42.9%) | 7 (1.9%) |
| 40歳代 | 299 (60.8%) | 184 (37.4%) | 9 (1.8%) |
| 50歳代 | 478 (62.9%) | 274 (36.1%) | 8 (1.1%) |
| 60歳代 | 431 (65.2%) | 219 (33.1%) | 11 (1.7%) |
| 70歳代 | 592 (68.0%) | 248 (28.5%) | 31 (3.6%) |
| 80歳以上 | 333 (71.9%) | 111 (24.0%) | 19 (4.1%) |
| 全体 | 2,561 (64.4%) | 1,328 (33.4%) | 85 (2.1%) |

(ア) この1年間に受けた歯科検診（問10-1 受けた歯科検診について、当てはまるものすべてに○をつけてください。）

問10でこの1年間に歯科検診を受けた（本日の受診は除く）と回答した者のみを対象として集計した。

「個別歯科検診」が90.6%と最も多い回答であり、すべての年代で約90%であった。

表II-B-2-(4)-イ-(ア) 年代別によるこの1年間に受けた歯科検診（外来患者）

（単位：人）

| | 個別歯科検診 | 集団歯科検診 | 個別口腔がん検診 | 集団口腔がん検診 | 未回答 |
|-------|---------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 20歳代 | 210 (93.3%) | 8 (3.6%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 7 (3.1%) |
| 30歳代 | 190 (93.6%) | 4 (2.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 9 (4.4%) |
| 40歳代 | 277 (92.6%) | 6 (2.0%) | 1 (0.3%) | 0 (0.0%) | 15 (5.0%) |
| 50歳代 | 426 (89.1%) | 14 (2.9%) | 5 (1.0%) | 1 (0.2%) | 32 (6.7%) |
| 60歳代 | 396 (91.9%) | 4 (0.9%) | 7 (1.6%) | 2 (0.5%) | 22 (5.1%) |
| 70歳代 | 531 (89.7%) | 6 (1.0%) | 12 (2.0%) | 4 (0.7%) | 39 (6.6%) |
| 80歳以上 | 291 (87.4%) | 1 (0.3%) | 9 (2.7%) | 3 (0.9%) | 29 (8.7%) |
| 全体 | 2,321 (90.6%) | 43 (1.7%) | 34 (1.3%) | 10 (0.4%) | 153 (6.0%) |

*この1年間に歯科検診を受けた（本日の受診は除く）と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

ウ この1年間の歯科受診内容（問11 この1年間に、歯科医院で受けたことのある項目のすべてに○をつけてください。）

「歯科検診」が最も多く、63.2%であり、「受診していない」は15.7%であった。

年代別にみると、「入れ歯作製・調整」は年代が上がるに従い増加し、「歯科矯正」は20歳代で多いものの、40歳代以降は著しく少なかった。

第2部 成人編 II 調査結果及び分析 B 外来患者

表II-B-2-(4)-ウ 年代別によるこの1年間の歯科受診内容（複数回答）（外来患者）

（単位：人）

| | 歯科検診 | 歯みがき指導 | フッ化物歯面塗布 | 歯石除去 | むし歯の治療 | 歯周病の治療 | 抜歯等外科処置 | 入れ歯作製・調整 | 歯科矯正 | その他 | 受診していない |
|-------|------------------|------------------|----------------|------------------|------------------|----------------|---------------|----------------|---------------|--------------|----------------|
| 20歳代 | 215 (59.9%) | 108 (30.1%) | 87 (24.2%) | 186 (51.8%) | 89 (24.8%) | 9 (2.5%) | 26 (7.2%) | 1 (0.3%) | 41 (11.4%) | 8 (2.2%) | 72 (20.1%) |
| 30歳代 | 206 (56.0%) | 106 (28.8%) | 53 (14.4%) | 175 (47.6%) | 104 (28.3%) | 21 (5.7%) | 17 (4.6%) | 5 (1.4%) | 18 (4.9%) | 7 (1.9%) | 92 (25.0%) |
| 40歳代 | 292 (59.3%) | 139 (28.3%) | 66 (13.4%) | 284 (57.7%) | 153 (31.1%) | 46 (9.3%) | 19 (3.9%) | 12 (2.4%) | 9 (1.8%) | 10 (2.0%) | 82 (16.7%) |
| 50歳代 | 477 (62.8%) | 218 (28.7%) | 88 (11.6%) | 454 (59.7%) | 249 (32.8%) | 130 (17.1%) | 50 (6.6%) | 32 (4.2%) | 9 (1.2%) | 25 (3.3%) | 108 (14.2%) |
| 60歳代 | 429 (64.9%) | 216 (32.7%) | 83 (12.6%) | 402 (60.8%) | 186 (28.1%) | 123 (18.6%) | 47 (7.1%) | 91 (13.8%) | 5 (0.8%) | 17 (2.6%) | 79 (12.0%) |
| 70歳代 | 585 (67.2%) | 324 (37.2%) | 110 (12.6%) | 537 (61.7%) | 247 (28.4%) | 202 (23.2%) | 63 (7.2%) | 220 (25.3%) | 4 (0.5%) | 12 (1.4%) | 63 (7.2%) |
| 80歳以上 | 306 (66.1%) | 179 (38.7%) | 50 (10.8%) | 253 (54.6%) | 120 (25.9%) | 114 (24.6%) | 32 (6.9%) | 170 (36.7%) | 6 (1.3%) | 7 (1.5%) | 40 (8.6%) |
| 全体 | 2,510 (63.2%) | 1,290 (32.5%) | 537 (13.5%) | 2,291 (57.6%) | 1,148 (28.9%) | 645 (16.2%) | 254 (6.4%) | 531 (13.4%) | 92 (2.3%) | 86 (2.2%) | 536 (13.5%) |

エ 歯科検診や歯科受診へのためらい（問12 普段、歯科検診や歯科治療を受けることにためらいがありますか。）

「とてもある」、「ある」と回答した者の割合は、15.7%であり、「まったくない」と回答した者が43.5%と最も多かった。

表II-B-2-(4)-エ 年代別による歯科検診や歯科受診へのためらい（外来患者）

（単位：人）

| | とてもある | ある | あまりない | まったくない | 未回答 |
|-------|------------|-------------|---------------|---------------|-----------|
| 20歳代 | 11 (3.1%) | 41 (11.4%) | 126 (35.1%) | 181 (50.4%) | (0.0%) |
| 30歳代 | 12 (3.3%) | 67 (18.2%) | 135 (36.7%) | 150 (40.8%) | 4 (1.1%) |
| 40歳代 | 20 (4.1%) | 77 (15.7%) | 186 (37.8%) | 202 (41.1%) | 7 (1.4%) |
| 50歳代 | 24 (3.2%) | 115 (15.1%) | 320 (42.1%) | 294 (38.7%) | 7 (0.9%) |
| 60歳代 | 17 (2.6%) | 88 (13.3%) | 271 (41.0%) | 276 (41.8%) | 9 (1.4%) |
| 70歳代 | 21 (2.4%) | 91 (10.4%) | 341 (39.2%) | 394 (45.2%) | 24 (2.8%) |
| 80歳以上 | 12 (2.6%) | 28 (6.0%) | 179 (38.7%) | 231 (49.9%) | 13 (2.8%) |
| 全体 | 117 (2.9%) | 507 (12.8%) | 1,558 (39.2%) | 1,728 (43.5%) | 64 (1.6%) |

(ア) ためらう理由 (問 12-1 その理由すべてに○をつけてください。)

問 12 で「とてもある」、「ある」と回答した者のみを対象として集計した。

「痛みなどの恐怖」が最も多く、64.6%であった。次いで「時間的な負担」が 38.8%、「経済的な負担」が 11.4%であった。「経済的な負担」は他の 2 項目に比べて、すべての年代を通じて低い結果であった。

表 II-B-2-(4)-エ-(ア) 年代別による歯科検診や歯科受診をためらう理由 (外来患者)

(単位：人)

| | 痛みなどの恐怖 | 経済的な負担 | 時間的な負担 | その他 | 未回答 |
|--------|-------------|------------|-------------|-----------|-----------|
| 20 歳代 | 36 (69.2%) | 3 (5.8%) | 18 (34.6%) | 2 (3.8%) | 1 (1.9%) |
| 30 歳代 | 46 (58.2%) | 15 (19.0%) | 42 (53.2%) | 1 (1.3%) | 1 (1.3%) |
| 40 歳代 | 56 (57.7%) | 11 (11.3%) | 52 (53.6%) | 3 (3.1%) | 1 (1.0%) |
| 50 歳代 | 91 (65.5%) | 14 (10.1%) | 55 (39.6%) | 7 (5.0%) | 6 (4.3%) |
| 60 歳代 | 72 (68.6%) | 14 (13.3%) | 39 (37.1%) | 5 (4.8%) | 1 (1.0%) |
| 70 歳代 | 77 (68.8%) | 12 (10.7%) | 24 (21.4%) | 9 (8.0%) | 8 (7.1%) |
| 80 歳以上 | 25 (62.5%) | 2 (5.0%) | 12 (30.0%) | 4 (10.0%) | 2 (5.0%) |
| 全体 | 403 (64.6%) | 71 (11.4%) | 242 (38.8%) | 31 (5.0%) | 20 (3.2%) |

* 「とてもある」「ある」と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

(5) 口腔保健に関する保健行動と意識

ア 刷牙習慣 (問 13 歯をみがく頻度はどれくらいですか。)

「毎日みがく」がすべての年代を通じて最も多く、96.3%であった。

「みがかない」と回答した者は 20 歳代、30 歳代、50 歳代では認められなかった。

表 II-B-2-(5)-ア 年代別による歯をみがく頻度 (外来患者)

(単位：人)

| | 毎日みがく | ときどきみがく | みがかない | 未回答 |
|--------|---------------|-----------|-----------|-----------|
| 20 歳代 | 354 (98.6%) | 5 (1.4%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30 歳代 | 351 (95.4%) | 12 (3.3%) | 0 (0.0%) | 5 (1.4%) |
| 40 歳代 | 471 (95.7%) | 12 (2.4%) | 2 (0.4%) | 7 (1.4%) |
| 50 歳代 | 744 (97.9%) | 10 (1.3%) | 0 (0.0%) | 6 (0.8%) |
| 60 歳代 | 643 (97.3%) | 9 (1.4%) | 2 (0.3%) | 7 (1.1%) |
| 70 歳代 | 833 (95.6%) | 14 (1.6%) | 4 (0.5%) | 20 (2.3%) |
| 80 歳以上 | 430 (92.9%) | 15 (3.2%) | 8 (1.7%) | 10 (2.2%) |
| 全体 | 3,826 (96.3%) | 77 (1.9%) | 16 (0.4%) | 55 (1.4%) |

(ア) 歯みがきの回数（毎日みがくと回答した者のみ）（問 13-1 1日あたりの回数）

問 13 で「毎日みがく」と回答した者のみを対象として集計した。

1日あたりの歯みがき回数は2回が最も多く44.1%、次いで3回以上で38.3%、1回は8.8%であった。

表 II-B-2-(5)-ア-(ア) 年代別による歯みがきの回数（外来患者）

(単位：人)

| | 1回 | 2回 | 3回以上 | 未回答 |
|-------|------------|---------------|---------------|------------|
| 20歳代 | 32 (9.0%) | 154 (43.5%) | 142 (40.1%) | 26 (7.3%) |
| 30歳代 | 26 (7.4%) | 138 (39.3%) | 142 (40.5%) | 45 (12.8%) |
| 40歳代 | 34 (7.2%) | 215 (45.6%) | 178 (37.8%) | 44 (9.3%) |
| 50歳代 | 59 (7.9%) | 333 (44.8%) | 297 (39.9%) | 55 (7.4%) |
| 60歳代 | 57 (8.9%) | 298 (46.3%) | 243 (37.8%) | 45 (7.0%) |
| 70歳代 | 79 (9.5%) | 364 (43.7%) | 313 (37.6%) | 77 (9.2%) |
| 80歳以上 | 49 (11.4%) | 185 (43.0%) | 152 (35.3%) | 44 (10.2%) |
| 全体 | 336 (8.8%) | 1,687 (44.1%) | 1,467 (38.3%) | 336 (8.8%) |

* 「毎日みがく」と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

イ 歯間清掃用具の使用状況（問 14 歯間ブラシやデンタルフロス（糸付きようじ）等を使っていますか。）

「ほぼ毎日使う」、「ときどき使う」と回答した者の割合は、81.4%であった。

年代別に見ると、「ほぼ毎日使う」、「ときどき使う」と回答した者の割合は50歳代までは年代が上がるにつれて増加し、50歳代で87.9%と最も高くなり、60歳以上では減少した。

表 II-B-2-(5)-イ 年代別による歯間清掃用具の使用状況（外来患者）

(単位：人)

| | ほぼ毎日使う | ときどき使う | 使わない | 未回答 |
|-------|---------------|---------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 110 (30.6%) | 176 (49.0%) | 73 (20.3%) | (0.0%) |
| 30歳代 | 155 (42.1%) | 146 (39.7%) | 63 (17.1%) | 4 (1.1%) |
| 40歳代 | 208 (42.3%) | 210 (42.7%) | 69 (14.0%) | 5 (1.0%) |
| 50歳代 | 363 (47.8%) | 305 (40.1%) | 86 (11.3%) | 6 (0.8%) |
| 60歳代 | 322 (48.7%) | 230 (34.8%) | 103 (15.6%) | 6 (0.9%) |
| 70歳代 | 442 (50.7%) | 237 (27.2%) | 169 (19.4%) | 23 (2.6%) |
| 80歳以上 | 201 (43.4%) | 132 (28.5%) | 119 (25.7%) | 11 (2.4%) |
| 全体 | 1,801 (45.3%) | 1,436 (36.1%) | 682 (17.2%) | 55 (1.4%) |

ウ 歯や歯ぐきの健康への意識（問15 歯や歯ぐきの健康について普段から意識（注意）していることすべてに○をつけてください。）

「歯科検診や歯科健康診査を受けるようにしている」、「歯石をとってもらおうようにしている」、「食事の後、歯をみがいたり、口をすすいだりしている」については、20歳代、30歳代が約50%であり、年代が上がるにつれて増加していた。

「かかりつけ歯科医、かかりつけの歯科医院を決めている」については、20歳代、30歳代では50%以下であったが、40歳代から増加し、60歳代から80歳以上で約80%であった。

表II-B-2-(5)-ウ 年代別による歯や歯ぐきの健康への意識（外来患者）

（単位：人）

| | 歯科検診や歯科健康診査を受けるようにしている | 歯石をとってもらおうようにしている | かかりつけ歯科医、かかりつけの歯科医院を決めている | 食事の後、歯をみがいたり、口をすすいだりしている | 1本ずつつねに、歯の根もとまでみがくようにしている | フッ化物入りの歯みがき剤を使用している | 甘いものを、食べたり飲んだりしないようにしている | バランスのとれた食事をこころがけている | よく噛んで食べるようにしている | 歯や歯ぐきの健康を特に意識して喫煙をしないようにしている | 特に意識（注意）していない |
|-------|------------------------|-------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------|--------------------------|---------------------|------------------|------------------------------|---------------|
| 20歳代 | 183 (51.0%) | 170 (47.4%) | 162 (45.1%) | 224 (62.4%) | 124 (34.5%) | 143 (39.8%) | 23 (6.4%) | 79 (22.0%) | 131 (36.5%) | 67 (18.7%) | 22 (6.1%) |
| 30歳代 | 200 (54.3%) | 185 (50.3%) | 181 (49.2%) | 232 (63.0%) | 135 (36.7%) | 126 (34.2%) | 29 (7.9%) | 82 (22.3%) | 111 (30.2%) | 69 (18.8%) | 36 (9.8%) |
| 40歳代 | 274 (55.7%) | 279 (56.7%) | 282 (57.3%) | 327 (66.5%) | 196 (39.8%) | 189 (38.4%) | 40 (8.1%) | 139 (28.3%) | 126 (25.6%) | 78 (15.9%) | 38 (7.7%) |
| 50歳代 | 450 (59.2%) | 462 (60.8%) | 530 (69.7%) | 538 (70.8%) | 346 (45.5%) | 282 (37.1%) | 52 (6.8%) | 247 (32.5%) | 252 (33.2%) | 157 (20.7%) | 50 (6.6%) |
| 60歳代 | 418 (63.2%) | 427 (64.6%) | 526 (79.6%) | 478 (72.3%) | 308 (46.6%) | 184 (27.8%) | 42 (6.4%) | 284 (43.0%) | 261 (39.5%) | 153 (23.1%) | 57 (8.6%) |
| 70歳代 | 570 (65.4%) | 574 (65.9%) | 706 (81.1%) | 626 (71.9%) | 366 (42.0%) | 232 (26.6%) | 61 (7.0%) | 453 (52.0%) | 466 (53.5%) | 221 (25.4%) | 73 (8.4%) |
| 80歳以上 | 304 (65.7%) | 295 (63.7%) | 373 (80.6%) | 333 (71.9%) | 186 (40.2%) | 134 (28.9%) | 52 (11.2%) | 277 (59.8%) | 268 (57.9%) | 144 (31.1%) | 43 (9.3%) |
| 全体 | 2,399 (60.4%) | 2,392 (60.2%) | 2,760 (69.5%) | 2,758 (69.4%) | 1,661 (41.8%) | 1,290 (32.5%) | 299 (7.5%) | 1,561 (39.3%) | 1,615 (40.6%) | 889 (22.4%) | 319 (8.0%) |

エ 歯周病と関係があると思う全身疾患（問16 歯周病と関係があると思うものすべてに○をつけてください。）

歯周病と関係があると思うという回答が最も多かったのは「糖尿病」で、59.7%であり、「心臓病」が36.1%で次に多く、以降は多い順に「脳血管障害（脳卒中）」、「肺炎」、「未熟児(低体重出産)など妊娠への影響」となっていた。

表II-B-2-(5)-エ 年代別による歯周病と関係があると思う全身疾患（外来患者）

(単位：人)

| | 糖尿病 | 心臓病 | 未熟児(低体重 出産)など妊娠 への影響 | 肺炎 | 脳血管障害 (脳卒中等) | 未回答 |
|-------|---------------|---------------|----------------------------|-------------|-----------------|---------------|
| 20歳代 | 228 (63.5%) | 126 (35.1%) | 103 (28.7%) | 95 (26.5%) | 97 (27.0%) | 81 (22.6%) |
| 30歳代 | 220 (59.8%) | 128 (34.8%) | 103 (28.0%) | 104 (28.3%) | 94 (25.5%) | 90 (24.5%) |
| 40歳代 | 313 (63.6%) | 199 (40.4%) | 137 (27.8%) | 141 (28.7%) | 143 (29.1%) | 118 (24.0%) |
| 50歳代 | 519 (68.3%) | 324 (42.6%) | 168 (22.1%) | 218 (28.7%) | 243 (32.0%) | 151 (19.9%) |
| 60歳代 | 417 (63.1%) | 279 (42.2%) | 98 (14.8%) | 192 (29.0%) | 180 (27.2%) | 154 (23.3%) |
| 70歳代 | 478 (54.9%) | 260 (29.9%) | 69 (7.9%) | 173 (19.9%) | 209 (24.0%) | 290 (33.3%) |
| 80歳以上 | 199 (43.0%) | 117 (25.3%) | 23 (5.0%) | 71 (15.3%) | 84 (18.1%) | 195 (42.1%) |
| 全体 | 2,374 (59.7%) | 1,433 (36.1%) | 701 (17.6%) | 994 (25.0%) | 1,050 (26.4%) | 1,079 (27.2%) |

オ 歯科保健に関する言葉の認知（問17 (ア) から (セ) の言葉について、「(1) 意味もわかる (2) 言葉は知っている (3) 知らない」から、ひとつ選んで○をつけてください。）

各歯科保健に関する言葉について、認知している者の割合（「意味もわかる」と「言葉は知っている」と回答した者を合わせた割合）について、「歯垢」、「歯石」、「歯肉炎」は95%を超えており、次いで、「歯周ポケット」が93.3%であった。

表II-B-2-(5)-オ 歯科保健に関する言葉の認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|----------|---------------|---------------|---------------|------------|
| 歯垢 | 2,663 (68.1%) | 1,060 (27.1%) | 159 (4.1%) | 30 (0.8%) |
| 歯石 | 3,146 (80.4%) | 720 (18.4%) | 39 (1.0%) | 7 (0.2%) |
| 根面むし歯 | 611 (15.6%) | 575 (14.7%) | 2,616 (66.9%) | 110 (2.8%) |
| 歯肉炎 | 2,527 (64.6%) | 1,197 (30.6%) | 156 (4.0%) | 32 (0.8%) |
| 歯周ポケット | 2,601 (66.5%) | 1,049 (26.8%) | 229 (5.9%) | 33 (0.8%) |
| 初期むし歯 | 1,903 (48.6%) | 1,289 (32.9%) | 663 (16.9%) | 57 (1.5%) |
| 再石灰化 | 737 (18.8%) | 1,317 (33.7%) | 1,757 (44.9%) | 101 (2.6%) |
| キシリトール | 1,765 (45.1%) | 1,816 (46.4%) | 289 (7.4%) | 42 (1.1%) |
| フッ化物洗口 | 899 (23.0%) | 1,111 (28.4%) | 1,801 (46.0%) | 101 (2.6%) |
| 8020 運動 | 1,587 (40.6%) | 680 (17.4%) | 1,587 (40.6%) | 58 (1.5%) |
| 健康日本 21 | 312 (8.0%) | 579 (14.8%) | 2,934 (75.0%) | 87 (2.2%) |
| 未病 | 1,023 (26.2%) | 1,111 (28.4%) | 1,719 (43.9%) | 59 (1.5%) |
| 健口体操 | 610 (15.6%) | 874 (22.3%) | 2,365 (60.5%) | 63 (1.6%) |
| オーラルフレイル | 643 (16.4%) | 1,096 (28.0%) | 2,117 (54.1%) | 56 (1.4%) |

(ア) 歯垢に関して

歯垢について認知している者の割合は、95.2%であり、すべての年代で90%を超えていた。

「意味もわかる」と回答した者の割合は、68.1%であった。

表II-B-2-(5)-オ-(ア) 年代別による歯垢の言葉の認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|---------------|---------------|------------|-----------|
| 20歳代 | 240 (67.0%) | 93 (26.0%) | 25 (7.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 242 (66.5%) | 98 (26.9%) | 23 (6.3%) | 1 (0.3%) |
| 40歳代 | 332 (68.5%) | 132 (27.2%) | 21 (4.3%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 537 (71.2%) | 193 (25.6%) | 21 (2.8%) | 3 (0.4%) |
| 60歳代 | 466 (71.3%) | 166 (25.4%) | 18 (2.8%) | 4 (0.6%) |
| 70歳代 | 568 (67.0%) | 244 (28.8%) | 24 (2.8%) | 12 (1.4%) |
| 80歳以上 | 278 (61.9%) | 134 (29.8%) | 27 (6.0%) | 10 (2.2%) |
| 全体 | 2,663 (68.1%) | 1,060 (27.1%) | 159 (4.1%) | 30 (0.8%) |

(イ) 歯石に関して

歯石について認知している者の割合は、98.8%であり、すべての年代で97%を超えていた。

「意味もわかる」と回答した者の割合は、80.4%であった。

表II-B-2-(5)-オ-(イ) 年代別による歯石の認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|---------------|-------------|-----------|----------|
| 20歳代 | 275 (76.8%) | 79 (22.1%) | 4 (1.1%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 280 (76.9%) | 82 (22.5%) | 2 (0.5%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 377 (77.7%) | 102 (21.0%) | 6 (1.2%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 616 (81.7%) | 135 (17.9%) | 3 (0.4%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 555 (84.9%) | 92 (14.1%) | 7 (1.1%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 701 (82.7%) | 135 (15.9%) | 8 (0.9%) | 4 (0.5%) |
| 80歳以上 | 342 (76.2%) | 95 (21.2%) | 9 (2.0%) | 3 (0.7%) |
| 全体 | 3,146 (80.4%) | 720 (18.4%) | 39 (1.0%) | 7 (0.2%) |

(ウ) 根面むし歯(根面う蝕)に関して

根面むし歯(根面う蝕)について、認知している者の割合は、30.3%であり、歯垢、歯石と比較して大幅に少なかった。

年代別に見ると、認知している者の割合は20歳代で41.4%と最も高く、年代が上がるにつれて減少し、70歳代で21.9%と最も低かった。

表II-B-2-(5)-オ-(ウ) 年代別による根面むし歯(根面う蝕)の認知(外来患者)

(単位:人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-------------|-------------|---------------|------------|
| 20歳代 | 83 (23.2%) | 65 (18.2%) | 209 (58.4%) | 1 (0.3%) |
| 30歳代 | 75 (20.6%) | 67 (18.4%) | 219 (60.2%) | 3 (0.8%) |
| 40歳代 | 96 (19.8%) | 83 (17.1%) | 304 (62.7%) | 2 (0.4%) |
| 50歳代 | 157 (20.8%) | 109 (14.5%) | 470 (62.3%) | 18 (2.4%) |
| 60歳代 | 81 (12.4%) | 81 (12.4%) | 478 (73.1%) | 14 (2.1%) |
| 70歳代 | 75 (8.8%) | 111 (13.1%) | 618 (72.9%) | 44 (5.2%) |
| 80歳以上 | 44 (9.8%) | 59 (13.1%) | 318 (70.8%) | 28 (6.2%) |
| 全体 | 611 (15.6%) | 575 (14.7%) | 2,616 (66.9%) | 110 (2.8%) |

(エ) 歯肉炎に関して

歯肉炎について認知している者の割合は、95.2%であった。

「意味もわかる」と回答した者の割合は、64.6%であり、歯垢、歯石より若干少なかった。

表II-B-2-(5)-オ-(エ) 年代別による歯肉炎の認知(外来患者)

(単位:人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|---------------|---------------|------------|-----------|
| 20歳代 | 208 (58.1%) | 133 (37.2%) | 17 (4.7%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 222 (61.0%) | 131 (36.0%) | 10 (2.7%) | 1 (0.3%) |
| 40歳代 | 314 (64.7%) | 154 (31.8%) | 17 (3.5%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 539 (71.5%) | 201 (26.7%) | 11 (1.5%) | 3 (0.4%) |
| 60歳代 | 446 (68.2%) | 190 (29.1%) | 15 (2.3%) | 3 (0.5%) |
| 70歳代 | 552 (65.1%) | 244 (28.8%) | 37 (4.4%) | 15 (1.8%) |
| 80歳以上 | 246 (54.8%) | 144 (32.1%) | 49 (10.9%) | 10 (2.2%) |
| 全体 | 2,527 (64.6%) | 1,197 (30.6%) | 156 (4.0%) | 32 (0.8%) |

(オ) 歯周ポケットに関して

歯周ポケットについて認知している者の割合は、93.3%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、20歳代から70歳代まで90%以上であったが、80歳以上では79.2%であった。

表II-B-2-(5)-オ-(オ) 年代別による歯周ポケットの認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|---------------|---------------|------------|-----------|
| 20歳代 | 211 (58.9%) | 124 (34.6%) | 23 (6.4%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 234 (64.3%) | 117 (32.1%) | 13 (3.6%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 336 (69.3%) | 129 (26.6%) | 19 (3.9%) | 1 (0.2%) |
| 50歳代 | 574 (76.1%) | 164 (21.8%) | 12 (1.6%) | 4 (0.5%) |
| 60歳代 | 481 (73.5%) | 147 (22.5%) | 23 (3.5%) | 3 (0.5%) |
| 70歳代 | 556 (65.6%) | 221 (26.1%) | 54 (6.4%) | 17 (2.0%) |
| 80歳以上 | 209 (46.5%) | 147 (32.7%) | 85 (18.9%) | 8 (1.8%) |
| 全体 | 2,601 (66.5%) | 1,049 (26.8%) | 229 (5.9%) | 33 (0.8%) |

(カ) 初期むし歯に関して

初期むし歯について認知している者の割合は、81.5%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は20歳代から50歳代までは80%以上であったが、60歳代以降は年代が上がるにつれて減少し、80歳以上では64.4%であった。

表II-B-2-(5)-オ-(カ) 年代別による初期むし歯の認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|---------------|---------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 178 (49.7%) | 127 (35.5%) | 53 (14.8%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 186 (51.1%) | 135 (37.1%) | 42 (11.5%) | 1 (0.3%) |
| 40歳代 | 253 (52.2%) | 179 (36.9%) | 53 (10.9%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 424 (56.2%) | 239 (31.7%) | 86 (11.4%) | 5 (0.7%) |
| 60歳代 | 310 (47.4%) | 229 (35.0%) | 109 (16.7%) | 6 (0.9%) |
| 70歳代 | 393 (46.3%) | 250 (29.5%) | 173 (20.4%) | 32 (3.8%) |
| 80歳以上 | 159 (35.4%) | 130 (29.0%) | 147 (32.7%) | 13 (2.9%) |
| 全体 | 1,903 (48.6%) | 1,289 (32.9%) | 663 (16.9%) | 57 (1.5%) |

(キ) 再石灰化に関して

再石灰化について認知している者の割合は、52.5%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は20歳代の53.1%から年代が上がるにつれて増加し、40歳代の71.4%が最も高かった。50歳代以降は年代が上がるにつれて減少した。

表II-B-2-(5)-オ-(キ) 年代別による再石灰化の認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-------------|---------------|---------------|------------|
| 20歳代 | 83 (23.2%) | 107 (29.9%) | 168 (46.9%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 95 (26.1%) | 138 (37.9%) | 128 (35.2%) | 3 (0.8%) |
| 40歳代 | 141 (29.1%) | 205 (42.3%) | 139 (28.7%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 196 (26.0%) | 303 (40.2%) | 238 (31.6%) | 17 (2.3%) |
| 60歳代 | 120 (18.3%) | 233 (35.6%) | 291 (44.5%) | 10 (1.5%) |
| 70歳代 | 74 (8.7%) | 249 (29.4%) | 481 (56.7%) | 44 (5.2%) |
| 80歳以上 | 28 (6.2%) | 82 (18.3%) | 312 (69.5%) | 27 (6.0%) |
| 全体 | 737 (18.8%) | 1,317 (33.7%) | 1,757 (44.9%) | 101 (2.6%) |

(ク) キシリツールに関して

キシリツールについて認知している者の割合は、91.5%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は60歳代までは90%を超えていたが、70歳代は88.2%に減少し、80歳以上では、71.9%であった。

表II-B-2-(5)-オ-(ク) 年代別によるキシリツールの認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|---------------|---------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 163 (45.5%) | 182 (50.8%) | 13 (3.6%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 171 (47.0%) | 184 (50.5%) | 9 (2.5%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 258 (53.2%) | 218 (44.9%) | 9 (1.9%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 396 (52.5%) | 327 (43.4%) | 25 (3.3%) | 6 (0.8%) |
| 60歳代 | 308 (47.1%) | 303 (46.3%) | 39 (6.0%) | 4 (0.6%) |
| 70歳代 | 344 (40.6%) | 404 (47.6%) | 81 (9.6%) | 19 (2.2%) |
| 80歳以上 | 125 (27.8%) | 198 (44.1%) | 113 (25.2%) | 13 (2.9%) |
| 全体 | 1,765 (45.1%) | 1,816 (46.4%) | 289 (7.4%) | 42 (1.1%) |

(ケ) フッ化物洗口に関して

フッ化物洗口について認知している者の割合は、51.4%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は40歳代が61.9%と最も多く、50歳代以降は年代が上がるにつれて減少し、80歳以上では40.6%であった。

表II-B-2-(5)-オ-(ケ) 年代別によるフッ化物洗口の認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-------------|---------------|---------------|------------|
| 20歳代 | 105 (29.3%) | 102 (28.5%) | 151 (42.2%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 98 (26.9%) | 112 (30.8%) | 150 (41.2%) | 4 (1.1%) |
| 40歳代 | 140 (28.9%) | 160 (33.0%) | 183 (37.7%) | 2 (0.4%) |
| 50歳代 | 229 (30.4%) | 232 (30.8%) | 280 (37.1%) | 13 (1.7%) |
| 60歳代 | 141 (21.6%) | 191 (29.2%) | 313 (47.9%) | 9 (1.4%) |
| 70歳代 | 131 (15.4%) | 232 (27.4%) | 439 (51.8%) | 46 (5.4%) |
| 80歳以上 | 55 (12.2%) | 82 (18.3%) | 285 (63.5%) | 27 (6.0%) |
| 全体 | 899 (23.0%) | 1,111 (28.4%) | 1,801 (46.0%) | 101 (2.6%) |

(コ) 8020 運動に関して

8020 運動について認知している者の割合は、58.0%であった。

年代別に見ると、20歳代、30歳代が約50%と低く、40歳代以降は約60%であった。

表II-B-2-(5)-オ-(コ) 年代別による8020運動の認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|---------------|-------------|---------------|-----------|
| 20歳代 | 111 (31.0%) | 71 (19.8%) | 176 (49.2%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 116 (31.9%) | 58 (15.9%) | 189 (51.9%) | 1 (0.3%) |
| 40歳代 | 205 (42.3%) | 82 (16.9%) | 198 (40.8%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 338 (44.8%) | 128 (17.0%) | 278 (36.9%) | 10 (1.3%) |
| 60歳代 | 307 (46.9%) | 107 (16.4%) | 237 (36.2%) | 3 (0.5%) |
| 70歳代 | 354 (41.7%) | 145 (17.1%) | 325 (38.3%) | 24 (2.8%) |
| 80歳以上 | 156 (34.7%) | 89 (19.8%) | 184 (41.0%) | 20 (4.5%) |
| 全体 | 1,587 (40.6%) | 680 (17.4%) | 1,587 (40.6%) | 58 (1.5%) |

(サ) 健康日本 21 に関して

健康日本 21 について認知している者の割合は、22.8%と、8020 運動より 30%以上低かった。

年代別に見ても、すべての年代で「意味もわかる」、「言葉は知っている」と回答した者の割合は少なく、最も多い年代は 20 歳代で 31.6%であった。

表 II-B-2-(5)-オ-(サ) 年代別による健康日本 21 の認知 (外来患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|--------|------------|-------------|---------------|-----------|
| 20 歳代 | 53 (14.8%) | 60 (16.8%) | 245 (68.4%) | 0 (0.0%) |
| 30 歳代 | 36 (9.9%) | 62 (17.0%) | 264 (72.5%) | 2 (0.5%) |
| 40 歳代 | 37 (7.6%) | 73 (15.1%) | 372 (76.7%) | 3 (0.6%) |
| 50 歳代 | 58 (7.7%) | 114 (15.1%) | 569 (75.5%) | 13 (1.7%) |
| 60 歳代 | 50 (7.6%) | 108 (16.5%) | 490 (74.9%) | 6 (0.9%) |
| 70 歳代 | 58 (6.8%) | 109 (12.9%) | 641 (75.6%) | 40 (4.7%) |
| 80 歳以上 | 20 (4.5%) | 53 (11.8%) | 353 (78.6%) | 23 (5.1%) |
| 全体 | 312 (8.0%) | 579 (14.8%) | 2,934 (75.0%) | 87 (2.2%) |

(シ) 未病に関して

未病について認知している者の割合は、54.6%であり、8020 運動と同程度であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、年代が上がるに従い増加し、60 歳代が 64.7%で最も高く、70 歳代以降は減少した。

表 II-B-2-(5)-オ-(シ) 年代別による未病の認知 (外来患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|--------|---------------|---------------|---------------|-----------|
| 20 歳代 | 49 (13.7%) | 61 (17.0%) | 247 (69.0%) | 1 (0.3%) |
| 30 歳代 | 76 (20.9%) | 87 (23.9%) | 200 (54.9%) | 1 (0.3%) |
| 40 歳代 | 131 (27.0%) | 141 (29.1%) | 213 (43.9%) | 0 (0.0%) |
| 50 歳代 | 249 (33.0%) | 217 (28.8%) | 280 (37.1%) | 8 (1.1%) |
| 60 歳代 | 212 (32.4%) | 211 (32.3%) | 227 (34.7%) | 4 (0.6%) |
| 70 歳代 | 224 (26.4%) | 267 (31.5%) | 330 (38.9%) | 27 (3.2%) |
| 80 歳以上 | 82 (18.3%) | 127 (28.3%) | 222 (49.4%) | 18 (4.0%) |
| 全体 | 1,023 (26.2%) | 1,111 (28.4%) | 1,719 (43.9%) | 59 (1.5%) |

(ス) 健口体操に関して

健口体操について認知している者の割合は、37.9%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、20歳代から50歳代までは約30%であったが、60歳代以降は年代が上がるにつれて増加し、80歳以上が最も多く、50.3%であった。

表II-B-2-(5)-オ-(ス) 年代別による健口体操の認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-------------|-------------|---------------|-----------|
| 20歳代 | 42 (11.7%) | 55 (15.4%) | 259 (72.3%) | 2 (0.6%) |
| 30歳代 | 51 (14.0%) | 60 (16.5%) | 251 (69.0%) | 2 (0.5%) |
| 40歳代 | 48 (9.9%) | 97 (20.0%) | 339 (69.9%) | 1 (0.2%) |
| 50歳代 | 101 (13.4%) | 152 (20.2%) | 491 (65.1%) | 10 (1.3%) |
| 60歳代 | 97 (14.8%) | 143 (21.9%) | 410 (62.7%) | 4 (0.6%) |
| 70歳代 | 165 (19.5%) | 247 (29.1%) | 409 (48.2%) | 27 (3.2%) |
| 80歳以上 | 106 (23.6%) | 120 (26.7%) | 206 (45.9%) | 17 (3.8%) |
| 全体 | 610 (15.6%) | 874 (22.3%) | 2,365 (60.5%) | 63 (1.6%) |

(セ) オーラルフレイルに関して

オーラルフレイルについて認知している者の割合は、44.4%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、60歳代が最も多く50.2%であった。

表II-B-2-(5)-オ-(セ) 年代別によるオーラルフレイルの認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-------------|---------------|---------------|-----------|
| 20歳代 | 62 (17.3%) | 72 (20.1%) | 224 (62.6%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 59 (16.2%) | 96 (26.4%) | 208 (57.1%) | 1 (0.3%) |
| 40歳代 | 56 (11.5%) | 142 (29.3%) | 286 (59.0%) | 1 (0.2%) |
| 50歳代 | 138 (18.3%) | 207 (27.5%) | 401 (53.2%) | 8 (1.1%) |
| 60歳代 | 121 (18.5%) | 207 (31.7%) | 322 (49.2%) | 4 (0.6%) |
| 70歳代 | 131 (15.4%) | 263 (31.0%) | 431 (50.8%) | 23 (2.7%) |
| 80歳以上 | 76 (16.9%) | 109 (24.3%) | 245 (54.6%) | 19 (4.2%) |
| 全体 | 643 (16.4%) | 1,096 (28.0%) | 2,117 (54.1%) | 56 (1.4%) |

3 オーラルフレイルのスクリーニングの結果

「問18 オーラルフレイルのスクリーニング問診票」において、オーラルフレイルの危険性が「高い」とされる4点以上の者の割合は18.0%であった。

年代別に見ると、4点以上の者の割合は年代が上がるに従い高くなり、20歳代では3.6%であり、80歳以上では45.0%であった。

表II-B-3-1 年代別によるオーラルフレイルの危険性（外来患者）

(単位：点)

| | 低い (0~2点) | あり (3点) | 高い (4点以上) | 未回答 |
|-------|---------------|-------------|-------------|------------|
| 20歳代 | 321 (89.7%) | 12 (3.4%) | 13 (3.6%) | 12 (3.4%) |
| 30歳代 | 316 (85.9%) | 21 (5.7%) | 18 (4.9%) | 13 (3.5%) |
| 40歳代 | 401 (81.5%) | 39 (7.9%) | 33 (6.7%) | 19 (3.9%) |
| 50歳代 | 574 (75.5%) | 84 (11.1%) | 71 (9.3%) | 31 (4.1%) |
| 60歳代 | 418 (63.3%) | 83 (12.6%) | 136 (20.6%) | 23 (3.5%) |
| 70歳代 | 476 (54.7%) | 131 (15.1%) | 237 (27.2%) | 26 (3.0%) |
| 80歳以上 | 167 (36.1%) | 76 (16.5%) | 208 (45.0%) | 11 (2.4%) |
| 全体 | 2,673 (67.3%) | 446 (11.2%) | 716 (18.0%) | 135 (3.4%) |

表II-B-3-2 年代別によるオーラルフレイルのスクリーニング問診票の各項目（外来患者）

(単位：人)

| | (1)半年前と比べて、堅いものが食べにくくなった | | (2)お茶や汁物でむせることがある | | (3)義菌を使用している | | (4)口の乾きが気になる | | (5)半年前と比べて、外出が少なくなった | | (6)さきいか・たけのこ等の硬さの食べ物を噛むことができる | | (7)1日2回以上歯を磨く | | (8)1年に1回以上、歯科医院を受診している | |
|-------|--------------------------|------------------|-------------------|------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|----------------------|------------------|-------------------------------|----------------|------------------|----------------|------------------------|----------------|
| | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| 20歳代 | 7 (2.0%) | 339 (98.0%) | 22 (6.4%) | 324 (93.6%) | 1 (0.3%) | 343 (99.7%) | 30 (8.7%) | 315 (91.3%) | 19 (5.5%) | 326 (94.5%) | 320 (93.0%) | 24 (7.0%) | 294 (85.2%) | 51 (14.8%) | 264 (76.3%) | 82 (23.7%) |
| 30歳代 | 12 (3.4%) | 342 (96.6%) | 26 (7.3%) | 328 (92.7%) | 5 (3.6%) | 349 (98.6%) | 60 (16.9%) | 294 (83.1%) | 28 (8.0%) | 324 (92.0%) | 336 (94.9%) | 18 (5.1%) | 302 (85.3%) | 52 (14.7%) | 246 (69.3%) | 109 (30.7%) |
| 40歳代 | 30 (6.3%) | 443 (93.7%) | 54 (11.4%) | 418 (88.6%) | 17 (3.6%) | 454 (96.4%) | 73 (15.5%) | 399 (84.5%) | 36 (7.6%) | 435 (92.4%) | 428 (90.7%) | 44 (9.3%) | 401 (85.0%) | 71 (15.0%) | 344 (73.2%) | 126 (26.8%) |
| 50歳代 | 86 (11.9%) | 638 (88.1%) | 93 (12.9%) | 630 (87.1%) | 61 (8.4%) | 661 (91.6%) | 140 (19.4%) | 583 (80.6%) | 73 (10.1%) | 649 (89.9%) | 672 (92.7%) | 53 (7.3%) | 625 (86.2%) | 100 (13.8%) | 547 (75.4%) | 178 (24.6%) |
| 60歳代 | 87 (13.8%) | 545 (86.2%) | 113 (17.9%) | 518 (82.1%) | 161 (25.4%) | 473 (74.6%) | 145 (22.9%) | 489 (77.1%) | 78 (12.4%) | 553 (87.6%) | 531 (84.0%) | 101 (16.0%) | 521 (82.6%) | 110 (17.4%) | 489 (77.5%) | 142 (22.5%) |
| 70歳代 | 148 (17.8%) | 685 (82.2%) | 172 (20.7%) | 660 (79.3%) | 372 (44.4%) | 465 (55.6%) | 207 (24.9%) | 624 (75.1%) | 177 (21.2%) | 657 (78.8%) | 683 (82.1%) | 149 (17.9%) | 701 (83.9%) | 135 (16.1%) | 685 (81.5%) | 155 (18.5%) |
| 80歳以上 | 112 (12.7%) | 332 (87.3%) | 129 (29.2%) | 313 (70.8%) | 284 (63.7%) | 162 (36.3%) | 155 (35.6%) | 281 (64.4%) | 150 (33.9%) | 292 (66.1%) | 330 (73.5%) | 119 (26.5%) | 353 (78.6%) | 96 (21.4%) | 375 (83.9%) | 72 (16.1%) |
| 全体 | 482 (11.9%) | 3,324 (88.1%) | 609 (16.0%) | 3,191 (84.0%) | 901 (23.7%) | 2,907 (76.3%) | 810 (21.3%) | 2,985 (78.7%) | 561 (14.8%) | 3,236 (85.2%) | 3,300 (86.7%) | 508 (13.3%) | 3,197 (83.9%) | 615 (16.1%) | 2,950 (77.3%) | 864 (22.7%) |

C 訪問患者

1 口腔診査の結果

(1) 現在歯の状況

ア 1人平均現在歯数

訪問患者の1人平均現在歯数は全体では16.1本であり、年齢階級別では55～59歳で26.9本となつてから急速に減少し、65～69歳では14.8本で20本以下であつた。

健全歯数は40～44歳以降で年齢とともに減少し、処置歯数は45～49歳から75～79歳で1人平均8本を超えていた。未処置歯数は25～29歳で3.3本と最も多かつた。現在歯数の内訳は、全体平均では健全歯数6.7本、処置歯数7.8本、未処置歯数1.4本であつた。

表II-C-1-(1)-ア-1 年齢階級別による1人平均現在歯数（訪問患者）

(単位：本)

| | 健全歯数 | 処置歯数 | 未処置歯数 | 現在歯数 | 年齢 | 健全歯数 | 処置歯数 | 未処置歯数 | 現在歯数 |
|--------|------|------|-------|------|--------|------|------|-------|------|
| 20～24歳 | 26.2 | 1.7 | 0.0 | 27.9 | 55～59歳 | 12.5 | 13.0 | 1.4 | 26.9 |
| 25～29歳 | 19.1 | 5.6 | 3.3 | 28.0 | 60～64歳 | 10.8 | 9.5 | 2.1 | 23.3 |
| 30～34歳 | 23.4 | 2.7 | 1.8 | 27.9 | 65～69歳 | 5.7 | 8.8 | 0.3 | 14.8 |
| 35～39歳 | 16.5 | 12.3 | 0.0 | 28.8 | 70～74歳 | 7.3 | 8.1 | 2.0 | 17.5 |
| 40～44歳 | 20.8 | 6.5 | 0.7 | 28.0 | 75～79歳 | 7.8 | 8.6 | 1.0 | 17.4 |
| 45～49歳 | 17.4 | 8.8 | 0.8 | 27.4 | 80～84歳 | 6.0 | 7.8 | 1.7 | 15.7 |
| 50～54歳 | 16.9 | 8.0 | 1.9 | 26.6 | 85歳以上 | 3.0 | 7.6 | 1.4 | 12.0 |
| | | | | | 全体 | 6.7 | 7.8 | 1.4 | 16.1 |

表II-C-1-(1)-ア-2 年齢階級別・要介護度別による1人平均現在歯数（65歳以上）（訪問患者）

(単位：本)

| | 自立 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 65～69歳 | 14.0 | - | - | 28.0 | 15.0 | 12.3 | 28.5 | 11.0 |
| 70～74歳 | 16.3 | - | - | 21.2 | 18.4 | 15.7 | 19.3 | 25.0 |
| 75～79歳 | 18.6 | 8.5 | 11.0 | 20.4 | 24.3 | 11.7 | 17.3 | 19.6 |
| 80～84歳 | 17.7 | 15.0 | 25.6 | 12.6 | 13.6 | 16.9 | 16.1 | 15.4 |
| 85歳以上 | 9.3 | 12.2 | 13.2 | 12.9 | 12.0 | 11.4 | 13.1 | 11.0 |
| 全体 | 22.9 | 13.3 | 15.1 | 15.0 | 14.5 | 12.9 | 15.5 | 14.7 |

イ う蝕有病者とその処置状況

訪問患者の処置完了者、処置・未処置のある者、未処置者のいずれか明確であった者は511人中496人であった。これらのうち、う蝕有病者（処置完了者及び処置・未処置のある者、未処置者）は97.1%で、処置完了者は全体では64.8%、処置・未処置のある者は27.6%、未処置者は4.7%であった。

表II-C-1-(1)-イ 年齢階級別によるう蝕の処置状況（訪問患者）

(単位：人)

| | 処置完了者 | 処置・未処置のある者 | 未処置者 | う蝕がない者 | 総数 |
|--------|-------------|-------------|-----------|-----------|--------------|
| 20～24歳 | 4 (44.4%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 5 (55.6%) | 9 (100.0%) |
| 25～29歳 | 3 (60.0%) | 1 (20.0%) | 1 (20.0%) | 0 (0.0%) | 5 (100.0%) |
| 30～34歳 | 4 (50.0%) | 3 (37.5%) | 1 (12.5%) | 0 (0.0%) | 8 (100.0%) |
| 35～39歳 | 4 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 4 (100.0%) |
| 40～44歳 | 5 (83.3%) | 1 (16.7%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 6 (100.0%) |
| 45～49歳 | 9 (60.0%) | 5 (33.3%) | 0 (0.0%) | 1 (6.7%) | 15 (100.0%) |
| 50～54歳 | 9 (64.3%) | 5 (35.7%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 14 (100.0%) |
| 55～59歳 | 7 (70.0%) | 2 (20.0%) | 1 (10.0%) | 0 (0.0%) | 10 (100.0%) |
| 60～64歳 | 7 (53.8%) | 5 (38.5%) | 1 (7.7%) | 0 (0.0%) | 13 (100.0%) |
| 65～69歳 | 13 (81.3%) | 3 (18.8%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 16 (100.0%) |
| 70～74歳 | 16 (57.1%) | 10 (35.7%) | 2 (7.1%) | 0 (0.0%) | 28 (100.0%) |
| 75～79歳 | 37 (61.7%) | 20 (33.3%) | 3 (5.0%) | 0 (0.0%) | 60 (100.0%) |
| 80～84歳 | 62 (63.3%) | 31 (31.6%) | 2 (2.0%) | 3 (3.1%) | 98 (100.0%) |
| 85歳以上 | 151 (67.1%) | 55 (24.4%) | 13 (5.8%) | 6 (2.7%) | 225 (100.0%) |
| 全体 | 331 (64.8%) | 141 (27.6%) | 24 (4.7%) | 15 (2.9%) | 511 (100.0%) |

ウ う蝕有病歯率

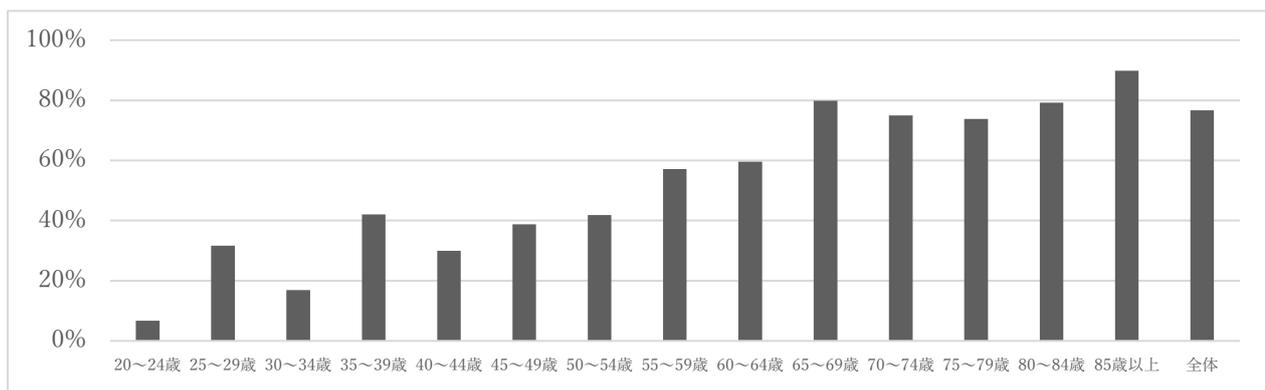
訪問患者のう蝕有病歯率は、20～24歳の6.7%と最も少なく、40歳以降は年齢階級が上がるに従い増加し、85歳以上で89.9%と最も割合が高かった。

表II-C-1-(1)-ウ 年齢階級別によるう蝕有病菌率（訪問患者）

（単位：本）

| | 健全歯数 | 処置歯数 | 未処置歯数 | 喪失歯数 | う蝕有病菌率 |
|--------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------|
| 20～24歳 | 26.2 (93.3%) | 1.7 (5.9%) | 0.0 (0.0%) | 0.2 (0.8%) | 6.7% |
| 25～29歳 | 19.1 (68.4%) | 5.6 (19.9%) | 3.3 (11.7%) | 0.0 (0.0%) | 31.6% |
| 30～34歳 | 23.4 (83.4%) | 2.7 (9.5%) | 1.8 (6.3%) | 0.2 (0.8%) | 16.9% |
| 35～39歳 | 16.5 (57.4%) | 12.3 (42.6%) | 0.0 (0.0%) | 0.0 (0.0%) | 42.0% |
| 40～44歳 | 20.8 (71.0%) | 6.5 (22.2%) | 0.7 (2.3%) | 1.3 (4.5%) | 30.0% |
| 45～49歳 | 17.4 (61.9%) | 8.8 (31.4%) | 0.8 (2.7%) | 1.1 (4.0%) | 38.7% |
| 50～54歳 | 16.9 (58.2%) | 8.0 (27.5%) | 1.9 (6.4%) | 2.3 (7.9%) | 41.9% |
| 55～59歳 | 12.5 (42.8%) | 13.0 (44.5%) | 1.4 (4.8%) | 2.3 (7.9%) | 57.1% |
| 60～64歳 | 10.8 (38.0%) | 9.5 (33.5%) | 2.1 (7.6%) | 5.9 (20.9%) | 59.6% |
| 65～69歳 | 5.7 (19.7%) | 8.8 (30.2%) | 0.3 (1.1%) | 14.2 (48.9%) | 79.9% |
| 70～74歳 | 7.3 (25.2%) | 8.1 (28.0%) | 2.0 (6.8%) | 11.5 (40.0%) | 75.0% |
| 75～79歳 | 7.8 (26.6%) | 8.6 (29.6%) | 1.0 (3.5%) | 11.8 (40.3%) | 73.8% |
| 80～84歳 | 6.0 (21.0%) | 7.8 (27.1%) | 1.7 (5.9%) | 13.2 (46.0%) | 79.2% |
| 85歳以上 | 3.0 (10.4%) | 7.6 (26.4%) | 1.4 (4.8%) | 16.8 (58.5%) | 89.9% |
| 全体 | 6.7 (23.4%) | 7.8 (27.2%) | 1.4 (4.8%) | 12.8 (44.6%) | 76.7% |

図II-C-1-(1)-ウ 年齢階級別によるう蝕有病者率（訪問患者）



エ 1人平均未処置歯数とその内訳

訪問患者全体での1人平均未処置歯数は1.4本であり、その内訳はC1が0.1本、C2が0.3本、C3が0.2本、C4が0.8本であった。

20～24歳と35～39歳では未処置歯が無く、C4に関しては45歳以上で認められたが、年齢による傾向は認められなかった。

表II-C-1-(1)-エ-1 年齢階級別による1人平均未処置歯数（訪問患者）

(単位：本)

| | C1 | C2 | C3 | C4 | 未処置 歯数 | 年齢 | C1 | C2 | C3 | C4 | 未処置 歯数 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----------|--------|-----|-----|-----|-----|-----------|
| 20～24歳 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 55～59歳 | 0.0 | 0.2 | 0.5 | 0.7 | 1.4 |
| 25～29歳 | 2.4 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 3.3 | 60～64歳 | 0.1 | 0.3 | 0.3 | 1.4 | 2.1 |
| 30～34歳 | 0.2 | 1.6 | 0.0 | 0.0 | 1.8 | 65～69歳 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.3 |
| 35～39歳 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 70～74歳 | 0.2 | 0.5 | 0.3 | 1.0 | 2.0 |
| 40～44歳 | 0.0 | 0.3 | 0.3 | 0.0 | 0.7 | 75～79歳 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.7 | 1.0 |
| 45～49歳 | 0.0 | 0.2 | 0.3 | 0.3 | 0.8 | 80～84歳 | 0.1 | 0.3 | 0.2 | 1.1 | 1.7 |
| 50～54歳 | 1.4 | 0.4 | 0.1 | 0.1 | 1.9 | 85歳以上 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 0.9 | 1.4 |
| | | | | | | 全体 | 0.1 | 0.3 | 0.2 | 0.8 | 1.4 |

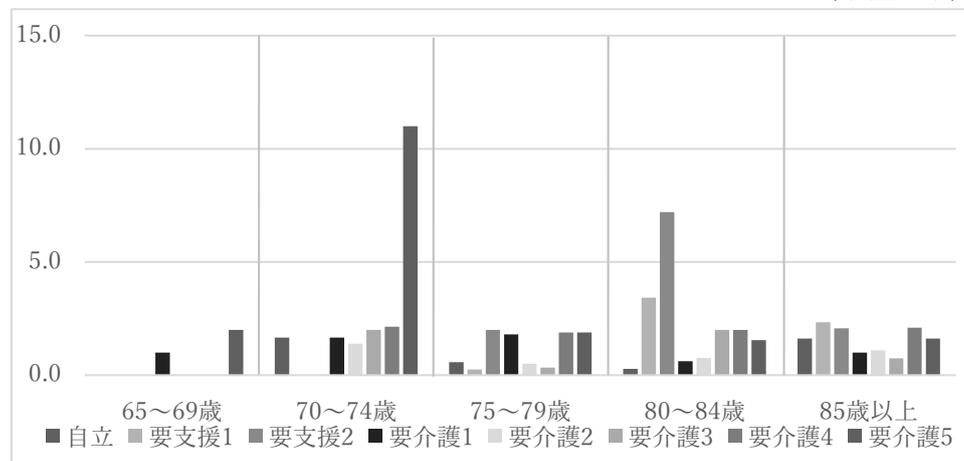
表II-C-1-(1)-エ-2 年齢階級別・要介護度別による1人平均未処置歯数（65歳以上）（訪問患者）

(単位：本)

| | 自立 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 |
|--------|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 65～69歳 | 0.0 | - | - | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 |
| 70～74歳 | 1.7 | - | - | 1.7 | 1.4 | 2.0 | 2.1 | 11.0 |
| 75～79歳 | 0.6 | 0.3 | 2.0 | 1.8 | 0.5 | 0.3 | 1.9 | 1.9 |
| 80～84歳 | 0.3 | 3.4 | 7.2 | 0.6 | 0.8 | 2.0 | 2.0 | 1.5 |
| 全体 | 1.0 | 2.2 | 3.2 | 1.4 | 0.9 | 1.0 | 2.0 | 1.8 |

図II-C-1-(1)-エ 年齢階級別・要介護度別による1人平均未処置歯数（65歳以上）（訪問患者）

(単位：本)



(2) 喪失歯とその補綴状況

ア 喪失歯を有する者の割合及び1人平均喪失歯数

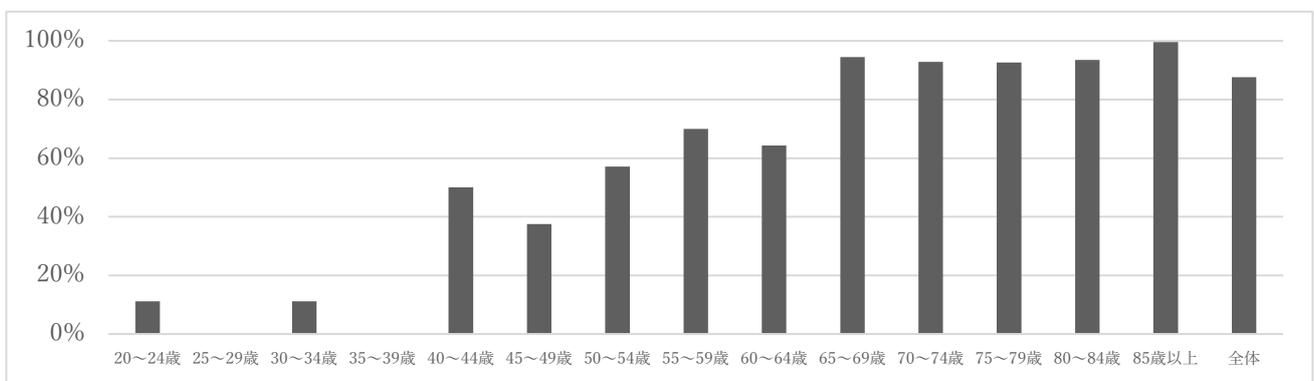
訪問患者の喪失歯を有する者の割合は全体の87.7%であった。年齢階級別では39歳以下では0～11.1%であり、年齢階級が上がるに従い割合が増加し、65歳以上では90%以上であった。

1人平均喪失歯数は全体では12.8本であった。20～39歳ではほぼ0本であったが、40歳以降では年齢階級が上がるに従い増加し、65歳以降で急激な増加した。

表II-C-1-(2)-ア 年齢階級別による喪失歯を有する者の割合（訪問患者）

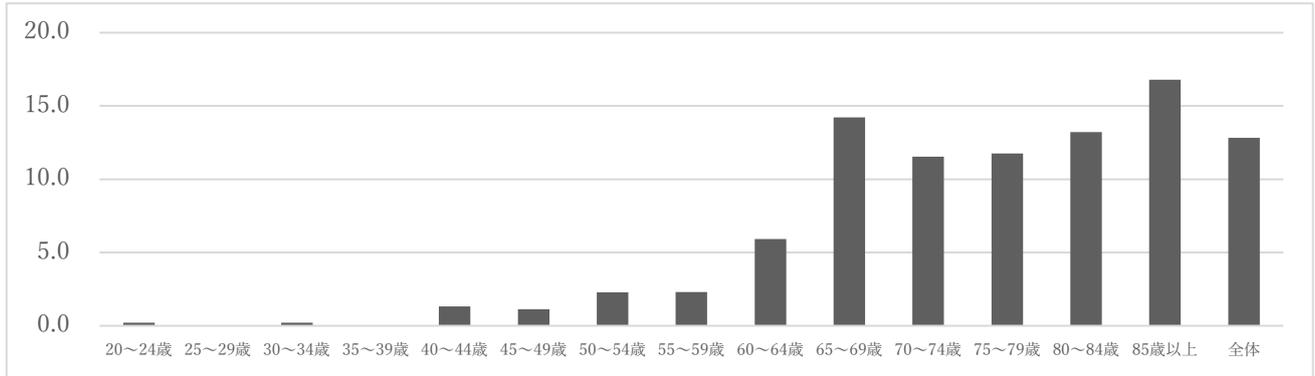
| | 喪失歯を有する者(人) | 喪失歯のない者(人) | 総数(人) | 1人平均喪失歯数(本) |
|--------|-------------|------------|--------------|-------------|
| 20～24歳 | 1 (11.1%) | 8 (88.9%) | 9 (100.0%) | 0.2 |
| 25～29歳 | 0 (0.0%) | 7 (100.0%) | 7 (100.0%) | 0.0 |
| 30～34歳 | 1 (11.1%) | 8 (88.9%) | 9 (100.0%) | 0.2 |
| 35～39歳 | 0 (0.0%) | 4 (100.0%) | 4 (100.0%) | 0.0 |
| 40～44歳 | 3 (50.0%) | 3 (50.0%) | 6 (100.0%) | 1.3 |
| 45～49歳 | 6 (37.5%) | 10 (62.5%) | 16 (100.0%) | 1.1 |
| 50～54歳 | 8 (57.1%) | 6 (42.9%) | 14 (100.0%) | 2.3 |
| 55～59歳 | 7 (70.0%) | 3 (30.0%) | 10 (100.0%) | 2.3 |
| 60～64歳 | 9 (64.3%) | 5 (35.7%) | 14 (100.0%) | 5.9 |
| 65～69歳 | 17 (94.4%) | 1 (5.6%) | 18 (100.0%) | 14.2 |
| 70～74歳 | 26 (92.9%) | 2 (7.1%) | 28 (100.0%) | 11.5 |
| 75～79歳 | 63 (92.6%) | 5 (7.4%) | 68 (100.0%) | 11.8 |
| 80～84歳 | 101 (93.5%) | 7 (6.5%) | 108 (100.0%) | 13.2 |
| 85歳以上 | 255 (99.6%) | 1 (0.4%) | 256 (100.0%) | 16.8 |
| 全体 | 497 (87.7%) | 70 (12.3%) | 567 (100.0%) | 12.8 |

図II-C-1-(2)-ア-1 年齢階級別による喪失歯を有する者の割合（訪問患者）



図II-C-1-(2)-ア-2 年齢階級別による1人平均喪失歯数（訪問患者）

（単位：本）



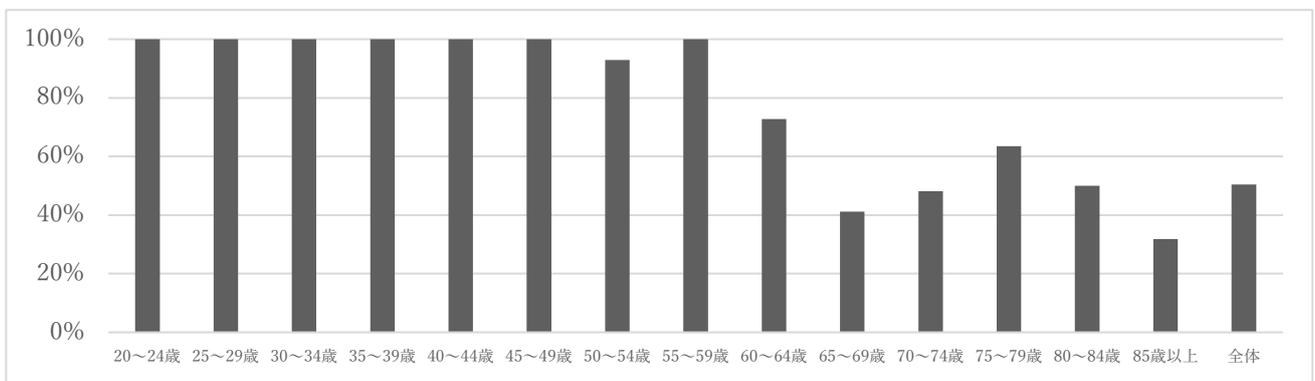
イ 20本以上の歯を有する者の割合

訪問患者で20本以上の歯を有する者の割合は全体で50.4%であった。50歳代までは92.9～100%であったが、60歳以降で減少がみられた。8020達成率（75～84歳の平均）は54.7%であった。

表II-C-1-(2)-イ 年齢階級別による20本以上の歯を有する者の割合（訪問患者）

| | 20本以上の歯を有する者の割合 | | 20本以上の歯を有する者の割合 |
|--------|-----------------|------------|-----------------|
| 20～24歳 | 100.0% | 60～64歳 | 72.7% |
| 25～29歳 | 100.0% | 65～69歳 | 41.2% |
| 30～34歳 | 100.0% | 70～74歳 | 48.1% |
| 35～39歳 | 100.0% | 75～79歳 | 63.5% |
| 40～44歳 | 100.0% | 80～84歳 | 50.0% |
| 45～49歳 | 100.0% | 85歳以上 | 31.8% |
| 50～54歳 | 92.9% | 75～84歳（再掲） | 54.7% |
| 55～59歳 | 100.0% | 全体 | 50.4% |

図II-C-1-(2)-イ 年齢階級別による20本以上の歯を有する者の割合（訪問患者）



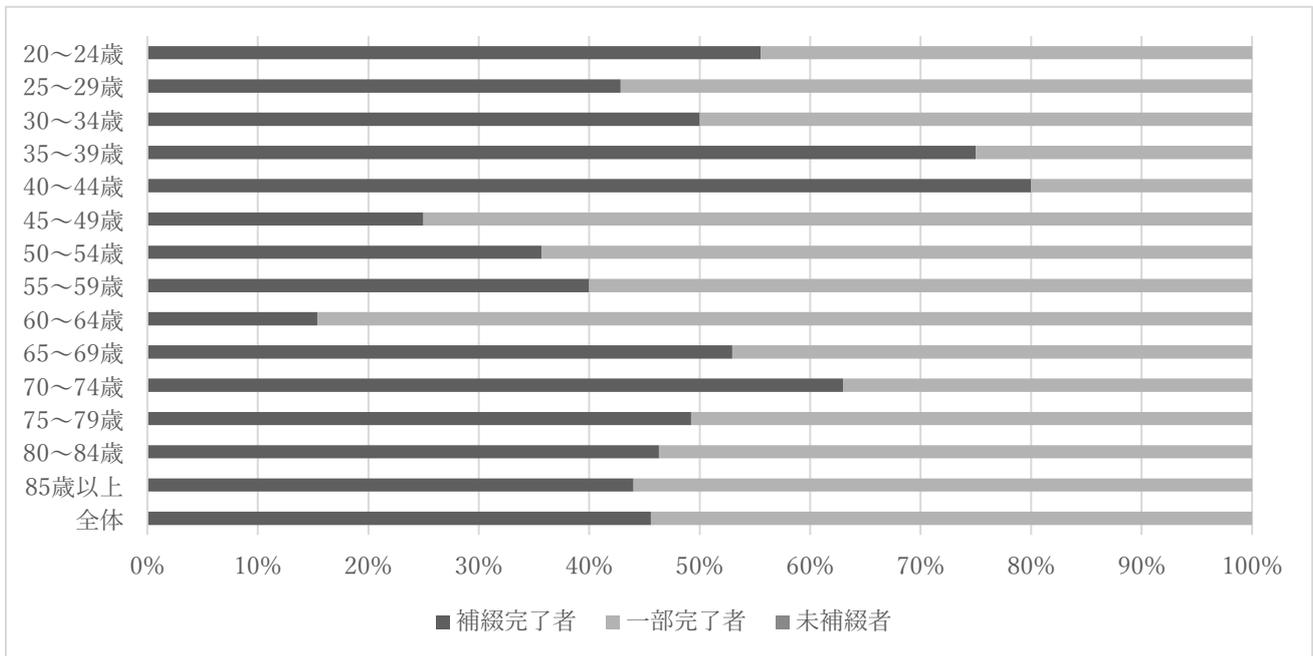
ウ 欠損補綴の状況

訪問患者で補綴完了者の割合は全体で45.6%であり、年齢で傾向を示さなかった。なお、未補綴者はいなかった。

表II-C-1-(2)-ウ 年齢階級別による欠損補綴の状況（訪問患者）

| | 補綴完了者 | 一部完了者 | 未補綴者 | 年齢 | 補綴完了者 | 一部完了者 | 未補綴者 |
|--------|-------|-------|------|--------|-------|-------|------|
| 20～24歳 | 55.6% | 44.4% | 0.0% | 55～59歳 | 40.0% | 60.0% | 0.0% |
| 25～29歳 | 42.9% | 57.1% | 0.0% | 60～64歳 | 15.4% | 84.6% | 0.0% |
| 30～34歳 | 50.0% | 50.0% | 0.0% | 65～69歳 | 52.9% | 47.1% | 0.0% |
| 35～39歳 | 75.0% | 25.0% | 0.0% | 70～74歳 | 63.0% | 37.0% | 0.0% |
| 40～44歳 | 80.0% | 20.0% | 0.0% | 75～79歳 | 49.2% | 50.8% | 0.0% |
| 45～49歳 | 25.0% | 75.0% | 0.0% | 80～84歳 | 46.3% | 53.7% | 0.0% |
| 50～54歳 | 35.7% | 64.3% | 0.0% | 85歳以上 | 44.0% | 56.0% | 0.0% |
| | | | | 全体 | 45.6% | 54.4% | 0.0% |

図II-C-1-(2)-ウ 年齢階級別による欠損補綴の状況（訪問患者）



(3) 歯周組織の状況

ア 歯肉及び歯周ポケットの状況

訪問患者の「歯肉出血あり (BOPコード：1)」の者の割合は54.7%であった。「4mm以上6mm未満の歯周ポケット (PDコード：1)」と「6mm以上の歯周ポケット (PDコード：2)」の者を合わせると、51.5%であった。いずれについても、年齢で傾向は示さなかった。

表II-C-1-(3)-ア-1 年齢階級別による歯肉の状況 (訪問患者)

(単位：人)

| | 0：健全 | 1：出血あり | 9：除外歯 | 不明 |
|--------|-------------|-------------|-----------|------------|
| 20～24歳 | 7 (77.8%) | 2 (22.2%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 25～29歳 | 4 (57.1%) | 3 (42.9%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30～34歳 | 2 (22.2%) | 7 (77.8%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 35～39歳 | 0 (0.0%) | 4 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40～44歳 | 5 (83.3%) | 1 (16.7%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 45～49歳 | 7 (43.8%) | 8 (50.0%) | 0 (0.0%) | 1 (6.3%) |
| 50～54歳 | 6 (42.9%) | 8 (57.1%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 55～59歳 | 3 (30.0%) | 4 (40.0%) | 1 (10.0%) | 1 (10.0%) |
| 60～64歳 | 3 (21.4%) | 7 (50.0%) | 0 (0.0%) | 2 (14.3%) |
| 65～69歳 | 2 (11.1%) | 7 (38.9%) | 1 (5.6%) | 7 (38.9%) |
| 70～74歳 | 4 (14.3%) | 18 (64.3%) | 0 (0.0%) | 4 (14.3%) |
| 75～79歳 | 13 (19.1%) | 31 (45.6%) | 0 (0.0%) | 16 (23.5%) |
| 80～84歳 | 22 (20.4%) | 61 (56.5%) | 2 (1.9%) | 16 (14.8%) |
| 85歳以上 | 41 (16.0%) | 149 (58.2%) | 1 (0.4%) | 39 (15.2%) |
| 全体 | 119 (21.0%) | 310 (54.7%) | 5 (0.9%) | 86 (15.2%) |

表II-C-1-(3)-ア-2 年齢階級別による歯周ポケットの状況 (訪問患者)

(単位：人)

| | 0：健全 | 1：4mm以上 6mm未満 | 2：6mm以上 | 9：除外歯 | 不明 |
|--------|-------------|------------------|------------|-----------|------------|
| 20～24歳 | 8 (88.9%) | 1 (11.1%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 25～29歳 | 4 (57.1%) | 2 (28.6%) | 1 (14.3%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30～34歳 | 4 (44.4%) | 5 (55.6%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 35～39歳 | 0 (0.0%) | 4 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40～44歳 | 4 (66.7%) | 2 (33.3%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 45～49歳 | 7 (43.8%) | 6 (37.5%) | 2 (12.5%) | 0 (0.0%) | 1 (6.3%) |
| 50～54歳 | 5 (35.7%) | 5 (35.7%) | 4 (28.6%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 55～59歳 | 4 (40.0%) | 2 (20.0%) | 1 (10.0%) | 1 (10.0%) | 1 (10.0%) |
| 60～64歳 | 4 (28.6%) | 4 (28.6%) | 2 (14.3%) | 0 (0.0%) | 2 (14.3%) |
| 65～69歳 | 2 (11.1%) | 5 (27.8%) | 2 (11.1%) | 1 (5.6%) | 7 (38.9%) |
| 70～74歳 | 6 (21.4%) | 11 (39.3%) | 6 (21.4%) | 0 (0.0%) | 3 (10.7%) |
| 75～79歳 | 13 (19.1%) | 23 (33.8%) | 8 (11.8%) | 0 (0.0%) | 16 (23.5%) |
| 80～84歳 | 21 (19.4%) | 38 (35.2%) | 23 (21.3%) | 2 (1.9%) | 16 (14.8%) |
| 85歳以上 | 51 (19.9%) | 92 (35.9%) | 43 (16.8%) | 2 (0.8%) | 41 (16.0%) |
| 全体 | 133 (23.5%) | 200 (35.3%) | 92 (16.2%) | 6 (1.1%) | 87 (15.3%) |

イ 歯石の付着状況

訪問患者の歯石の付着については、20～34歳で60.0～72.7%であったものの、35～44歳で33.3～40.0%と減少し、45歳以上では増加した。年齢による傾向は認められなかった。

表II-C-1-(3)-イ 年齢階級別による歯石の付着がある者の割合（訪問患者）

(単位：人)

| | 歯石の付着がある者 | | 歯石の付着がある者 |
|--------|------------|--------|-------------|
| 20～24歳 | 6 (60.0%) | 55～59歳 | 8 (66.7%) |
| 25～29歳 | 8 (72.7%) | 60～64歳 | 16 (88.9%) |
| 30～34歳 | 6 (60.0%) | 65～69歳 | 16 (66.7%) |
| 35～39歳 | 2 (40.0%) | 70～74歳 | 20 (55.6%) |
| 40～44歳 | 2 (33.3%) | 75～79歳 | 48 (65.8%) |
| 45～49歳 | 24 (85.7%) | 80～84歳 | 108 (71.1%) |
| 50～54歳 | 18 (78.3%) | 85歳以上 | 234 (71.3%) |
| | | 全体 | 516 (70.1%) |

ウ 口腔清掃状態

口腔清掃状態は、65～69歳以上になるとプラークや他の付着物がない（コード0）の歯数が減少していた。

表II-C-1-(3)-ウ 年齢階級別による口腔清掃状態(各コード別1人平均本数)（訪問患者）

(単位：本)

| | 0：プラークや他の付着物がない | 1：プラークが歯面の1/3以下 | 2：プラークが歯面の1/3～2/3 | 3：プラークが歯面の2/3以上 |
|--------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| 20～24歳 | 7.2 | 2.8 | 0 | 0 |
| 25～29歳 | 5.7 | 3 | 0.6 | 0.3 |
| 30～34歳 | 4.8 | 5.3 | 0 | 0 |
| 35～39歳 | 5.3 | 4.8 | 0 | 0 |
| 40～44歳 | 7.8 | 0 | 1 | 0 |
| 45～49歳 | 5.9 | 3.4 | 0.3 | 0 |
| 50～54歳 | 3.7 | 4.3 | 1.3 | 0.4 |
| 55～59歳 | 4.4 | 4.1 | 1.3 | 0 |
| 60～64歳 | 4.3 | 3.6 | 0.3 | 0 |
| 65～69歳 | 1.8 | 3.4 | 1.2 | 0.1 |
| 70～74歳 | 1.3 | 2.8 | 1 | 0.6 |
| 75～79歳 | 1.9 | 3.4 | 0.8 | 0.8 |
| 80～84歳 | 1.2 | 2.7 | 1.2 | 0.7 |
| 85歳以上 | 0.9 | 2.3 | 0.9 | 0.4 |
| 全体 | 1.9 | 2.8 | 0.9 | 0.5 |

(4) 歯頸部の状況（くさび状欠損を有する者の割合）

訪問患者のくさび状欠損を有する者の割合は全体で5.1%であった。

表II-C-1-(4) 年齢階級別によるくさび状欠損を有する者の割合（訪問患者）

| | くさび状欠損を有する者の割合 | | くさび状欠損を有する者の割合 |
|--------|----------------|--------|----------------|
| 20歳代 | 0.0% | 55～59歳 | 0.0% |
| 25～29歳 | 14.3% | 60～64歳 | 14.3% |
| 30～34歳 | 0.0% | 65～69歳 | 0.0% |
| 35～39歳 | 0.0% | 70～74歳 | 7.1% |
| 40～44歳 | 0.0% | 75～79歳 | 11.8% |
| 45～49歳 | 12.5% | 80～84歳 | 7.4% |
| 50～54歳 | 0.0% | 85歳以上 | 2.3% |
| | | 全体 | 5.1% |

2 生活習慣、歯科保健等に関する調査の結果

(1) 健康への意識

ア 主観的健康観（問1 現在の健康状態はいかがですか。）

「よい」、「まあよい」（合わせて「健康」とする）と回答した者は、23.1%であった。

表II-C-2-(1)-ア 年代別による主観的健康観（訪問患者）

(単位：人)

| | よい | まあよい | ふつう | あまりよくない | よくない | わからない | 未回答 |
|-------|------------|------------|------------|------------|-------------|----------|-----------|
| 20歳代 | 5 (31.3%) | 1 (6.3%) | 3 (18.8%) | 0 (0.0%) | 7 (43.8%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 4 (30.8%) | 3 (23.1%) | 2 (15.4%) | 0 (0.0%) | 4 (30.8%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 11 (50.0%) | 2 (9.1%) | 3 (13.6%) | 2 (9.1%) | 4 (18.2%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 3 (12.5%) | 5 (20.8%) | 6 (25.0%) | 2 (8.3%) | 7 (29.2%) | 0 (0.0%) | 1 (4.2%) |
| 60歳代 | 2 (6.3%) | 6 (18.8%) | 3 (9.4%) | 3 (9.4%) | 17 (53.1%) | 0 (0.0%) | 1 (3.1%) |
| 70歳代 | 6 (6.3%) | 8 (8.3%) | 13 (13.5%) | 16 (16.7%) | 47 (49.0%) | 1 (1.0%) | 5 (5.2%) |
| 80歳以上 | 31 (8.5%) | 44 (12.1%) | 53 (14.6%) | 69 (19.0%) | 147 (40.4%) | 1 (0.3%) | 19 (5.2%) |
| 全体 | 62 (10.9%) | 69 (12.2%) | 83 (14.6%) | 92 (16.2%) | 233 (41.1%) | 2 (0.4%) | 26 (4.6%) |

(ア) 1年間に歯科以外で受診した病気（問1-1 この1年間に歯科以外で治療を受けた病気すべてに○をつけてください。）

問1で「あまりよくない」、「よくない」と回答した者のみを対象として集計した。

いずれの疾患も70歳代から増加し、80歳以上で顕著に増加がみられた。一方で、治療は受けていないと回答した者が70歳代以降で22.2%あった。

表II-C-2-(1)-ア-(ア) 年代別による1年間に歯科以外で受診した病気（訪問患者）

(単位：人)

| | 糖尿病 | 心臓病 | 肺炎 | 脳血管障害 (脳卒中等) | 骨粗鬆症 | その他 | 治療は受けて いない | 未回答 |
|-------|------------|------------|-----------|-----------------|------------|-------------|---------------|----------|
| 20歳代 | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 7 (100.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (25.0%) | 3 (75.0%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 1 (16.7%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (16.7%) | 0 (0.0%) | 1 (16.7%) | 3 (50.0%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (11.1%) | 2 (22.2%) | 2 (22.2%) | 5 (55.6%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 5 (25.0%) | 1 (5.0%) | 1 (5.0%) | 1 (5.0%) | 4 (20.0%) | 9 (45.0%) | 2 (10.0%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 13 (20.6%) | 5 (7.9%) | 3 (4.8%) | 7 (11.1%) | 14 (22.2%) | 24 (38.1%) | 14 (22.2%) | 1 (1.6%) |
| 80歳以上 | 35 (16.2%) | 40 (18.5%) | 13 (6.0%) | 45 (20.8%) | 32 (14.8%) | 87 (40.3%) | 48 (22.2%) | 4 (1.9%) |
| 全体 | 54 (16.6%) | 46 (14.2%) | 17 (5.2%) | 55 (16.9%) | 52 (16.0%) | 124 (38.2%) | 82 (25.2%) | 5 (1.5%) |

* 「あまりよくない」「よくない」と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

イ 健康のための運動の頻度（問2 健康のために、からだを動かすなどの運動をしていますか。）

「いつもしている」、「ときどきしている」と回答した者（「運動をしている者」）の割合は、52.1%であった。

年代別に見ると「いつもしている」、「ときどきしている」と回答した者の割合は、20歳代では81.3%で最も多かった。30歳代以降に一定の傾向は認められなかったが、「運動をしている者」が概ね半数を超えていた。

表II-C-2-(1)-イ 年代別による健康のための運動の頻度（訪問患者）

(単位：人)

| | いつもしている | ときどきしている | ほとんどしない | 未回答 |
|-------|------------|-------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 5 (31.3%) | 8 (50.0%) | 3 (18.8%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 2 (15.4%) | 6 (46.2%) | 5 (38.5%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 4 (18.2%) | 13 (59.1%) | 5 (22.7%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 3 (12.5%) | 12 (50.0%) | 8 (33.3%) | 1 (4.2%) |
| 60歳代 | 4 (12.5%) | 19 (59.4%) | 8 (25.0%) | 1 (3.1%) |
| 70歳代 | 10 (10.4%) | 39 (40.6%) | 41 (42.7%) | 6 (6.3%) |
| 80歳以上 | 54 (14.8%) | 116 (31.9%) | 171 (47.0%) | 23 (6.3%) |
| 全体 | 82 (14.5%) | 213 (37.6%) | 241 (42.5%) | 31 (5.5%) |

ウ 喫煙の習慣（問3 たばこを習慣的に吸っていますか、または吸っていたことはありますか。）

「現在吸っている」、「過去に吸っていた」と回答した者の割合は29.9%であった。年代別に見ると、20歳代では12.6%で年代が上がるに従い増加し、60歳代が50.1%で最も高く、80歳以上で減少した。

表II-C-2-(1)-ウ 年代別による喫煙の習慣（訪問患者）

(単位：人)

| | 現在吸っている | 過去に吸っていた | 吸ったことがない | 未回答 |
|-------|------------|-------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 1 (6.3%) | 1 (6.3%) | 14 (87.5%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 1 (7.7%) | 2 (15.4%) | 10 (76.9%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 4 (18.2%) | 2 (9.1%) | 16 (72.7%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 4 (16.7%) | 4 (16.7%) | 15 (62.5%) | 1 (4.2%) |
| 60歳代 | 6 (18.8%) | 10 (31.3%) | 15 (46.9%) | 1 (3.1%) |
| 70歳代 | 13 (13.5%) | 32 (33.3%) | 46 (47.9%) | 5 (5.2%) |
| 80歳以上 | 7 (1.9%) | 83 (22.8%) | 256 (70.3%) | 18 (4.9%) |
| 全体 | 36 (6.3%) | 134 (23.6%) | 372 (65.6%) | 25 (4.4%) |

(ア) 喫煙者における喫煙指数(訪問患者)

問3で「現在吸っている」、「過去に吸っていた」と回答した者のみを対象として集計した。1日平均本数については、15.9本であり、喫煙年数については、27.5年であった。

喫煙指数については、449.0であった。

表II-C-2-(1)-ウ-(ア) 年代別による1日平均本数・喫煙年数・喫煙指数(訪問患者)

| | 1日平均本数(本) | 喫煙年数(年) | 喫煙指数*(本・年) |
|-------|-----------|---------|------------|
| 20歳代 | 10.0 | 6.5 | 65.0 |
| 30歳代 | 11.7 | 9.3 | 148.3 |
| 40歳代 | 16.7 | 19.3 | 361.7 |
| 50歳代 | 15.3 | 25.0 | 338.8 |
| 60歳代 | 16.9 | 26.7 | 348.1 |
| 70歳代 | 15.9 | 29.2 | 459.6 |
| 80歳以上 | 16.1 | 29.1 | 509.8 |
| 全体 | 15.9 | 27.5 | 449.0 |

* 「現在吸っている」「過去に吸っていた」と回答した者の回答のみ計上。

** 喫煙指数 = 1日平均本数 × 喫煙年数

(2) 咬合と咀嚼の状況

ア 奥歯の咬合(問4 自分の歯や入れ歯で、左右の奥歯を噛みしめることができますか。)

「両方できる」者の割合は、72.1%であった。

年代別に見ると30歳代までは「両方できる」者の割合が100%であった。

表II-C-2-(2)-ア 年代別による奥歯の咬合(訪問患者)

(単位:人)

| | 両方できる | 片方だけできる | どちらもできない | 未回答 |
|-------|-------------|------------|------------|-----------|
| 20歳代 | 16 (100.0%) | (0.0%) | (0.0%) | (0.0%) |
| 30歳代 | 13 (100.0%) | (0.0%) | (0.0%) | (0.0%) |
| 40歳代 | 19 (86.4%) | 3 (13.6%) | (0.0%) | (0.0%) |
| 50歳代 | 16 (66.7%) | 4 (16.7%) | 3 (12.5%) | 1 (4.2%) |
| 60歳代 | 25 (78.1%) | 1 (3.1%) | 5 (15.6%) | 1 (3.1%) |
| 70歳代 | 66 (68.8%) | 14 (14.6%) | 10 (10.4%) | 6 (6.3%) |
| 80歳以上 | 254 (69.8%) | 40 (11.0%) | 47 (12.9%) | 23 (6.3%) |
| 全体 | 409 (72.1%) | 62 (10.9%) | 65 (11.5%) | 31 (5.5%) |

イ 食べる時の咬合の状態（問5 噛んで食べる時の状態は次のどれに当てはまりますか。）

「何でも噛んで食べることができる」者の割合は、48.3%であった。

年代別に見ると、40歳代までは緩やかに減少し、50歳代から大きく減少し、80歳以上では41.2%であった。

表II-C-2-(2)-イ 年代別による食べる時の咬合の状態（訪問患者）

（単位：人）

| | 何でも噛んで食べることができる | 一部噛めない食べ物があ | 噛めない食べ物が多い | 噛んで食べることはできない | 未回答 |
|-------|-----------------|-------------|------------|---------------|-----------|
| 20歳代 | 16 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 12 (92.3%) | 1 (7.7%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 20 (90.9%) | 1 (4.5%) | 0 (0.0%) | 1 (4.5%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 16 (66.7%) | 5 (20.8%) | 1 (4.2%) | 1 (4.2%) | 1 (4.2%) |
| 60歳代 | 19 (59.4%) | 7 (21.9%) | 5 (15.6%) | 0 (0.0%) | 1 (3.1%) |
| 70歳代 | 41 (42.7%) | 37 (38.5%) | 8 (8.3%) | 4 (4.2%) | 6 (6.3%) |
| 80歳以上 | 150 (41.2%) | 141 (38.7%) | 38 (10.4%) | 14 (3.8%) | 21 (5.8%) |
| 全体 | 274 (48.3%) | 192 (33.9%) | 52 (9.2%) | 20 (3.5%) | 29 (5.1%) |

ウ 開口、閉口時の顎関節の異常の頻度（問7 口を大きく開けたり閉じたりする時に、あごの関節に痛みを感じたり、開けにくかったり、音がすることがあります。）

「ある」、「ときどきある」と回答した者の割合は、7.9%であった。

年代別に見ると、30歳代で38.5%と最も多かった。60歳代以降は著しく減少し5%未満であった。

表II-C-2-(2)-ウ 年代別による開口、閉口時の顎関節の異常の頻度（訪問患者）

（単位：人）

| | ある | ときどきある | ない | 未回答 |
|-------|-----------|-----------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 0 (0.0%) | 2 (12.5%) | 14 (87.5%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 2 (15.4%) | 3 (23.1%) | 7 (53.8%) | 1 (7.7%) |
| 40歳代 | 3 (13.6%) | 3 (13.6%) | 16 (72.7%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 2 (8.3%) | 6 (25.0%) | 15 (62.5%) | 1 (4.2%) |
| 60歳代 | 0 (0.0%) | 1 (3.1%) | 30 (93.8%) | 1 (3.1%) |
| 70歳代 | 3 (3.1%) | 1 (1.0%) | 86 (89.6%) | 6 (6.3%) |
| 80歳以上 | 2 (0.5%) | 17 (4.7%) | 323 (88.7%) | 22 (6.0%) |
| 全体 | 12 (2.1%) | 33 (5.8%) | 491 (86.6%) | 31 (5.5%) |

(ア) 開口、閉口時の顎関節の異常の症状（問7-1 あてはまるものすべてに○をつけてください。）

問7で「ある」、「ときどきある」と回答した者のみを対象として集計した。

「音がする」と回答した者の割合が最も多く、55.6%であった。

「開けにくい」と回答した者の割合は、37.8%で、「痛みがある」と回答した者の割合は、4.4%と少数であった。

表II-C-2-(2)-ウ-(ア) 年代別による開口、閉口時の顎関節の異常の症状（複数回答）（訪問患者）

（単位：人）

| | 痛みがある | 開けにくい | 音がする |
|-------|-----------|------------|------------|
| 20歳代 | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 2 (100.0%) |
| 30歳代 | 0 (0.0%) | 1 (20.0%) | 4 (80.0%) |
| 40歳代 | 1 (16.7%) | 2 (33.3%) | 3 (50.0%) |
| 50歳代 | 0 (0.0%) | 2 (25.0%) | 6 (75.0%) |
| 60歳代 | 0 (0.0%) | 1 (100.0%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 0 (0.0%) | 1 (25.0%) | 3 (75.0%) |
| 80歳以上 | 1 (5.3%) | 10 (52.6%) | 7 (36.8%) |
| 全体 | 2 (4.4%) | 17 (37.8%) | 25 (55.6%) |

* 「ときどきある」「ある」と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

エ 顎関節症の治療経験（問8 顎関節症の治療を受けたことがありますか。）

顎関節症の治療を受けたことが「ある」と回答した者の割合は、2.8%であり、20歳代での治療経験者はいなかった。

表II-C-2-(2)-エ 年代別による顎関節症の治療経験（訪問患者）

（単位：人）

| | ある | ない | わからない（不明） | 未回答 |
|-------|-----------|-------------|------------|-----------|
| 20歳代 | 0 (0.0%) | 15 (93.8%) | 1 (6.3%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 2 (15.4%) | 11 (84.6%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 2 (9.1%) | 19 (86.4%) | 0 (0.0%) | 1 (4.5%) |
| 50歳代 | 3 (12.5%) | 19 (79.2%) | 0 (0.0%) | 2 (8.3%) |
| 60歳代 | 1 (3.1%) | 28 (87.5%) | 1 (3.1%) | 2 (6.3%) |
| 70歳代 | 3 (3.1%) | 80 (83.3%) | 6 (6.3%) | 7 (7.3%) |
| 80歳以上 | 5 (1.4%) | 279 (76.6%) | 60 (16.5%) | 20 (5.5%) |
| 全体 | 16 (2.8%) | 451 (79.5%) | 68 (12.0%) | 32 (5.6%) |

(ア) 顎関節症の治療（問8-1 どのような治療を受けましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。）

問8で顎関節症の治療を受けたことが「ある」と回答した者のみを対象として集計した。「スプリント・プレート等の装着」と回答した者の割合が62.5%と多く、「リハビリテーション（ストレッチ等）」と回答した者は31.3%であった。

表II-C-2-(2)-エ-(ア) 年代別による顎関節症の治療（複数回答）（訪問患者）

（単位：人）

| | スプリント・ プレート等の装着 | リハビリテーション （ストレッチ等） | その他 |
|--------|--------------------|-----------------------|-----------|
| 20 歳代 | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30 歳代 | 2 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40 歳代 | 1 (50.0%) | 1 (50.0%) | 0 (0.0%) |
| 50 歳代 | 3 (100.0%) | 1 (33.3%) | 0 (0.0%) |
| 60 歳代 | 0 (0.0%) | 1 (100.0%) | 0 (0.0%) |
| 70 歳代 | 2 (66.7%) | 0 (0.0%) | 1 (33.3%) |
| 80 歳以上 | 2 (40.0%) | 2 (40.0%) | 1 (20.0%) |
| 全体 | 10 (62.5%) | 5 (31.3%) | 2 (12.5%) |

* 「ある」と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

(3) 発音の状況

ア 発音の状況（問6 普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか。）

言葉をはっきりと発音できないことが「ある」と回答した者の割合は、31.0%であった。

年代別に見ると、20歳代で「ある」と回答した者はおらず、50歳代以降は年代が上がるにつれて増加し、70歳代が36.5%で最も高かった。

表II-C-2-(3) 年代別による発音の状況（訪問患者）

（単位：人）

| | ない | ある | 未回答 |
|--------|-------------|-------------|-----------|
| 20 歳代 | 16 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30 歳代 | 12 (92.3%) | 1 (7.7%) | 0 (0.0%) |
| 40 歳代 | 21 (95.5%) | 1 (4.5%) | 0 (0.0%) |
| 50 歳代 | 18 (75.0%) | 5 (20.8%) | 1 (4.2%) |
| 60 歳代 | 23 (71.9%) | 8 (25.0%) | 1 (3.1%) |
| 70 歳代 | 56 (58.3%) | 35 (36.5%) | 5 (5.2%) |
| 80 歳以上 | 221 (60.7%) | 126 (34.6%) | 17 (4.7%) |
| 全体 | 367 (64.7%) | 176 (31.0%) | 24 (4.2%) |

(4) 歯科医院の受診の状況

ア 当日の歯科医院への受診理由 (問9 本日、受診したきっかけはどのような理由ですか。)

「定期的に検診や歯のクリーニングを受けているから」が最も多く 42.9%であった。

表II-C-2-(4)-ア 年代別による当日の歯科医院への受診理由 (訪問患者)

(単位：人)

| | 歯や歯ぐきが痛くて我慢できなかったから | 家族に受診するよう勧められたから | 口の中にむし歯など気になるところが見つかったから | 歯科検診を受けてみようと思ったから | 定期的に検診や歯のクリーニングを受けているから | その他 | 未回答 |
|-------|---------------------|------------------|--------------------------|-------------------|-------------------------|------------|-----------|
| 20歳代 | 0 (0.0%) | 1 (6.3%) | 1 (6.3%) | 6 (37.5%) | 7 (43.8%) | 1 (6.3%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 1 (7.7%) | 1 (7.7%) | 1 (7.7%) | 0 (0.0%) | 9 (69.2%) | 0 (0.0%) | 1 (7.7%) |
| 40歳代 | 1 (4.5%) | 2 (9.1%) | 3 (13.6%) | 5 (22.7%) | 11 (50.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 2 (8.3%) | 2 (8.3%) | 4 (16.7%) | 5 (20.8%) | 8 (33.3%) | 1 (4.2%) | 2 (8.3%) |
| 60歳代 | 1 (3.1%) | 1 (3.1%) | 2 (6.3%) | 2 (6.3%) | 17 (53.1%) | 7 (21.9%) | 2 (6.3%) |
| 70歳代 | 12 (12.5%) | 4 (4.2%) | 13 (13.5%) | 3 (3.1%) | 34 (35.4%) | 23 (24.0%) | 7 (7.3%) |
| 80歳以上 | 35 (9.6%) | 36 (9.9%) | 27 (7.4%) | 17 (4.7%) | 157 (43.1%) | 64 (17.6%) | 28 (7.7%) |
| 全体 | 52 (9.2%) | 47 (8.3%) | 51 (9.0%) | 38 (6.7%) | 243 (42.9%) | 96 (16.9%) | 40 (7.1%) |

イ この1年間の歯科検診受診状況 (問10 この1年間に、歯科検診を受けましたか。(本日の受診を除く))

「はい」と回答した者の割合は、51.0%であった。

年代別に見ると、20歳代は81.3%と最も高く、30歳代以降と比較し顕著に高かった。

表II-C-2-(4)-イ 年代別によるこの1年間の歯科検診受診状況 (訪問患者)

(単位：人)

| | はい | いいえ | 未回答 |
|-------|-------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 13 (81.3%) | 3 (18.8%) | (0.0%) |
| 30歳代 | 7 (53.8%) | 6 (46.2%) | (0.0%) |
| 40歳代 | 7 (31.8%) | 15 (68.2%) | (0.0%) |
| 50歳代 | 10 (41.7%) | 12 (50.0%) | 2 (8.3%) |
| 60歳代 | 14 (43.8%) | 16 (50.0%) | 2 (6.3%) |
| 70歳代 | 40 (41.7%) | 49 (51.0%) | 7 (7.3%) |
| 80歳以上 | 198 (54.4%) | 135 (37.1%) | 31 (8.5%) |
| 全体 | 289 (51.0%) | 236 (41.6%) | 42 (7.4%) |

(ア) この1年間に受けた歯科検診(問10-1 受けた歯科検診について、当てはまるものすべてに○をつけてください。)

問10でこの1年間に歯科検診を受けた(本日の受診は除く)と回答した者のみを対象として集計した。「個別歯科検診」との回答が85.8%と最も高かった。

表II-C-2-(4)-イ-(ア) 年代別によるこの1年間に受けた歯科検診(訪問患者)

(単位:人)

| | 個別歯科検診 | 集団歯科検診 | 個別口腔がん検診 | 集団口腔がん検診 | 未回答 |
|-------|-------------|----------|-----------|----------|------------|
| 20歳代 | 13 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 7 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 5 (71.4%) | 0 (0.0%) | 1 (14.3%) | 0 (0.0%) | 1 (14.3%) |
| 50歳代 | 8 (80.0%) | 0 (0.0%) | 1 (10.0%) | 0 (0.0%) | 1 (10.0%) |
| 60歳代 | 14 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 32 (80.0%) | 1 (2.5%) | 3 (7.5%) | 0 (0.0%) | 4 (10.0%) |
| 80歳以上 | 169 (85.4%) | 6 (3.0%) | 1 (0.5%) | 0 (0.0%) | 22 (11.1%) |
| 全体 | 248 (85.8%) | 7 (2.4%) | 6 (2.1%) | 0 (0.0%) | 28 (9.7%) |

*この1年間に歯科検診を受けた(本日の受診は除く)と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

ウ この1年間の歯科受診内容(問11 この1年間に、歯科医院で受けたことのある項目のすべてに○をつけてください。)

「歯科検診」が45.7%と最も多く、次いで「歯石除去」36.3%、「入れ歯作製・調整」34.0%であった。

表II-C-2-(4)-ウ 年代別によるこの1年間の歯科受診内容(複数回答)(訪問患者)

(単位:人)

| | 歯科検診 | 歯みがき指導 | フッ化物歯面塗布 | 歯石除去 | むし歯の治療 | 歯周病の治療 | 抜歯等外科処置 | 入れ歯作製・調整 | 歯科矯正 | その他 | 受診していない |
|-------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-------------|----------|----------|-------------|
| 20歳代 | 14 (87.5%) | 2 (12.5%) | 4 (25.0%) | 8 (50.0%) | 3 (18.8%) | 1 (6.3%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (6.3%) | 1 (6.3%) | 1 (6.3%) |
| 30歳代 | 8 (61.5%) | 4 (30.8%) | 1 (7.7%) | 8 (61.5%) | 3 (23.1%) | 1 (7.7%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 3 (23.1%) |
| 40歳代 | 8 (36.4%) | 5 (22.7%) | 4 (18.2%) | 6 (27.3%) | 3 (13.6%) | 2 (9.1%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (4.5%) | 0 (0.0%) | 10 (45.5%) |
| 50歳代 | 12 (50.0%) | 8 (33.3%) | 6 (25.0%) | 12 (50.0%) | 7 (29.2%) | 4 (16.7%) | 1 (4.2%) | 0 (0.0%) | 1 (4.2%) | 0 (0.0%) | 5 (20.8%) |
| 60歳代 | 16 (50.0%) | 9 (28.1%) | 6 (18.8%) | 9 (28.1%) | 7 (21.9%) | 8 (25.0%) | 1 (3.1%) | 9 (28.1%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 7 (21.9%) |
| 70歳代 | 43 (44.8%) | 24 (25.0%) | 11 (11.5%) | 37 (38.5%) | 31 (32.3%) | 27 (28.1%) | 6 (6.3%) | 35 (36.5%) | 0 (0.0%) | 1 (1.0%) | 18 (18.8%) |
| 80歳以上 | 158 (43.4%) | 105 (28.8%) | 43 (11.8%) | 126 (34.6%) | 81 (22.3%) | 110 (30.2%) | 34 (9.3%) | 149 (40.9%) | 0 (0.0%) | 6 (1.6%) | 64 (17.6%) |
| 全体 | 259 (45.7%) | 157 (27.7%) | 75 (13.2%) | 206 (36.3%) | 135 (23.8%) | 153 (27.0%) | 42 (7.4%) | 193 (34.0%) | 3 (0.5%) | 8 (1.4%) | 108 (19.0%) |

エ 歯科検診や歯科受診へのためらい（問12 普段、歯科検診や歯科治療を受けることにためらいがありますか。）

「とてもある」、「ある」と回答した者の割合は、13.6%であった。

表II-C-2-(4)-エ 年代別による歯科検診や歯科受診へのためらい（訪問患者）

（単位：人）

| | とてもある | ある | あまりない | まったくない | 未回答 |
|-------|-----------|------------|-------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 0 (0.0%) | 4 (25.0%) | 4 (25.0%) | 8 (50.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 0 (0.0%) | 1 (7.7%) | 4 (30.8%) | 8 (61.5%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 1 (4.5%) | 3 (13.6%) | 8 (36.4%) | 10 (45.5%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 1 (4.2%) | 8 (33.3%) | 9 (37.5%) | 4 (16.7%) | 2 (8.3%) |
| 60歳代 | 2 (6.3%) | 3 (9.4%) | 15 (46.9%) | 10 (31.3%) | 2 (6.3%) |
| 70歳代 | 1 (1.0%) | 7 (7.3%) | 43 (44.8%) | 40 (41.7%) | 5 (5.2%) |
| 80歳以上 | 15 (4.1%) | 31 (8.5%) | 131 (36.0%) | 161 (44.2%) | 26 (7.1%) |
| 全体 | 20 (3.5%) | 57 (10.1%) | 214 (37.7%) | 241 (42.5%) | 35 (6.2%) |

(ア) ためらう理由（問12-1 その理由すべてに○をつけてください。）

問12で「とてもある」、「ある」と回答した者のみを対象として集計した。

「痛みなどの恐怖」が最も多く、50.6%であった。次いで「時間的な負担」が26.0%、「経済的な負担」が11.7%であった。

表II-C-2-(4)-エ-(ア) 年代別による歯科検診や歯科受診をためらう理由（訪問患者）

（単位：人）

| | 痛みなどの恐怖 | 経済的な負担 | 時間的な負担 | その他 | 未回答 |
|-------|------------|-----------|------------|------------|----------|
| 20歳代 | 2 (50.0%) | 1 (25.0%) | 0 (0.0%) | 1 (25.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 1 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 2 (50.0%) | 1 (25.0%) | 3 (75.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 6 (66.7%) | 1 (11.1%) | 2 (22.2%) | 1 (11.1%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 3 (60.0%) | 1 (20.0%) | 1 (20.0%) | 1 (20.0%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 4 (50.0%) | 1 (12.5%) | 4 (50.0%) | 2 (25.0%) | 0 (0.0%) |
| 80歳以上 | 21 (45.7%) | 4 (8.7%) | 10 (21.7%) | 13 (28.3%) | 2 (4.3%) |
| 全体 | 39 (50.6%) | 9 (11.7%) | 20 (26.0%) | 18 (23.4%) | 2 (2.6%) |

* 「とてもある」「ある」と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

(5) 口腔保健に関する保健行動と意識

ア 刷掃習慣 (問 13 歯をみがく頻度はどれくらいですか。)

「毎日みがく」がすべての年代を通じてほとんどの割合を占め、81.0%であった。

「ときどきみがく」者は60歳代以降に認められ、「みがかない」者は50歳代以降に認められた。

表II-C-2-(5)-ア 年代別による歯をみがく頻度 (訪問患者)

(単位：人)

| | 毎日みがく | ときどきみがく | みがかない | 未回答 |
|-------|-------------|------------|-----------|-----------|
| 20歳代 | 16 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 13 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 22 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 21 (87.5%) | 0 (0.0%) | 1 (4.2%) | 2 (8.3%) |
| 60歳代 | 25 (78.1%) | 2 (6.3%) | 2 (6.3%) | 3 (9.4%) |
| 70歳代 | 81 (84.4%) | 7 (7.3%) | 3 (3.1%) | 5 (5.2%) |
| 80歳以上 | 281 (77.2%) | 44 (12.1%) | 21 (5.8%) | 18 (4.9%) |
| 全体 | 459 (81.0%) | 53 (9.3%) | 27 (4.8%) | 28 (4.9%) |

(ア) 歯みがきの回数 (毎日みがくと回答した者のみ) (問 13-1 1日あたりの回数)

問 13 で「毎日みがく」と回答した者のみを対象として集計した。

2回が最も多く37.0%、次いで3回以上で32.7%、1回は20.7%であった。

表II-C-2-(5)-ア-(ア) 年代別による歯みがきの回数 (訪問患者)

(単位：人)

| | 1回 | 2回 | 3回以上 | 未回答 |
|-------|------------|-------------|-------------|------------|
| 20歳代 | 0 (0.0%) | 7 (43.8%) | 8 (50.0%) | 1 (6.3%) |
| 30歳代 | 4 (30.8%) | 2 (15.4%) | 5 (38.5%) | 2 (15.4%) |
| 40歳代 | 2 (9.1%) | 6 (27.3%) | 11 (50.0%) | 3 (13.6%) |
| 50歳代 | 4 (19.0%) | 11 (52.4%) | 5 (23.8%) | 1 (4.8%) |
| 60歳代 | 2 (8.0%) | 14 (56.0%) | 8 (32.0%) | 1 (4.0%) |
| 70歳代 | 19 (23.5%) | 39 (48.1%) | 18 (22.2%) | 5 (6.2%) |
| 80歳以上 | 64 (22.8%) | 91 (32.4%) | 95 (33.8%) | 31 (11.0%) |
| 全体 | 95 (20.7%) | 170 (37.0%) | 150 (32.7%) | 44 (9.6%) |

* 「毎日みがく」と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

イ 歯間清掃用具の使用状況（問14 歯間ブラシやデンタルフロス（糸付きようじ）等を使っていますか。）

「ほぼ毎日使う」、「ときどき使う」と回答した者の割合は、39.9%であった。

20歳代では全員が「ほぼ毎日使う」、「ときどき使う」と回答し、概ね年代が上がるに従い「ほぼ毎日使う」、「ときどき使う」と回答した者の割合は減少した。

表II-C-2-(5)-イ 年代別による歯間清掃用具の使用状況（訪問患者）

(単位：人)

| | ほぼ毎日使う | ときどき使う | 使わない | 未回答 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 7 (43.8%) | 9 (56.3%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 6 (46.2%) | 3 (23.1%) | 4 (30.8%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 9 (40.9%) | 8 (36.4%) | 5 (22.7%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 8 (33.3%) | 9 (37.5%) | 5 (20.8%) | 2 (8.3%) |
| 60歳代 | 7 (21.9%) | 9 (28.1%) | 13 (40.6%) | 3 (9.4%) |
| 70歳代 | 11 (11.5%) | 22 (22.9%) | 57 (59.4%) | 6 (6.3%) |
| 80歳以上 | 64 (17.6%) | 54 (14.8%) | 225 (61.8%) | 21 (5.8%) |
| 全体 | 112 (19.8%) | 114 (20.1%) | 309 (54.5%) | 32 (5.6%) |

ウ 歯や歯ぐきの健康への意識（問15 歯や歯ぐきの健康について普段から意識（注意）していることすべてに○をつけてください。）

「食事の後、歯をみがいたり、口をすすいだりしている」と回答した者の割合が57.8%と最も高く、次いで、「かかりつけ歯科医、かかりつけの歯科医院を決めている」が54.7%であった。

表II-C-2-(5)-ウ 年代別による歯や歯ぐきの健康への意識（訪問患者）

（単位：人）

| | 歯科検診や歯科健康診査を受けるようにしている | 歯石をとってもらうようにしている | かかりつけ歯科医、かかりつけの歯科医院を決めている | 食事の後、歯みがいたり、口をすすいだりしている | 1本ずついいねいに、歯の根もとまでみがくようにしている | フッ化物入りの歯みがき剤を使用している | 甘い物を、食べたり飲んだりしないようにしている | バランスのとれた食事をこころがけている | よく噛んで食べるようにしている | 歯や歯ぐきの健康を特に意識して喫煙をしないようにしている | 特に意識（注意）していない |
|-------|------------------------|------------------|---------------------------|-------------------------|-----------------------------|---------------------|-------------------------|---------------------|-----------------|------------------------------|----------------|
| 20歳代 | 11 (68.8%) | 8 (50.0%) | 12 (75.0%) | 11 (68.8%) | 10 (62.5%) | 8 (50.0%) | 1 (6.3%) | 0 (0.0%) | 7 (43.8%) | 3 (18.8%) | 1 (6.3%) |
| 30歳代 | 7 (53.8%) | 7 (53.8%) | 7 (53.8%) | 10 (76.9%) | 7 (53.8%) | 4 (30.8%) | 0 (0.0%) | 3 (23.1%) | 1 (7.7%) | 2 (15.4%) | 1 (7.7%) |
| 40歳代 | 11 (50.0%) | 6 (27.3%) | 9 (40.9%) | 13 (59.1%) | 9 (40.9%) | 10 (45.5%) | 3 (13.6%) | 4 (18.2%) | 6 (27.3%) | 3 (13.6%) | 1 (4.5%) |
| 50歳代 | 8 (33.3%) | 9 (37.5%) | 10 (41.7%) | 14 (58.3%) | 9 (37.5%) | 9 (37.5%) | 0 (0.0%) | 6 (25.0%) | 8 (33.3%) | 3 (12.5%) | 3 (12.5%) |
| 60歳代 | 15 (46.9%) | 14 (43.8%) | 18 (56.3%) | 18 (56.3%) | 12 (37.5%) | 8 (25.0%) | 2 (6.3%) | 10 (31.3%) | 8 (25.0%) | 6 (18.8%) | 6 (18.8%) |
| 70歳代 | 39 (40.6%) | 39 (40.6%) | 60 (62.5%) | 56 (58.3%) | 21 (21.9%) | 19 (19.8%) | 12 (12.5%) | 33 (34.4%) | 35 (36.5%) | 18 (18.8%) | 18 (18.8%) |
| 80歳以上 | 167 (45.9%) | 125 (34.3%) | 194 (53.3%) | 206 (56.6%) | 80 (22.0%) | 74 (20.3%) | 28 (7.7%) | 145 (39.8%) | 166 (45.6%) | 68 (18.7%) | 70 (19.2%) |
| 全体 | 258 (45.5%) | 208 (36.7%) | 310 (54.7%) | 328 (57.8%) | 148 (26.1%) | 132 (23.3%) | 46 (8.1%) | 201 (35.4%) | 231 (40.7%) | 103 (18.2%) | 100 (17.6%) |

エ 歯周病と関係があると思う全身疾患（問16 歯周病と関係があると思うものすべてに○をつけてください。）

最も多かったのは「糖尿病」で、38.3%であった。次いで、「肺炎」、「心臓病」、「脳血管障害（脳卒中）」、「未熟児(低体重出産)など妊娠への影響」の順であった。

表II-C-2-(5)-エ 歯周病と関係があると思う全身疾患（訪問患者）

（単位：人）

| | 糖尿病 | 心臓病 | 未熟児(低体重出産)など妊娠への影響 | 肺炎 | 脳血管障害(脳卒中等) | 未回答 |
|-------|-------------|-------------|--------------------|-------------|-------------|-------------|
| 20歳代 | 14 (87.5%) | 10 (62.5%) | 5 (31.3%) | 4 (25.0%) | 5 (31.3%) | 1 (6.3%) |
| 30歳代 | 6 (46.2%) | 6 (46.2%) | 6 (46.2%) | 7 (53.8%) | 4 (30.8%) | 5 (38.5%) |
| 40歳代 | 17 (77.3%) | 5 (22.7%) | 5 (22.7%) | 5 (22.7%) | 5 (22.7%) | 5 (22.7%) |
| 50歳代 | 15 (62.5%) | 9 (37.5%) | 4 (16.7%) | 8 (33.3%) | 6 (25.0%) | 6 (25.0%) |
| 60歳代 | 13 (40.6%) | 4 (12.5%) | 1 (3.1%) | 7 (21.9%) | 6 (18.8%) | 14 (43.8%) |
| 70歳代 | 44 (45.8%) | 21 (21.9%) | 5 (5.2%) | 20 (20.8%) | 18 (18.8%) | 38 (39.6%) |
| 80歳以上 | 108 (29.7%) | 65 (17.9%) | 16 (4.4%) | 71 (19.5%) | 46 (12.6%) | 191 (52.5%) |
| 全体 | 217 (38.3%) | 120 (21.2%) | 42 (7.4%) | 122 (21.5%) | 90 (15.9%) | 260 (45.9%) |

オ 歯科保健に関する言葉の認知（問17 (ア) から (セ) の言葉について、「(1) 意味もわかる (2) 言葉は知っている (3) 知らない」から、ひとつ選んで○をつけてください。)

各歯科保健に関する言葉について、認知している者の割合（「意味もわかる」と「言葉は知っている」と回答した者を合わせた割合）について、「歯石」が90.8%と最も高く、次いで「歯垢」が82.8%、「歯肉炎」は79.1%、「歯周ポケット」が65.1%であった。

表II-C-2-(5)-オ 歯科保健に関する言葉の認知（外来患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|----------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 歯垢 | 276 (51.5%) | 168 (31.3%) | 90 (16.8%) | 2 (0.4%) |
| 歯石 | 326 (60.8%) | 161 (30.0%) | 48 (9.0%) | 1 (0.2%) |
| 根面むし歯 | 39 (7.3%) | 64 (11.9%) | 419 (78.2%) | 14 (2.6%) |
| 歯肉炎 | 234 (43.7%) | 190 (35.4%) | 109 (20.3%) | 3 (0.6%) |
| 歯周ポケット | 184 (34.3%) | 165 (30.8%) | 182 (34.0%) | 5 (0.9%) |
| 初期むし歯 | 158 (29.5%) | 143 (26.7%) | 232 (43.3%) | 3 (0.6%) |
| 再石灰化 | 47 (8.8%) | 86 (16.0%) | 390 (72.8%) | 13 (2.4%) |
| キシリトール | 125 (23.3%) | 217 (40.5%) | 190 (35.4%) | 4 (0.7%) |
| フッ化物洗口 | 65 (12.1%) | 87 (16.2%) | 375 (70.0%) | 9 (1.7%) |
| 8020 運動 | 139 (25.9%) | 123 (22.9%) | 266 (49.6%) | 8 (1.5%) |
| 健康日本 21 | 18 (3.4%) | 45 (8.4%) | 465 (86.8%) | 8 (1.5%) |
| 未病 | 56 (10.4%) | 112 (20.9%) | 361 (67.4%) | 7 (1.3%) |
| 健口体操 | 83 (15.5%) | 117 (21.8%) | 325 (60.6%) | 11 (2.1%) |
| オーラルフレイル | 46 (8.6%) | 117 (21.8%) | 368 (68.7%) | 5 (0.9%) |

(ア) 歯垢に関して（訪問患者）

歯垢について認知している者の割合は、82.8%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、年代が上がるにつれて減少し、80歳以上では77.9%であった。

表II-C-2-(5)-オ-(ア) 歯垢に関して（訪問患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|--------|-------------|-------------|------------|----------|
| 20 歳代 | 13 (81.3%) | 3 (18.8%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30 歳代 | 9 (69.2%) | 4 (30.8%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40 歳代 | 14 (66.7%) | 6 (28.6%) | 1 (4.8%) | 0 (0.0%) |
| 50 歳代 | 13 (59.1%) | 7 (31.8%) | 2 (9.1%) | 0 (0.0%) |
| 60 歳代 | 15 (50.0%) | 13 (43.3%) | 2 (6.7%) | 0 (0.0%) |
| 70 歳代 | 51 (56.7%) | 28 (31.1%) | 10 (11.1%) | 1 (1.1%) |
| 80 歳以上 | 161 (46.8%) | 107 (31.1%) | 75 (21.8%) | 1 (0.3%) |
| 全体 | 276 (51.5%) | 168 (31.3%) | 90 (16.8%) | 2 (0.4%) |

(イ) 歯石に関して

歯石について認知している者の割合は90.8%であり、すべての年代で85%を超えていた。

表II-C-2-(5)-オ-(イ) 歯石に関して (訪問患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-------------|-------------|------------|----------|
| 20歳代 | 12 (75.0%) | 4 (25.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 10 (76.9%) | 3 (23.1%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 17 (81.0%) | 3 (14.3%) | 1 (4.8%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 18 (81.8%) | 3 (13.6%) | 1 (4.5%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 19 (63.3%) | 10 (33.3%) | 1 (3.3%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 57 (63.3%) | 30 (33.3%) | 3 (3.3%) | 0 (0.0%) |
| 80歳以上 | 193 (56.1%) | 108 (31.4%) | 42 (12.2%) | 1 (0.3%) |
| 全体 | 326 (60.8%) | 161 (30.0%) | 48 (9.0%) | 1 (0.2%) |

(ウ) 根面むし歯 (根面う蝕) に関して

根面むし歯 (根面う蝕) について認知している者の割合は、19.2%であり、歯垢、歯石と比較して認知度が低かった。

表II-C-2-(5)-オ-(ウ) 根面むし歯 (根面う蝕) に関して (訪問患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-----------|------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 5 (31.3%) | 5 (31.3%) | 6 (37.5%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 4 (30.8%) | 1 (7.7%) | 8 (61.5%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 8 (38.1%) | 3 (14.3%) | 9 (42.9%) | 1 (4.8%) |
| 50歳代 | 5 (22.7%) | 6 (27.3%) | 11 (50.0%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 1 (3.3%) | 2 (6.7%) | 27 (90.0%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 3 (3.3%) | 12 (13.3%) | 69 (76.7%) | 6 (6.7%) |
| 80歳以上 | 13 (3.8%) | 35 (10.2%) | 289 (84.0%) | 7 (2.0%) |
| 全体 | 39 (7.3%) | 64 (11.9%) | 419 (78.2%) | 14 (2.6%) |

(エ) 歯肉炎に関して

歯肉炎について認知している者の割合は、79.1%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、20歳代から50歳代までは90%を超えていた。

表II-C-2-(5)-オ-(エ) 歯肉炎に関して (訪問患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-------------|-------------|-------------|----------|
| 20歳代 | 13 (81.3%) | 2 (12.5%) | 1 (6.3%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 9 (69.2%) | 3 (23.1%) | 1 (7.7%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 16 (76.2%) | 3 (14.3%) | 2 (9.5%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 14 (63.6%) | 6 (27.3%) | 2 (9.1%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 12 (40.0%) | 14 (46.7%) | 4 (13.3%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 41 (45.6%) | 34 (37.8%) | 14 (15.6%) | 1 (1.1%) |
| 80歳以上 | 129 (37.5%) | 128 (37.2%) | 85 (24.7%) | 2 (0.6%) |
| 全体 | 234 (43.7%) | 190 (35.4%) | 109 (20.3%) | 3 (0.6%) |

(オ) 歯周ポケットに関して

歯周ポケットについて認知している者の割合は、65.1%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、20歳代から60歳代までは80%を超えていた。

表II-C-2-(5)-オ-(オ) 歯周ポケットに関して (訪問患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-------------|-------------|-------------|----------|
| 20歳代 | 12 (75.0%) | 1 (6.3%) | 3 (18.8%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 11 (84.6%) | 2 (15.4%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 15 (71.4%) | 2 (9.5%) | 3 (14.3%) | 1 (4.8%) |
| 50歳代 | 15 (68.2%) | 6 (27.3%) | 1 (4.5%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 14 (46.7%) | 12 (40.0%) | 4 (13.3%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 35 (38.9%) | 33 (36.7%) | 22 (24.4%) | 0 (0.0%) |
| 80歳以上 | 82 (23.8%) | 109 (31.7%) | 149 (43.3%) | 4 (1.2%) |
| 全体 | 184 (34.3%) | 165 (30.8%) | 182 (34.0%) | 5 (0.9%) |

(カ) 初期むし歯に関して

初期むし歯について認知している者の割合は、56.2%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、20～50歳代は80%以上だが、年代が上がるにつれて減少し、80歳以上では48.8%であった。

表II-C-2-(5)-オ-(カ) 初期むし歯に関して（訪問患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-------------|-------------|-------------|----------|
| 20歳代 | 10 (62.5%) | 5 (31.3%) | 1 (6.3%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 7 (53.8%) | 5 (38.5%) | 1 (7.7%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 13 (61.9%) | 5 (23.8%) | 3 (14.3%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 10 (45.5%) | 9 (40.9%) | 3 (13.6%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 7 (23.3%) | 10 (33.3%) | 13 (43.3%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 25 (27.8%) | 27 (30.0%) | 36 (40.0%) | 2 (2.2%) |
| 80歳以上 | 86 (25.0%) | 82 (23.8%) | 175 (50.9%) | 1 (0.3%) |
| 全体 | 158 (29.5%) | 143 (26.7%) | 232 (43.3%) | 3 (0.6%) |

(キ) 再石灰化に関して

再石灰化について認知している者の割合は、24.8%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、20歳代から50歳代までは50%以上であったが、60歳代以降は30%未満であった。

表II-C-2-(5)-オ-(キ) 再石灰化に関して（訪問患者）

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|------------|------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 6 (37.5%) | 4 (25.0%) | 6 (37.5%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 3 (23.1%) | 4 (30.8%) | 6 (46.2%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 10 (47.6%) | 5 (23.8%) | 6 (28.6%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 6 (27.3%) | 8 (36.4%) | 8 (36.4%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 2 (6.7%) | 4 (13.3%) | 24 (80.0%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 6 (6.7%) | 16 (17.8%) | 65 (72.2%) | 3 (3.3%) |
| 80歳以上 | 14 (4.1%) | 45 (13.1%) | 275 (79.9%) | 10 (2.9%) |
| 全体 | 47 (8.8%) | 86 (16.0%) | 390 (72.8%) | 13 (2.4%) |

(ク) キシリトールに関して

キシリトールについて認知している者の割合は、63.8%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、20歳代から60歳代までは80%を超えていた。

表II-C-2-(5)-オ-(ク) キシリトールに関して (訪問患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-------------|-------------|-------------|----------|
| 20歳代 | 12 (75.0%) | 2 (12.5%) | 2 (12.5%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 8 (61.5%) | 5 (38.5%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 14 (66.7%) | 6 (28.6%) | 1 (4.8%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 9 (40.9%) | 10 (45.5%) | 3 (13.6%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 10 (33.3%) | 15 (50.0%) | 5 (16.7%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 23 (25.6%) | 41 (45.6%) | 26 (28.9%) | 0 (0.0%) |
| 80歳以上 | 49 (14.2%) | 138 (40.1%) | 153 (44.5%) | 4 (1.2%) |
| 全体 | 125 (23.3%) | 217 (40.5%) | 190 (35.4%) | 4 (0.7%) |

(ケ) フッ化物洗口に関して

フッ化物洗口について認知している者の割合は、28.3%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、20歳代から50歳代までは50%を超えているが、60歳代以降は、30%以下であった。

表II-C-2-(5)-オ-(ケ) フッ化物洗口に関して (訪問患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|------------|------------|-------------|----------|
| 20歳代 | 5 (31.3%) | 6 (37.5%) | 5 (31.3%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 6 (46.2%) | 1 (7.7%) | 6 (46.2%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 12 (57.1%) | 4 (19.0%) | 5 (23.8%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 5 (22.7%) | 8 (36.4%) | 9 (40.9%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 3 (10.0%) | 6 (20.0%) | 21 (70.0%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 6 (6.7%) | 18 (20.0%) | 63 (70.0%) | 3 (3.3%) |
| 80歳以上 | 28 (8.1%) | 44 (12.8%) | 266 (77.3%) | 6 (1.7%) |
| 全体 | 65 (12.1%) | 87 (16.2%) | 375 (70.0%) | 9 (1.7%) |

(コ) 8020 運動に関して

8020 運動について認知している者の割合は、48.8%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、20 歳代、30 歳代で高く 70%を超えていた。

表 II-C-2-(5)-オ-(コ) 8020 運動に関して (訪問患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|--------|-------------|-------------|-------------|----------|
| 20 歳代 | 8 (50.0%) | 4 (25.0%) | 4 (25.0%) | 0 (0.0%) |
| 30 歳代 | 7 (53.8%) | 3 (23.1%) | 3 (23.1%) | 0 (0.0%) |
| 40 歳代 | 10 (47.6%) | 2 (9.5%) | 9 (42.9%) | 0 (0.0%) |
| 50 歳代 | 7 (31.8%) | 6 (27.3%) | 9 (40.9%) | 0 (0.0%) |
| 60 歳代 | 9 (30.0%) | 5 (16.7%) | 15 (50.0%) | 1 (3.3%) |
| 70 歳代 | 25 (27.8%) | 18 (20.0%) | 45 (50.0%) | 2 (2.2%) |
| 80 歳以上 | 73 (21.2%) | 85 (24.7%) | 181 (52.6%) | 5 (1.5%) |
| 全体 | 139 (25.9%) | 123 (22.9%) | 266 (49.6%) | 8 (1.5%) |

(サ) 健康日本 21 に関して

健康日本 21 について認知している者の割合は 11.8%と、8020 運動と比較して著しく低かった。

表 II-C-2-(5)-オ-(サ) 健康日本 21 に関して (訪問患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|--------|-----------|-----------|-------------|----------|
| 20 歳代 | 1 (6.3%) | 6 (37.5%) | 8 (50.0%) | 1 (6.3%) |
| 30 歳代 | 0 (0.0%) | 4 (30.8%) | 9 (69.2%) | 0 (0.0%) |
| 40 歳代 | 2 (9.5%) | 3 (14.3%) | 16 (76.2%) | 0 (0.0%) |
| 50 歳代 | 1 (4.5%) | 6 (27.3%) | 15 (68.2%) | 0 (0.0%) |
| 60 歳代 | 1 (3.3%) | 3 (10.0%) | 26 (86.7%) | 0 (0.0%) |
| 70 歳代 | 3 (3.3%) | 9 (10.0%) | 76 (84.4%) | 2 (2.2%) |
| 80 歳以上 | 10 (2.9%) | 14 (4.1%) | 315 (91.6%) | 5 (1.5%) |
| 全体 | 18 (3.4%) | 45 (8.4%) | 465 (86.8%) | 8 (1.5%) |

(シ) 未病に関して

未病について認知している者の割合は、31.3%であった。

年代別に見ると、認知している者の割合は、40歳代で最も高く57.2%であった。

表II-C-2-(5)-オ-(シ) 未病に関して (訪問患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|------------|-------------|-------------|----------|
| 20歳代 | 1 (6.3%) | 4 (25.0%) | 10 (62.5%) | 1 (6.3%) |
| 30歳代 | 0 (0.0%) | 3 (23.1%) | 10 (76.9%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 6 (28.6%) | 6 (28.6%) | 9 (42.9%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 3 (13.6%) | 8 (36.4%) | 11 (50.0%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 5 (16.7%) | 10 (33.3%) | 15 (50.0%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 6 (6.7%) | 24 (26.7%) | 59 (65.6%) | 1 (1.1%) |
| 80歳以上 | 35 (10.2%) | 57 (16.6%) | 247 (71.8%) | 5 (1.5%) |
| 全体 | 56 (10.4%) | 112 (20.9%) | 361 (67.4%) | 7 (1.3%) |

(ス) 健口体操に関して

健口体操について認知している者の割合は、37.3%であった。

年代別にみて、認知している者の割合に、一定の傾向は認められなかった。

表II-C-2-(5)-オ-(ス) 健口体操に関して (訪問患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|------------|-------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 1 (6.3%) | 6 (37.5%) | 9 (56.3%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 0 (0.0%) | 3 (23.1%) | 10 (76.9%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 5 (23.8%) | 3 (14.3%) | 13 (61.9%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 2 (9.1%) | 5 (22.7%) | 15 (68.2%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 4 (13.3%) | 8 (26.7%) | 18 (60.0%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 13 (14.4%) | 24 (26.7%) | 49 (54.4%) | 4 (4.4%) |
| 80歳以上 | 58 (16.9%) | 68 (19.8%) | 211 (61.3%) | 7 (2.0%) |
| 全体 | 83 (15.5%) | 117 (21.8%) | 325 (60.6%) | 11 (2.1%) |

(セ) オーラルフレイルに関して

オーラルフレイルについて認知している者の割合は、30.4%であった。

年代別にみて、認知している者の割合に、一定の傾向は認められなかった。

表II-C-2-(5)-オ-(セ) オーラルフレイルに関して (訪問患者)

(単位：人)

| | 意味もわかる | 言葉は知っている | 知らない | 未回答 |
|-------|-----------|-------------|-------------|----------|
| 20歳代 | 3 (18.8%) | 5 (31.3%) | 8 (50.0%) | 0 (0.0%) |
| 30歳代 | 0 (0.0%) | 5 (38.5%) | 8 (61.5%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 6 (28.6%) | 5 (23.8%) | 10 (47.6%) | 0 (0.0%) |
| 50歳代 | 4 (18.2%) | 7 (31.8%) | 11 (50.0%) | 0 (0.0%) |
| 60歳代 | 2 (6.7%) | 5 (16.7%) | 23 (76.7%) | 0 (0.0%) |
| 70歳代 | 6 (6.7%) | 28 (31.1%) | 55 (61.1%) | 1 (1.1%) |
| 80歳以上 | 25 (7.3%) | 62 (18.0%) | 253 (73.5%) | 4 (1.2%) |
| 全体 | 46 (8.6%) | 117 (21.8%) | 368 (68.7%) | 5 (0.9%) |

3 オーラルフレイルのスクリーニングの結果

「問18 オーラルフレイルのスクリーニング問診票」において、オーラルフレイルの危険性が「高い」とされる4点以上の者の割合は57.8%であった。

年代別に見ると、20歳代では4点以上のものはなかったとが、年代が上がるに従い高くなり、70歳代及び80歳以上で4点以上の者の割合はともに66.7%であった。

表II-C-3-1 年代別によるオーラルフレイルの危険性（訪問患者）

(単位：点)

| | 低い (0~2点) | あり (3点) | 高い (4点以上) | 未回答 |
|-------|-------------|------------|-------------|-----------|
| 20歳代 | 15 (93.8%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (6.3%) |
| 30歳代 | 12 (92.3%) | 0 (0.0%) | 1 (7.7%) | 0 (0.0%) |
| 40歳代 | 16 (72.7%) | 3 (13.6%) | 2 (9.1%) | 1 (4.5%) |
| 50歳代 | 13 (54.2%) | 4 (16.7%) | 6 (25.0%) | 1 (4.2%) |
| 60歳代 | 13 (40.6%) | 4 (12.5%) | 12 (37.5%) | 3 (9.4%) |
| 70歳代 | 14 (14.6%) | 13 (13.5%) | 64 (66.7%) | 5 (5.2%) |
| 80歳以上 | 60 (16.5%) | 40 (11.0%) | 242 (66.7%) | 21 (5.8%) |
| 全体 | 143 (25.3%) | 64 (11.3%) | 327 (57.8%) | 32 (5.7%) |

表II-C-3-2 年代別によるオーラルフレイルのスクリーニング問診票の各項目（訪問患者）

(単位：人)

| | (1)半年前と比べて、堅いものが食べにくくなった | | (2)お茶や汁物でむせることがある | | (3)義歯を使用している | | (4)口の乾きが気になる | | (5)半年前と比べて、外出が少なくなった | | (6)さきいか・たくあんくらの堅さの食べ物を噛むことができる | | (7)1日2回以上歯を磨く | | (8)1年に1回以上、歯科医院を受診している | |
|-------|--------------------------|----------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------------|----------------|--------------------------------|----------------|----------------|----------------|------------------------|----------------|
| | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| 20歳代 | 0 (0.0%) | 15 (100.0%) | 1 (6.7%) | 14 (93.3%) | 0 (0.0%) | 15 (100.0%) | 0 (0.0%) | 15 (100.0%) | 1 (6.7%) | 14 (93.3%) | 14 (93.3%) | 1 (6.7%) | 15 (100.0%) | 0 (0.0%) | 13 (86.7%) | 2 (13.3%) |
| 30歳代 | 1 (7.7%) | 12 (92.3%) | 2 (15.4%) | 11 (84.6%) | 0 (0.0%) | 13 (100.0%) | 2 (15.4%) | 11 (84.6%) | 1 (7.7%) | 12 (92.3%) | 11 (84.6%) | 2 (15.4%) | 11 (84.6%) | 2 (15.4%) | 11 (84.6%) | 2 (15.4%) |
| 40歳代 | 1 (4.8%) | 20 (95.2%) | 2 (9.5%) | 19 (90.5%) | 0 (0.0%) | 21 (100.0%) | 5 (23.8%) | 16 (76.2%) | 1 (4.8%) | 20 (95.2%) | 20 (95.2%) | 1 (4.8%) | 17 (81.0%) | 4 (19.0%) | 8 (38.1%) | 13 (61.9%) |
| 50歳代 | 4 (18.2%) | 18 (81.8%) | 4 (18.2%) | 18 (81.8%) | 1 (4.5%) | 21 (95.5%) | 8 (36.4%) | 14 (63.6%) | 6 (27.3%) | 16 (72.7%) | 16 (76.2%) | 5 (34.5%) | 17 (73.9%) | 6 (26.1%) | 15 (68.2%) | 7 (31.8%) |
| 60歳代 | 9 (31.0%) | 20 (69.0%) | 7 (24.1%) | 22 (75.9%) | 13 (44.8%) | 16 (55.2%) | 8 (27.6%) | 21 (72.4%) | 9 (32.1%) | 19 (67.9%) | 19 (65.5%) | 10 (34.5%) | 20 (69.0%) | 9 (31.0%) | 21 (72.4%) | 8 (27.6%) |
| 70歳代 | 43 (48.3%) | 46 (51.7%) | 39 (43.8%) | 50 (56.2%) | 54 (60.0%) | 36 (40.0%) | 38 (42.7%) | 51 (57.3%) | 51 (57.3%) | 38 (42.7%) | 52 (57.8%) | 38 (42.2%) | 59 (64.8%) | 32 (35.2%) | 58 (65.2%) | 31 (34.8%) |
| 80歳以上 | 139 (40.8%) | 202 (59.2%) | 132 (39.1%) | 206 (60.9%) | 239 (70.5%) | 100 (29.5%) | 121 (35.7%) | 218 (64.3%) | 196 (57.6%) | 144 (42.4%) | 152 (44.7%) | 188 (55.3%) | 218 (63.7%) | 124 (36.3%) | 246 (72.1%) | 95 (27.9%) |
| 全体 | 197 (37.2%) | 333 (62.8%) | 187 (35.5%) | 340 (64.5%) | 307 (58.0%) | 222 (42.0%) | 182 (34.5%) | 346 (65.5%) | 265 (50.2%) | 263 (49.8%) | 284 (53.7%) | 245 (46.3%) | 357 (66.9%) | 177 (33.1%) | 372 (70.2%) | 158 (29.8%) |

D 分析

1 全国（令和4年歯科疾患実態調査）と神奈川県との現在歯の状況比較

神奈川県における歯科疾患の特徴について、令和4年歯科疾患実態調査（以下、歯実調）の結果との比較を行った。なお、歯実調は20歳以上を再集計して、外来患者の集計結果と比較している。

歯実調における全国の1人平均現在歯数は22.9本であったのに対し、R06調査の結果では24.8本と、神奈川県は全国よりやや数が多い結果であった。

神奈川県における1人平均未処置歯数は35～39歳のみ全国よりやや多かったが、全体的には少ない傾向であった。1人平均処置歯数は全年齢階級で全国より多い傾向であった。

全国、神奈川県ともに、年齢階級が上がるに従い1人平均健全歯数は減少し、神奈川県では40歳以降の処置歯数が多かった。

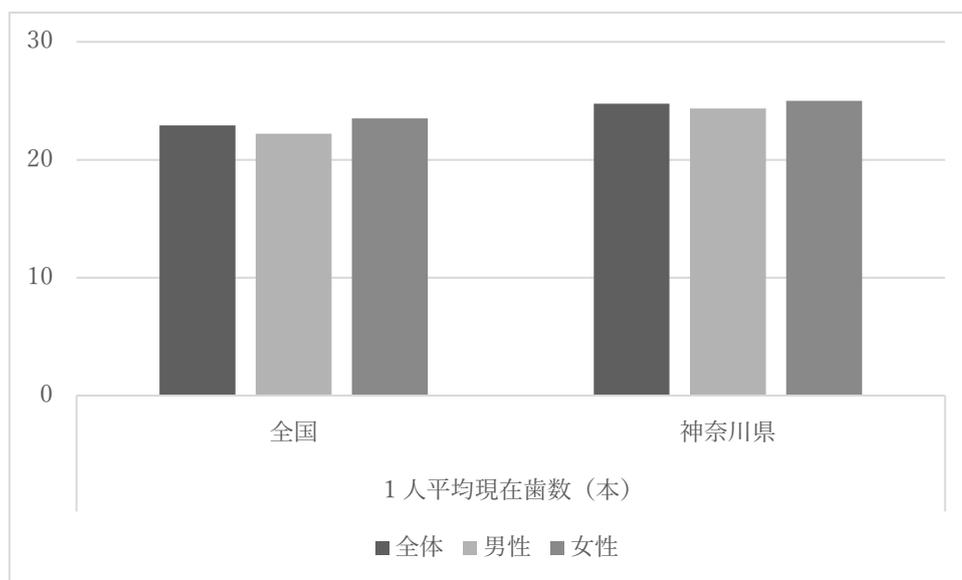
表II-D-1-1 1人平均現在歯数の全国との比較

(単位：本)

| | 1人平均現在歯数 | | |
|----|----------|------|--------|
| | 全国 | 神奈川県 | 対全国比 |
| 全体 | 22.9 | 24.8 | 108.1% |
| 男性 | 22.2 | 24.4 | 109.7% |
| 女性 | 23.5 | 25.0 | 106.4% |

図II-D-1-1 1人平均現在歯数の全国との比較

(単位：本)

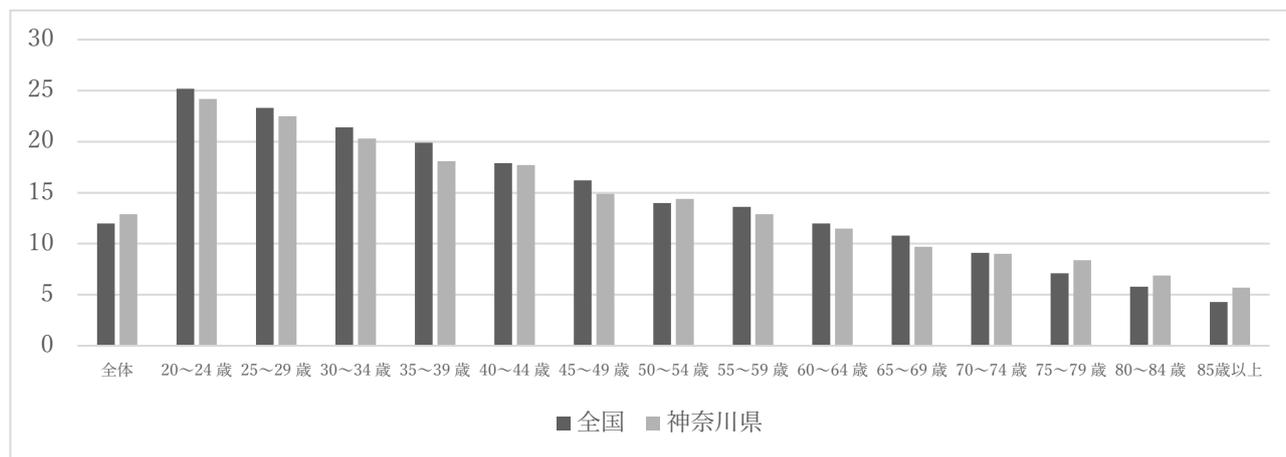


表II-D-1-2 年代別による現在歯数の内訳（全国との比較）

| | 被調査者数 (人) | | 1人平均現在歯数 (本) | | 1人平均健全歯数 (本) | | 1人平均処置歯数 (本) | | 1人平均未処置歯数 (本) | |
|--------|--------------|-------|-----------------|------|-----------------|------|-----------------|------|------------------|------|
| | 全国 | 神奈川県 | 全国 | 神奈川県 | 全国 | 神奈川県 | 全国 | 神奈川県 | 全国 | 神奈川県 |
| 20～24歳 | 52 | 180 | 28.5 | 28.3 | 25.2 | 24.2 | 2.1 | 3.0 | 1.2 | 1.2 |
| 25～29歳 | 38 | 179 | 28.4 | 28.0 | 23.3 | 22.5 | 4.4 | 4.7 | 0.8 | 0.8 |
| 30～34歳 | 75 | 166 | 28.2 | 28.2 | 21.4 | 20.3 | 5.6 | 7.1 | 1.2 | 0.7 |
| 35～39歳 | 83 | 202 | 27.9 | 27.7 | 19.9 | 18.1 | 7.4 | 8.5 | 0.6 | 1.0 |
| 40～44歳 | 116 | 232 | 27.9 | 27.8 | 17.9 | 17.7 | 9.3 | 9.4 | 0.7 | 0.5 |
| 45～49歳 | 145 | 260 | 27.8 | 27.3 | 16.2 | 14.9 | 10.9 | 11.8 | 0.6 | 0.6 |
| 50～54歳 | 155 | 396 | 26.4 | 27.1 | 14.0 | 14.4 | 11.5 | 12.1 | 0.9 | 0.5 |
| 55～59歳 | 137 | 364 | 26.5 | 26.5 | 13.6 | 12.9 | 12.0 | 13.1 | 0.8 | 0.4 |
| 60～64歳 | 177 | 342 | 24.8 | 25.5 | 12.0 | 11.5 | 12.2 | 13.3 | 0.5 | 0.5 |
| 65～69歳 | 220 | 319 | 23.8 | 23.8 | 10.8 | 9.7 | 12.2 | 13.6 | 0.8 | 0.4 |
| 70～74歳 | 305 | 401 | 21.0 | 22.6 | 9.1 | 9.0 | 11.1 | 13.2 | 0.8 | 0.3 |
| 75～79歳 | 258 | 470 | 18.1 | 21.2 | 7.1 | 8.4 | 10.0 | 12.4 | 0.9 | 0.4 |
| 80～84歳 | 182 | 290 | 15.6 | 19.4 | 5.8 | 6.9 | 9.0 | 11.9 | 0.8 | 0.5 |
| 85歳以上 | 105 | 173 | 14.0 | 17.8 | 4.3 | 5.7 | 8.1 | 11.4 | 1.6 | 0.6 |
| 全体 | 2,048 | 3,974 | 22.9 | 24.8 | 12.0 | 12.9 | 10.1 | 11.2 | 0.8 | 0.6 |

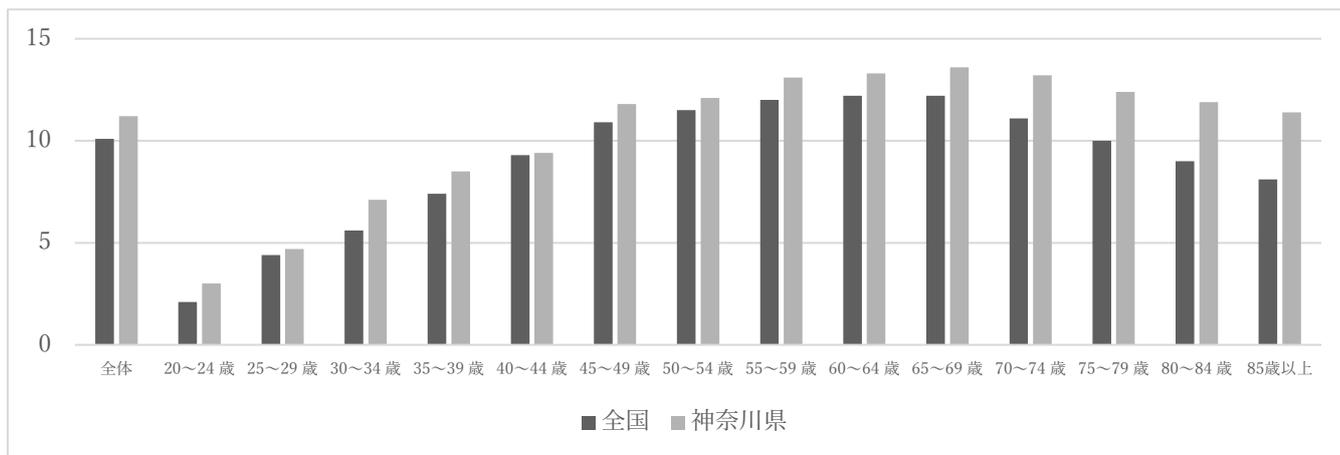
図II-D-1-2 年代別による1人平均健全歯数の全国との比較

(単位：本)



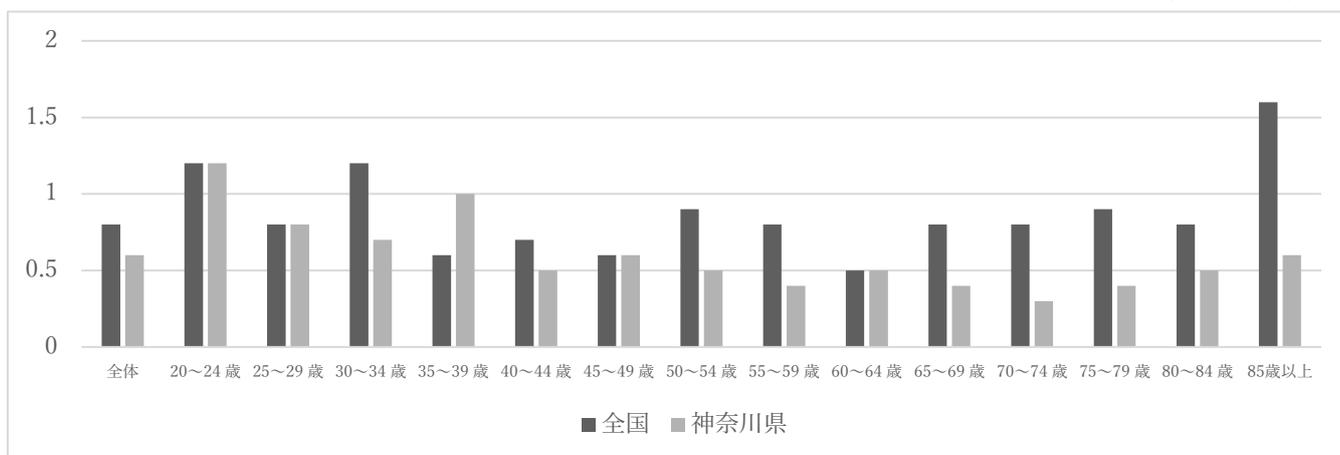
図II-D-1-3 年代別による1人平均処置歯数の全国との比較

(単位：本)



図II-D-1-4 年代別による1人平均未処置歯数の全国との比較

(単位：本)



2 オーラルフレイルのチェック項目 (OF-5)

オーラルフレイルに関する3学会合同ステートメント（令和6年4月1日 一般社団法人日本老年医学会、一般社団法人日本老年歯科医学会、一般社団法人日本サルコペニア・フレイル学会）が示したオーラルフレイルチェック項目（OF-5）に基づき、該当する5項目に全てに回答した3,754件（外来患者）を対象に集計を行った。

図II-D-2-1 OF-5 質問項目対応表

| チェック項目 (OF-5) | | |
|--|--|-----------------------------------|
| • 自身の歯は何本ありますか <input type="checkbox"/> 0～19本 <input type="checkbox"/> 20本以上 | | ◀現在歯数 |
| • 半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | | ◀問18 (1) 半年前と比べて、堅いものが食べにくくなった |
| • お茶や汁物等でむせることがありますか <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | | ◀問18 (2) お茶や汁物でむせることがある |
| • 口の渇きが気になりますか <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | | ◀問18 (4) 口の乾きが気になる |
| • 普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか* <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | | ◀問6 普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか |
| 2つ以上あてはまる場合に「オーラルフレイル」 | | |
| ※評価が可能な場合 オーラルディアドコネシス(/ta/音) <input type="checkbox"/> 6.0(回/秒)未満 <input type="checkbox"/> 6.0(回/秒)以上 | | |

OF-5 でオーラルフレイルに該当したのは、37.2%であった。年代別に見ると、年代が上がるにつれて増加し、80歳以上では男性で51.5%であった。

表II-D-2-1 年代別によるオーラルフレイルのチェック項目 (OF-5) の結果 (外来患者)

(単位：人)

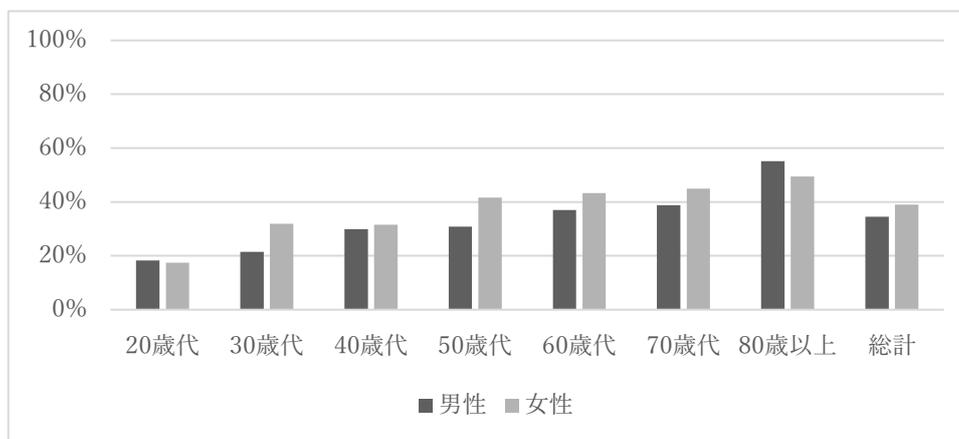
| | 該当者 | 非該当者 | 全体 |
|-------|---------------|---------------|----------------|
| 20歳代 | 61 (17.7%) | 284 (82.3%) | 345 (100.0%) |
| 30歳代 | 100 (28.3%) | 253 (71.7%) | 353 (100.0%) |
| 40歳代 | 146 (30.9%) | 326 (69.1%) | 472 (100.0%) |
| 50歳代 | 270 (37.7%) | 447 (62.3%) | 717 (100.0%) |
| 60歳代 | 256 (40.8%) | 371 (59.2%) | 627 (100.0%) |
| 70歳代 | 346 (42.5%) | 469 (57.5%) | 815 (100.0%) |
| 80歳以上 | 219 (51.5%) | 206 (48.5%) | 425 (100.0%) |
| 全体 | 1,398 (37.2%) | 2,356 (62.8%) | 3,754 (100.0%) |

表II-D-2-2 年代別によるオーラルフレイルのチェック項目（OF-5）各項目該当者（外来患者）

（単位：人）

| | | 現在歯数 | | 半年前と比べてか たいものが食べに くくなった | | お茶や汁物でむせ ることがある | | 口の渴きが気にな る | | 普段の会話で、言 葉をはっきりと発 音できないことが ありますか | |
|-------|----|-----------|-----------|-------------------------------|---------|--------------------|---------|---------------|---------|---|---------|
| | | 0～19 歯 | 20歯 以上 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| 20歳代 | 人数 | 1 | 358 | 7 | 339 | 22 | 324 | 30 | 315 | 25 | 334 |
| | % | (0.3%) | (99.7%) | (2.0%) | (98.0%) | (6.4%) | (93.6%) | (8.7%) | (91.3%) | (7.0%) | (93.0%) |
| 30歳代 | 人数 | 1 | 367 | 12 | 342 | 26 | 328 | 60 | 294 | 27 | 339 |
| | % | (0.3%) | (99.7%) | (3.4%) | (96.6%) | (7.3%) | (92.7%) | (16.9%) | (83.1%) | (7.4%) | (92.6%) |
| 40歳代 | 人数 | 6 | 486 | 30 | 443 | 54 | 418 | 73 | 399 | 37 | 454 |
| | % | (1.2%) | (98.8%) | (6.3%) | (93.7%) | (11.4%) | (88.6%) | (15.5%) | (84.5%) | (7.5%) | (92.5%) |
| 50歳代 | 人数 | 24 | 736 | 86 | 638 | 93 | 630 | 140 | 583 | 60 | 697 |
| | % | (3.2%) | (96.8%) | (11.9%) | (88.1%) | (12.9%) | (87.1%) | (19.4%) | (80.6%) | (7.9%) | (92.1%) |
| 60歳代 | 人数 | 83 | 578 | 87 | 545 | 113 | 518 | 145 | 489 | 70 | 587 |
| | % | (12.6%) | (87.4%) | (13.8%) | (86.2%) | (17.9%) | (82.1%) | (22.9%) | (77.1%) | (10.7%) | (89.3%) |
| 70歳代 | 人数 | 232 | 639 | 148 | 685 | 172 | 660 | 207 | 624 | 118 | 746 |
| | % | (26.6%) | (73.4%) | (17.8%) | (82.2%) | (20.7%) | (79.3%) | (24.9%) | (75.1%) | (13.7%) | (86.3%) |
| 80歳以上 | 人数 | 196 | 267 | 112 | 332 | 129 | 313 | 155 | 281 | 102 | 354 |
| | % | (42.3%) | (57.7%) | (25.2%) | (74.8%) | (29.2%) | (70.8%) | (35.6%) | (64.4%) | (22.4%) | (77.6%) |
| 全体 | 人数 | 543 | 3,431 | 482 | 3,324 | 609 | 3,191 | 810 | 2,985 | 439 | 3,511 |
| | % | (13.7%) | (86.3%) | (12.7%) | (87.3%) | (16.0%) | (84.0%) | (21.3%) | (78.7%) | (11.1%) | (88.9%) |

図II-D-2-2 年代別、性別によるオーラルフレイルのチェック項目（OF-5）該当者（外来患者）



3 歯及び口腔の健康づくり推進計画の指標について

令和6年3月に策定した神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画（第2次）における指標のうち、県民歯科保健実態調査（成人）を用いている指標は次のとおりとなっている。なお、経年的な評価可能な外来患者の結果を指標として使用している。

年齢調整値と記載のある指標については、平成27年モデル人口（平成27年の国勢調査人口を元に補正した人口）を用いて年齢調整した値（下段括弧内は粗平均値）を記載している。

| 目標 | 指標 | 現状値 (R6) | 目標値 (R14) |
|-------------------------------|-----------------------------------|------------------|--------------|
| 第2. 歯及び口腔疾患対策 | | | |
| むし歯対策 | | | |
| | 20歳以上における未処置歯を有する者の割合（年齢調整値） | 23.5% (22.6%) | 10% |
| | 60歳以上における未処置の根面むし歯を有する者の割合（年齢調整値） | 3.7% (3.7%) | 減少 |
| 歯周病対策 | | | |
| | 20～30代における歯肉に炎症所見を有する者の割合（年齢調整値） | 53.0% (52.9%) | 45% |
| | 40歳以上における歯周炎を有する者の割合（年齢調整値） | 64.9% (66.1%) | 55% |
| 歯の喪失防止 | | | |
| | 40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合（年齢調整値） | 14.6% (16.7%) | 15% |
| | 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合 | 56.5% | 65% |
| 第3. 口腔機能の獲得・維持・向上 | | | |
| | 50歳以上における咀嚼良好者の割合（年齢調整値） | 75.7% (80.8%) | 90% |
| 第5. 歯と口腔の健康づくりを推進するための社会環境の整備 | | | |
| | 過去1年間に歯科検診を受診した者の割合 | 64.4% | 85% |

（参考）基準人口の改訂に向けた検討会 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_07161.html

III 統計表

- 1 外来患者 … 別表 1 参照
- 2 訪問患者 … 別表 2 参照